

豊能町総合まちづくり計画 住民意識調査結果報告書

令和2年3月
大阪府 豊能町

目次

1	住民アンケート調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査方法・実施期間	1
3	報告書の見方	1
2	住民アンケート調査の結果	2
1	あなた自身やあなたの世帯について	2
2	定住・転出・移住について	12
3	コミュニティとの関わりや意識等について	24
4	地域における「しごと」の創出に関する意識等について	30
5	地域生活について	32
6	豊能町の取組について	35

1 住民アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和4年度から令和13年度までのまちづくりの基本的指針となる豊能町総合まちづくり計画の策定にあたり、18歳以上の住民を対象として、まちづくりの現状や課題、将来像などについての意向を把握し、計画づくりの基礎資料として役立てるために実施しました。

2 調査方法・実施期間

調査方法	郵送による配布・回収
調査対象者	18歳以上の住民 2,000人（令和元年11月1日現在）
調査期間	令和元年11月28日～令和元年12月12日
回収結果（回収率）	1,208件（60.4%）

3 報告書の見方

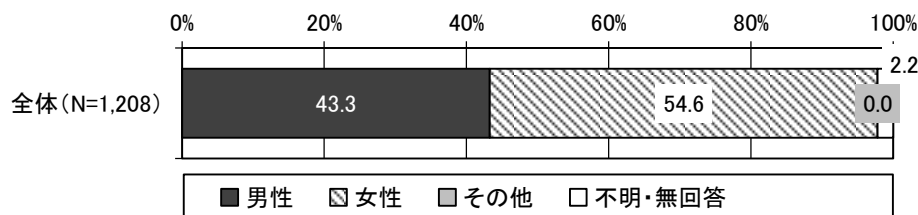
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人の数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 居住地域別のクロス集計について、「東・南部地域」は「余野・川尻・木代・切畑・野間口・高山・牧・寺田・希望ヶ丘」、「西部地域」は「吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台」を意味します。
- クロス集計表では、各区分において、最も割合が高い選択肢は濃い塗り（文字は白抜き）で、次に割合の高い選択肢は薄い塗りで表示しています。
- 本調査でいただいたご意見について、文章は原則として原文のまま掲載しています。なお、明らかな誤字・脱字は訂正するとともに、特定の個人・団体等が判別でき、その権利や利益を侵害する恐れがあるなど、公表することが適切でないと判断した表現については、一部修正しています。

2 住民アンケート調査の結果

1 あなた自身やあなたの世帯について

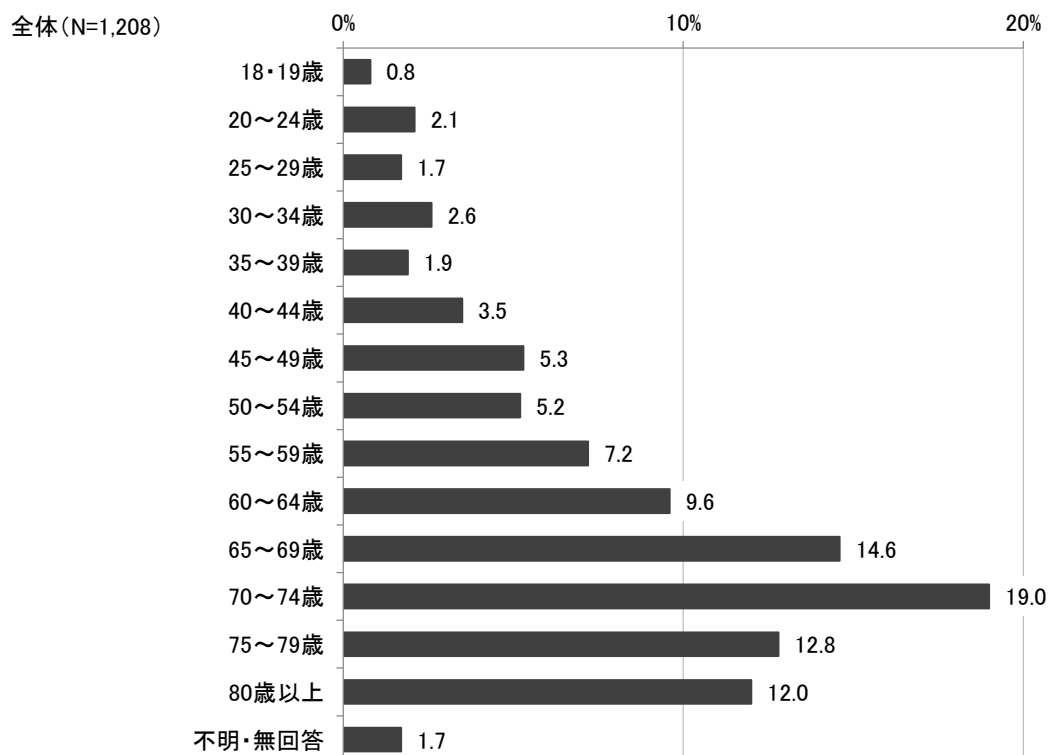
問1-1 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

性別については、「男性」が43.3%、「女性」が54.6%となっています。



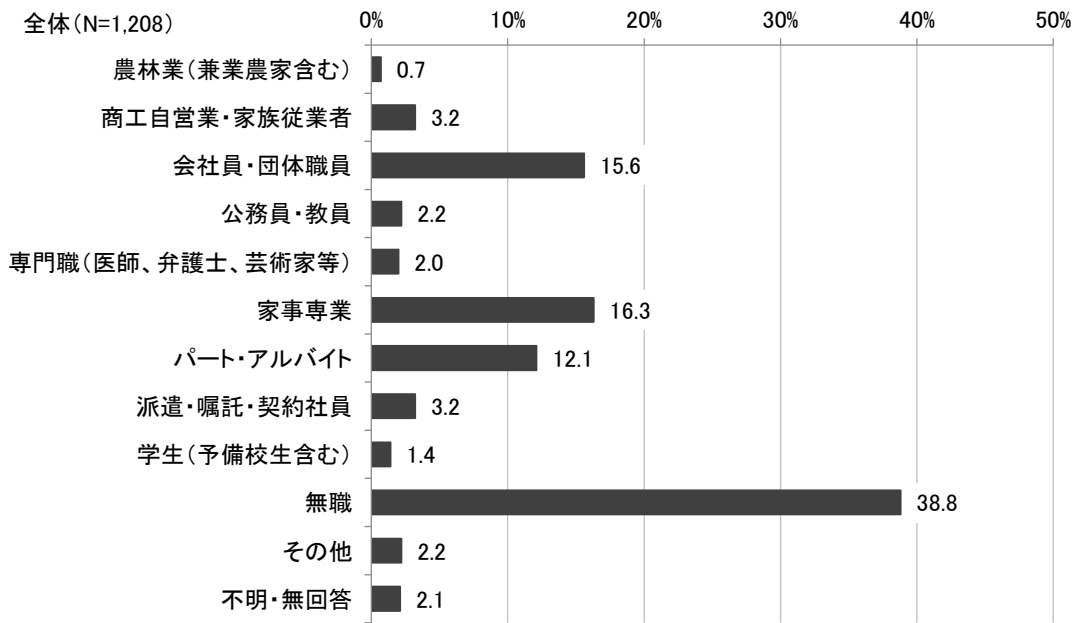
問1-2 あなたの年齢をお答えください。(単数回答)

年齢については、「70～74 歳」が19.0%と最も高く、次いで「65～69 歳」が14.6%、「75～79 歳」が12.8%となっています。



問１－３ あなたの職業（兼業の方は収入の多い職業）をお答えください。（単数回答）

職業については、「無職」が38.8%と最も高く、次いで「家事専業」が16.3%、「会社員・団体職員」が15.6%となっています。



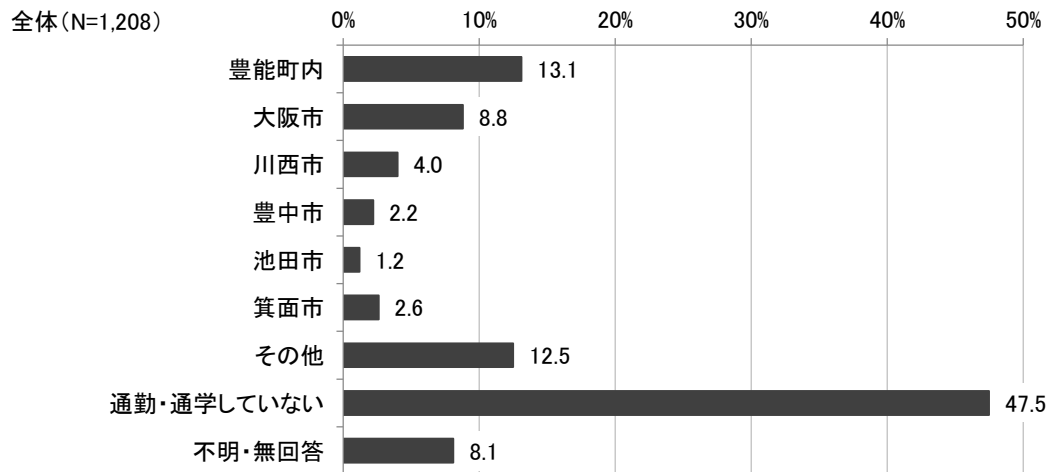
■問１－３「職業」のクロス集計（居住地域別）

居住地域別にみると、いずれも「無職」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	農林業(兼業農家含む)	商工自営業・家族従業者	会社員・団体職員	公務員・教員	専門職(医師、弁護士、芸術家等)	家事専業	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	学生(予備校生含む)	無職	その他	不明・無回答
全 体		1,208 100.0	9 0.7	39 3.2	189 15.6	27 2.2	24 2.0	197 16.3	146 12.1	39 3.2	17 1.4	469 38.8	27 2.2	25 2.1
居住地域別	東・南部地域	220 100.0	5 2.3	16 7.3	38 17.3	4 1.8	3 1.4	28 12.7	36 16.4	8 3.6	3 1.4	70 31.8	7 3.2	2 0.9
	西部地域	958 100.0	3 0.3	23 2.4	150 15.7	23 2.4	21 2.2	167 17.4	109 11.4	30 3.1	13 1.4	395 41.2	20 2.1	4 0.4

問１－４ あなたは現在、どこに通勤・通学していますか。（単数回答）

通勤・通学については、「通勤・通学していない」が47.5%と最も高く、次いで「豊能町内」が13.1%、「大阪市」が8.8%となっています。



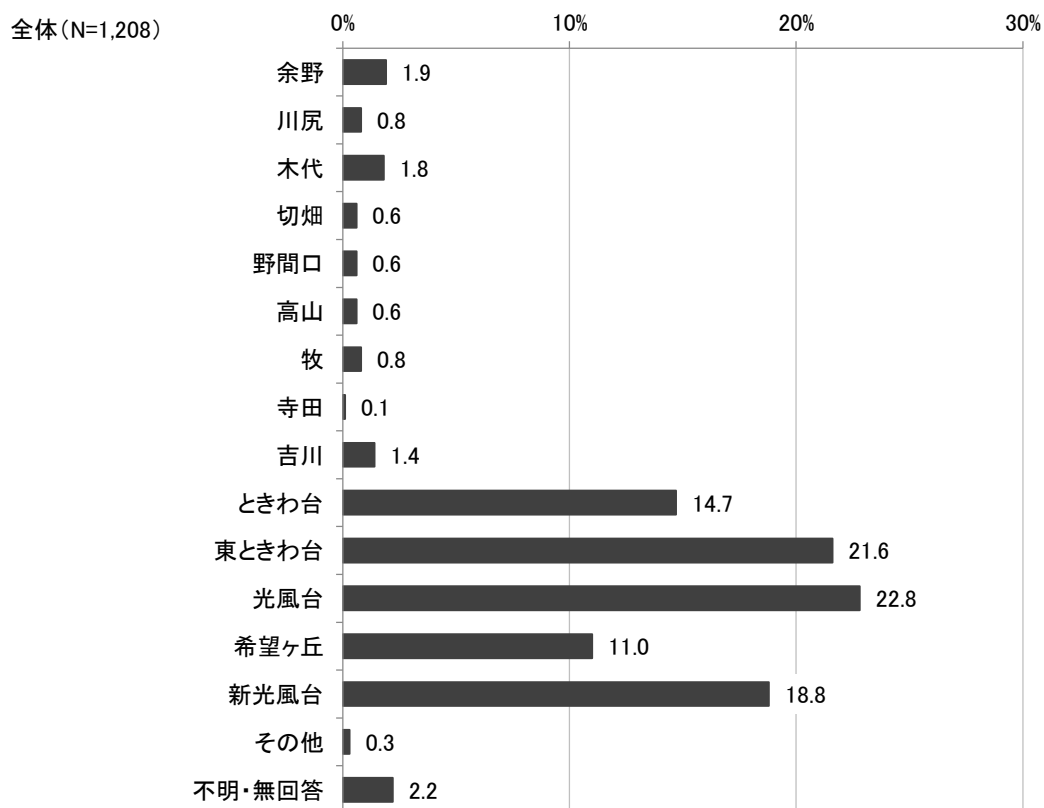
■問１－４「通勤・通学」のクロス集計（居住地域別）

居住地域別にみると、いずれも「通勤・通学していない」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	豊能町内	大阪市	川西市	豊中市	池田市	箕面市	その他	通勤・通学していない	不明・無回答
全 体		1,208 100.0	158 13.1	106 8.8	48 4.0	27 2.2	14 1.2	32 2.6	151 12.5	574 47.5	98 8.1
居住地域別	東・南部地域	220 100.0	42 19.1	22 10.0	5 2.3	6 2.7	3 1.4	8 3.6	30 13.6	90 40.9	14 6.4
	西部地域	958 100.0	114 11.9	83 8.7	43 4.5	21 2.2	11 1.1	24 2.5	118 12.3	480 50.1	64 6.7

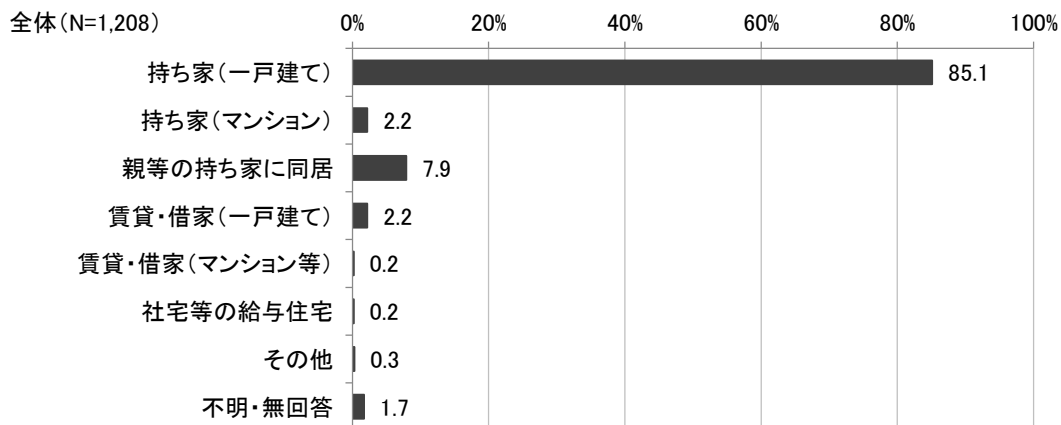
問１－５ あなたの居住地域はどちらですか。（単数回答）

居住地域については、「光風台」が22.8%と最も高く、次いで「東ときわ台」が21.6%、「新光風台」が18.8%となっています。



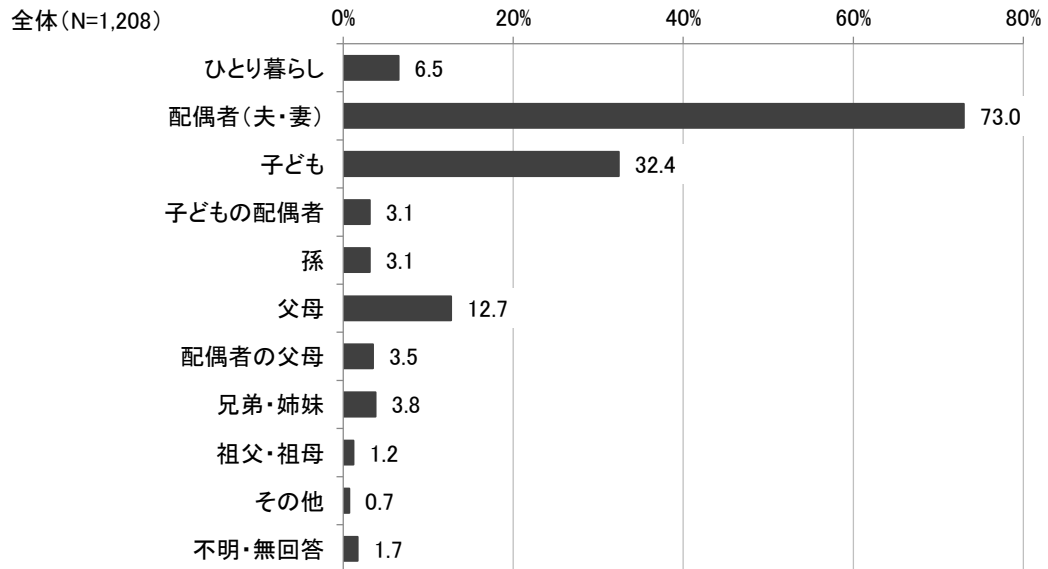
問１－６ 現在のお住まいの形態はどれですか。（単数回答）

居住形態については、「持ち家（一戸建て）」が85.1%、「親等の持ち家に同居」が7.9%、「持ち家（マンション）」「賃貸・借家（一戸建て）」がともに2.2%となっています。



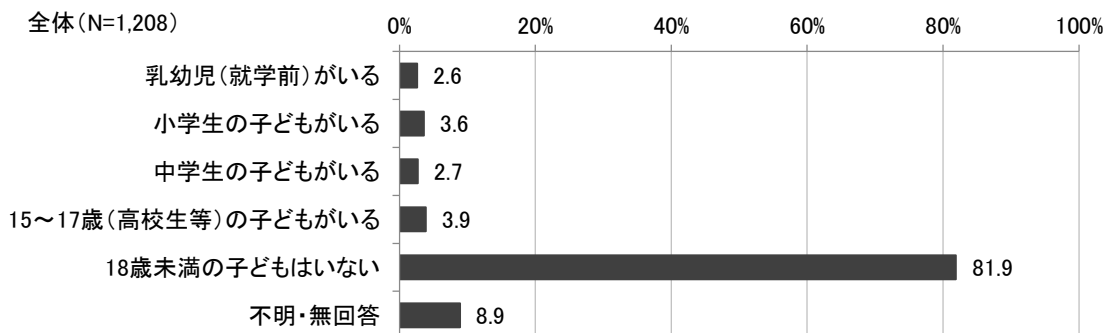
問１－７ あなたと同居されている家族はどなたですか。（複数回答）

同居の家族については、「配偶者（夫・妻）」が73.0%、「子ども」が32.4%、「父母」が12.7%となっています。



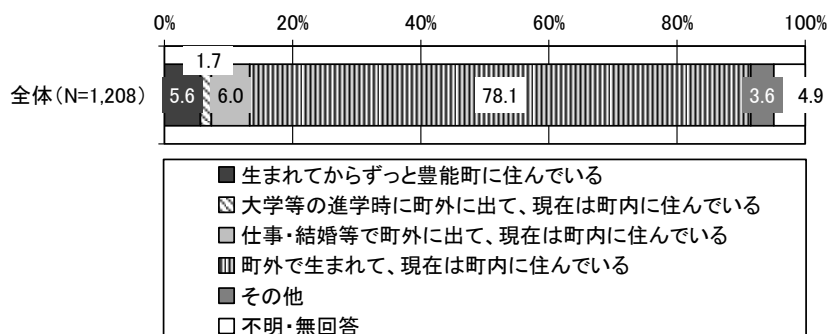
問１－８ あなたに18歳未満のお子さんはいますか。（複数回答）

18歳未満のお子さんについては、「18歳未満の子どもはいない」が81.9%、「15～17歳（高校生等）の子どもがいる」が3.9%、「小学生の子どもがいる」が3.6%となっています。



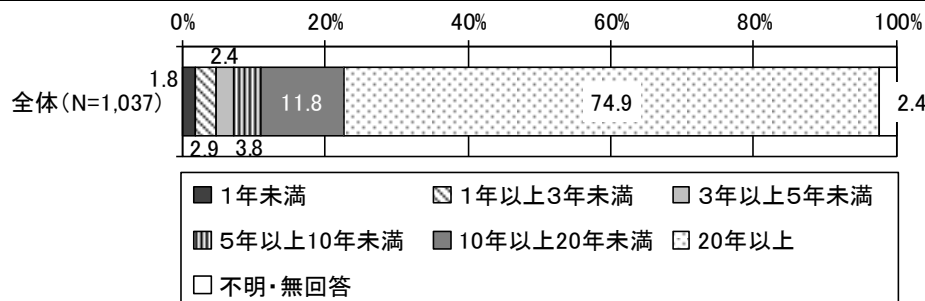
問１－９ あなたの居住歴はどれですか。（単数回答）

居住歴については、「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」が78.1%、「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」が6.0%、「生まれてからずっと豊能町に住んでいる」が5.6%となっています。



問１－９で「大学等の進学時に町外に出て、現在は町内に住んでいる」「仕事・結婚等で町外に出て、現在は町内に住んでいる」「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」と答えた方に対する設問
問１－１０ 豊能町に転入されて何年になりますか。（単数回答）

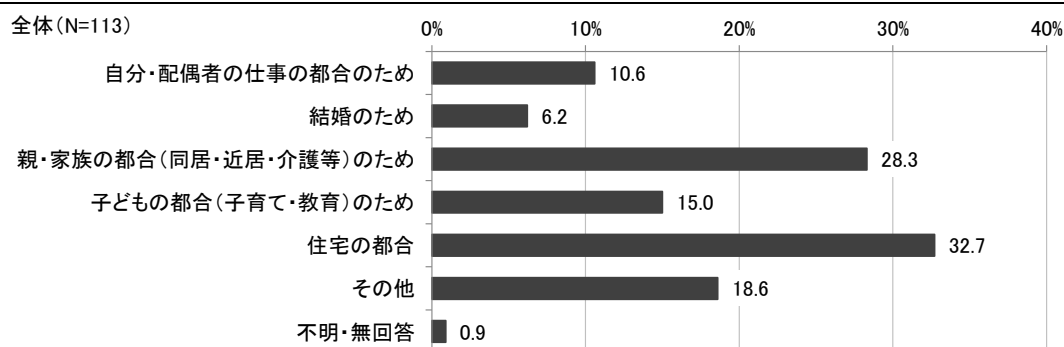
転入年数については、「20 年以上」が 74.9%、「10 年以上 20 年未満」が 11.8%、「5 年以上 10 年未満」が 3.8%となっています。



問１－１０で「1 年未満」「1 年以上 3 年未満」「3 年以上 5 年未満」「5 年以上 10 年未満」と答えた方に対する設問

問１－１１（１） 転入した理由は何ですか。（複数回答）

転入理由については、「住宅の都合」が 32.7%、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が 28.3%、「子どもの都合（子育て・教育）のため」が 15.0%となっています。



■問１－１１（１）「転入した理由」のクロス集計（年齢別）

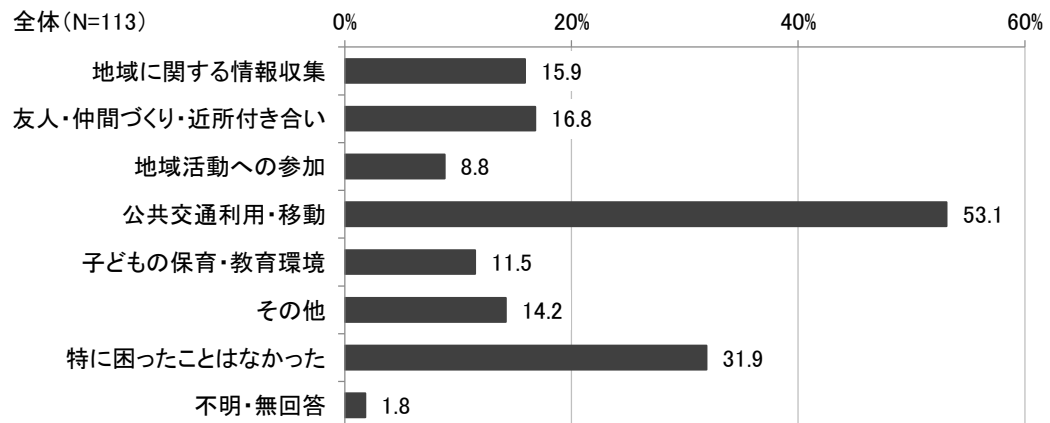
年齢別にみると、64 歳以下では「住宅の都合」、65～74 歳では「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」「住宅の都合」、75 歳以上では「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	自分・配偶者の仕事の都合のため	結婚のため	親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため	子どもの都合（子育て・教育）のため	住宅の都合	その他	不明・無回答
全 体		113 100.0	12 10.6	7 6.2	32 28.3	17 15.0	37 32.7	21 18.6	1 0.9
年 齢 別	18～39歳	31 100.0	3 9.7	4 12.9	7 22.6	4 12.9	11 35.5	4 12.9	1 3.2
	40～64歳	59 100.0	7 11.9	3 5.1	16 27.1	11 18.6	20 33.9	12 20.3	0 0.0
	65～74歳	14 100.0	2 14.3	0 0.0	4 28.6	1 7.1	4 28.6	4 28.6	0 0.0
	75歳以上	8 100.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0

問１－１０で「１年未満」「１年以上３年未満」「３年以上５年未満」「５年以上１０年未満」と答えた方に対する設問

問１－１１（２）転入する時や住み始めた時に、困ったことはありませんでしたか。（複数回答）

転入時や住み始めた時の困ったことについては、「公共交通利用・移動」が 53.1%、「特に困ったことはなかった」が 31.9%、「友人・仲間づくり・近所付き合い」が 16.8%となっています。



■問１－１１（２）「転入時や住み始めた時に困ったこと」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、74 歳以下では「公共交通利用・移動」、75 歳以上では「公共交通利用・移動」「特に困ったことはなかった」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	地域に関する情報収集	友人・仲間づくり・近所付き合い	地域活動への参加	公共交通利用・移動	子どもの保育・教育環境	その他	特に困ったこと	不明・無回答
全 体		113	18	19	10	60	13	16	36	2
		100.0	15.9	16.8	8.8	53.1	11.5	14.2	31.9	1.8
年 齢 別	18～39歳	31	4	6	3	18	5	5	10	1
		100.0	12.9	19.4	9.7	58.1	16.1	16.1	32.3	3.2
	40～64歳	59	9	9	5	29	7	9	19	0
		100.0	15.3	15.3	8.5	49.2	11.9	15.3	32.2	0.0
	65～74歳	14	4	3	2	9	0	1	4	0
		100.0	28.6	21.4	14.3	64.3	0.0	7.1	28.6	0.0
	75歳以上	8	1	1	0	3	1	1	3	1
		100.0	12.5	12.5	0.0	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5

問1－10で「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」「5年以上10年未満」と答えた方に対する設問

問1－11（3）転入する時や住み始めた時にあったらよい支援について、ご自由にお書きください。（自由回答）※年代別・原文ママ

●20 歳代

- ・豊能町に戻ってきたら補助金貰える制度
- ・能勢電鉄の住民割引。30%～50%。住民増やさないと町潰れます。
- ・転入祝いなどあれば、少しは人口増えるのでは？

●30 歳代

- ・粗大ごみなど回収しに来てほしい。草刈りの助っ人呼べる。大きい木を切りたい時に、相談をお願いしたい。
- ・水道代の削減
- ・同世代の方が集まる事の出来るような地域活動があれば住みやすくなると思います。
- ・同居や父母がいるなどの場合、補助金制度
- ・勤務先や仕事がある。
- ・光風台小学校に子供を入学させるつもりで土地を選んだが、住んでみたら、数年後小中一貫校となり、通えなくなる。小学一年生から吉川中学校まで歩いていかなければならないことが分かり愕然とした。分かってたならもっと早く教えてほしかった。
- ・能勢電車の利用券、一時保育を利用したくても、方法もわからず駅からも遠く車がないと情報収集も出来なかった。
- ・住民税等の減税
- ・リフォーム助成
- ・駅近辺のお店や施設・病院 MAP などがあるといいです。ちょっとした情報交換ができる。Q&A サイトなどがあると心強いです。

●40 歳代

- ・箕面有料道路が高いため、不便。シートスが希望ヶ丘近くにほしい。
- ・医療、勉強や教育
- ・地域の街の一年の流れがわかると助かります。知らない行事やイベントが多いため、自治会だけではカバーしきれないと思います。
- ・通勤費の支援、引っ越しの支援
- ・何が必要かを定期的に聞いてほしかった。もしくはそういう窓口がほしかった。
- ・賃貸の一戸建てがもっとあれば、まず豊能町に住む事を試し、気に入れば家を購入するまたは、建てるという選択がしやすいのではないと思う。

●50 歳代

- ・ゴミの分別方法を詳細に教えてほしい。
- ・バスが無く、駅まで歩くか、自転車で行くしかない。バスがーの鳥居迄来てくれると便利だ。
- ・国保が月 8 万はつらい。
- ・水道料金の減額支援
- ・安全に住めるための情報。バス停までしか歩かないので道案内とか町の図がない。
- ・箕面有料道路住民に対する割引があればありがたい
- ・転入する前に近所のトラブル情報がわかっていれば助かった。
- ・何でも相談できる所
- ・インターネットホームページで交通機関ルート+時刻表。施設利用、教室の情報、ボランティアグループ、老人会の活動といったサービスがまとめてわかりやすく、随時更新されてあると便利かと思います。豊能町での全てのサービスが閲覧可能だといいです。
- ・転入補助金、家賃補助
- ・ゴミの分け方出す日をカレンダーにて毎日チェックできるようにしてほしい。
- ・地域のコミュニティ活動の紹介、スポーツレジャーの紹介。地域の飲食店の紹介

●60 歳代

- ・レストラン等飲食店、温泉
- ・子供達が学校に行く交通費がかかったので支援があればと思った。
- ・高齢者のみでなくて、すべての年代が利用出来る町内を移動する無料バスがあれば良い。
- ・千里中央まで一本で行けたらいい。バスの運行を増やしてほしい
- ・住民税の半年から 1 年免除などを金銭面の援助だと思います。
- ・交通が不便なので、バス便を充実してほしいと常常思っている。
- ・交通不便
- ・地域の細かい情報
- ・空き家情報。もっと日当たりの良い家を探したかった。引っ越し費用の支援
- ・バスの時刻表等の移動手段
- ・交通の便利化
- ・大阪に出るための手段が乏しく、現実にお金かかりすぎる。電車バス箕面トンネルどこにどの様な手段で行くにもお金がかかりすぎる。
- ・若い人に来ていただくためにも一時金とか子育て支援とか増やせばいいと思う。
- ・地域支援
- ・豊能町のマップ、役所、公園、保育園等ものってるもの。バスの経路図あれば時刻表、相談窓口
- ・豊能町の役場、中央公民館の看板すらなく、どこがどこかわからなくて、探すのに手間取った。びっくりしたことの一つ。
- ・転入時の金品支給。結婚後 5 年以内ならその後 5 年間定期的に何か支給する。
- ・転入する方々に具体的に説明案内、相談できる窓口がなければ設けてほしい。

●70 歳代

- ・豊能の西地区への交通機関がない。車がないといけない。特に乳がん子宮がんの検診に行くのに不便。希望ヶ丘に何でも買える大きなスーパーがないので不便。
- ・小口(100 万円まで)融資制度あれば使い道自由、低金利なもの。返済 10 年ぐらい。
- ・交通費高い。
- ・転入届の際に豊能町の行政関係の資料も手元にほしい。書類配布も良いですが。
- ・バスの本数がほしい。
- ・介護に関する情報
- ・近隣に大きな病院、施設等が不足しているのでは？
- ・自由に歩ける土の道
- ・本町のみならず、近隣の能勢町、猪名川町、箕面市、池田市、川西市、の情報がほしかった。特に食べ物や娯楽施設、買い物等。当時はマスコミ情報だけだったので、数年かかりました。
- ・小規模であっても入院できる病院もしくは、救急で診察受けられる施設があればと思います。これから免許を手放すにあたり、コミュニティバスの回数を増便してほしい。
- ・商店街の充実
- ・東ときわ台とときわ台駅の間に便利な乗り物あれば良い。
- ・交通網
- ・西地区と東地区の良い所
- ・分からないこと、聞きたいことはすべて役場に行き教わり、ご近所の方にもいろいろ教えてもらいましたし、これからします。
- ・公共の乗り物利便性
- ・転入された方の情報誌
- ・買い物病院も一軒もなく病気になった時は困った。
- ・公立病院
- ・防犯カメラなど
- ・東地区へ行くための交通が不便。

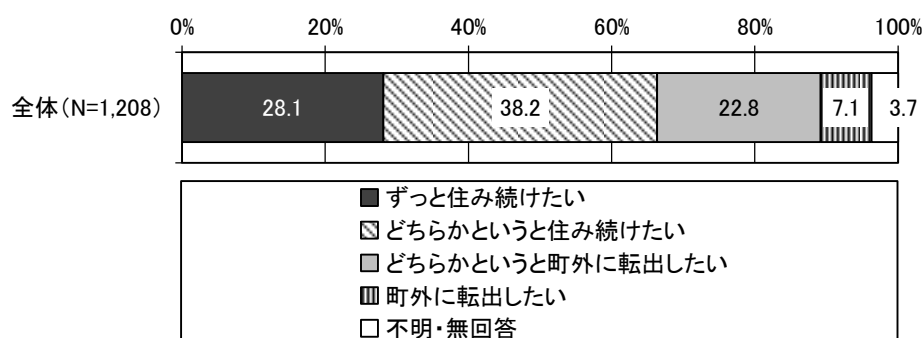
●80 歳代

- ・総合病院が有ったらいいな。
- ・教育費の無償
- ・若い時は大丈夫だったが、年取ると買い物等移動が不便。
- ・買い物不便。
- ・大型の災害時、長期間にわたる道路機構の悪化などそれらの状態になると不便。交通道路整備を対策すべき。
- ・困ったことが分からないことがあった時に相談するところが分からない。転移届だしに行った時に役所の人から何の説明もなかった。今から比べると非常に不親切。
- ・病院、クリニックがないのが一番不安で、車運転できない年寄りなどの為に往診システムや PC でクリニックとつながる等、支援システムが必要。役場への交通手段もほしい。
- ・光風台にごみステーション設置を。無理ならせめてカラスが黄色が見えないみたいなので、ごみネットの配布を徹底してほしい。
- ・50 年以上前に空気のきれいさを求めて転入しました。特に支援は求めませんでした。
- ・交通不便、買い物店少ない。
- ・転入した翌年に自治会役員を任命され、自治会活動に参加し、楽しく過ごすことができました。多忙な日々でしたか、皆さんが協力して下さり、一年間あっという間に過ぎました。
- ・買い物等
- ・開発初期ながらとなり町があったから特になかった。
- ・何処に何があるかわかる地図

2 定住・転出・移住について

問2－1 あなたは将来も豊能町に住み続けたいと思いますか。（単数回答）

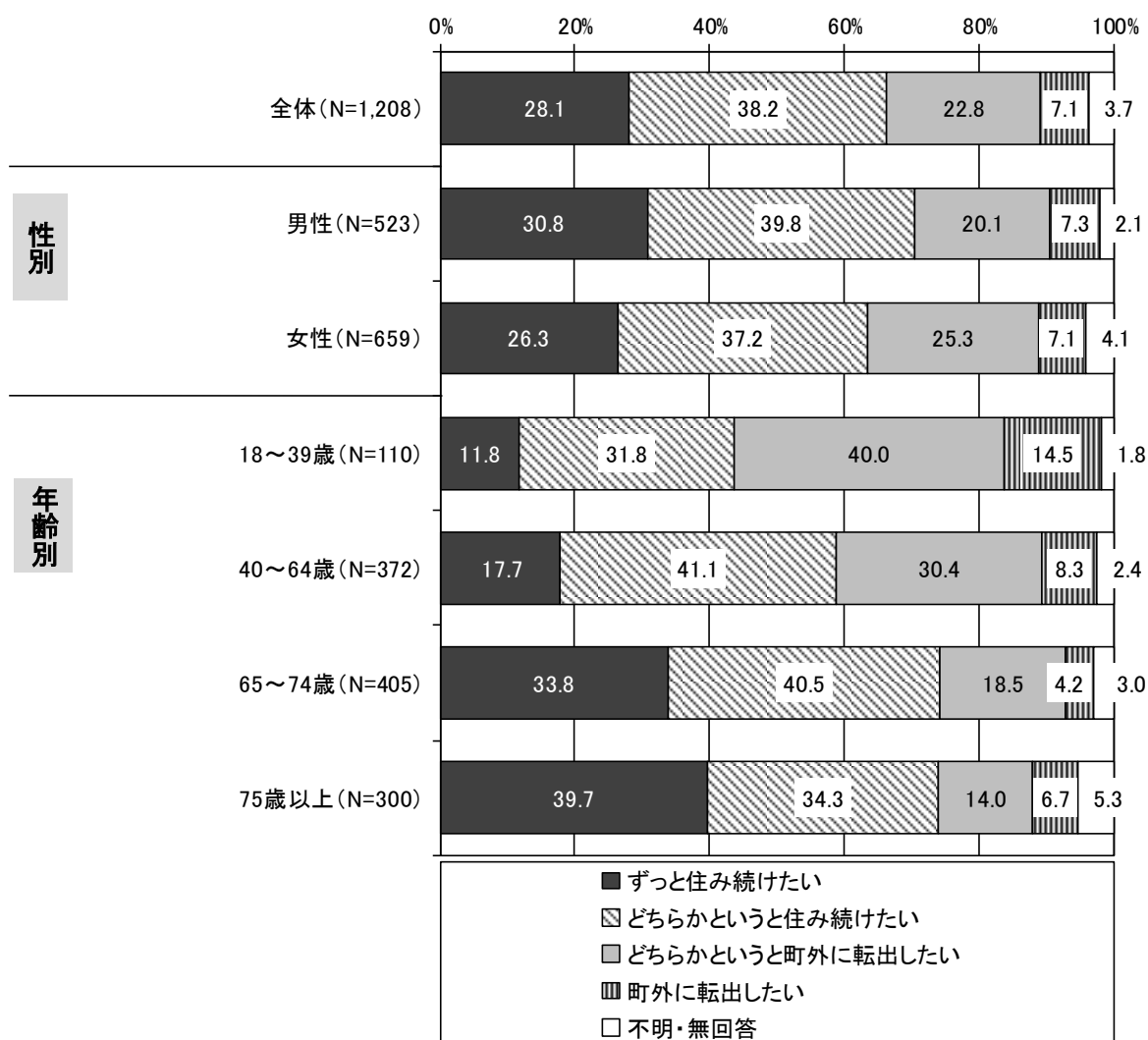
豊能町に住み続けたいと思うかについては、「どちらかというに住み続けたい」が38.2%と最も高く、次いで「ずっと住み続けたい」が28.1%、「どちらかという町外に転出したい」が22.8%となっています。



■問2－1「定住意向」のクロス集計（性別・年齢別）

性別にみると、男女ともに『転出したい』（「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」の合計割合）よりも『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」の合計割合）が高くなっています。

年齢別にみると、18～39歳では『転出したい』、40歳以上では『住み続けたい』が高くなっています。また、年代が上がるにつれて『転出したい』の割合は減少し、『住み続けたい』が増加する傾向にあります。

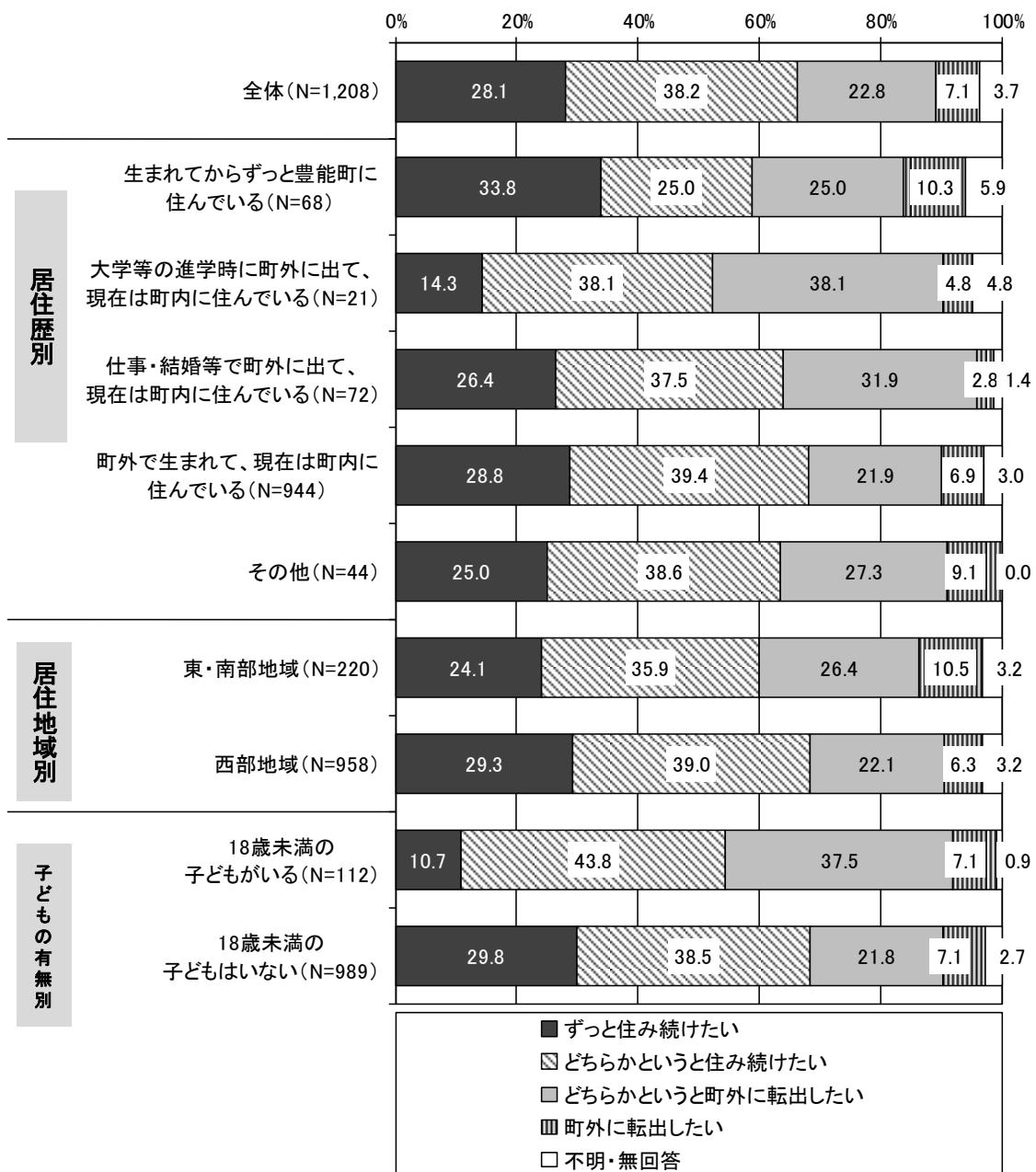


■問2ー1「定住意向」のクロス集計（居住歴別・居住地域別・子どもの有無別）

居住歴別にみると、「町外で生まれて、現在は町内に住んでいる」と回答した人で『住み続けたい』が最も高くなっています。

居住地域別にみると、西部地域の方が東・南部地域よりも『住み続けたい』が高くなっています。

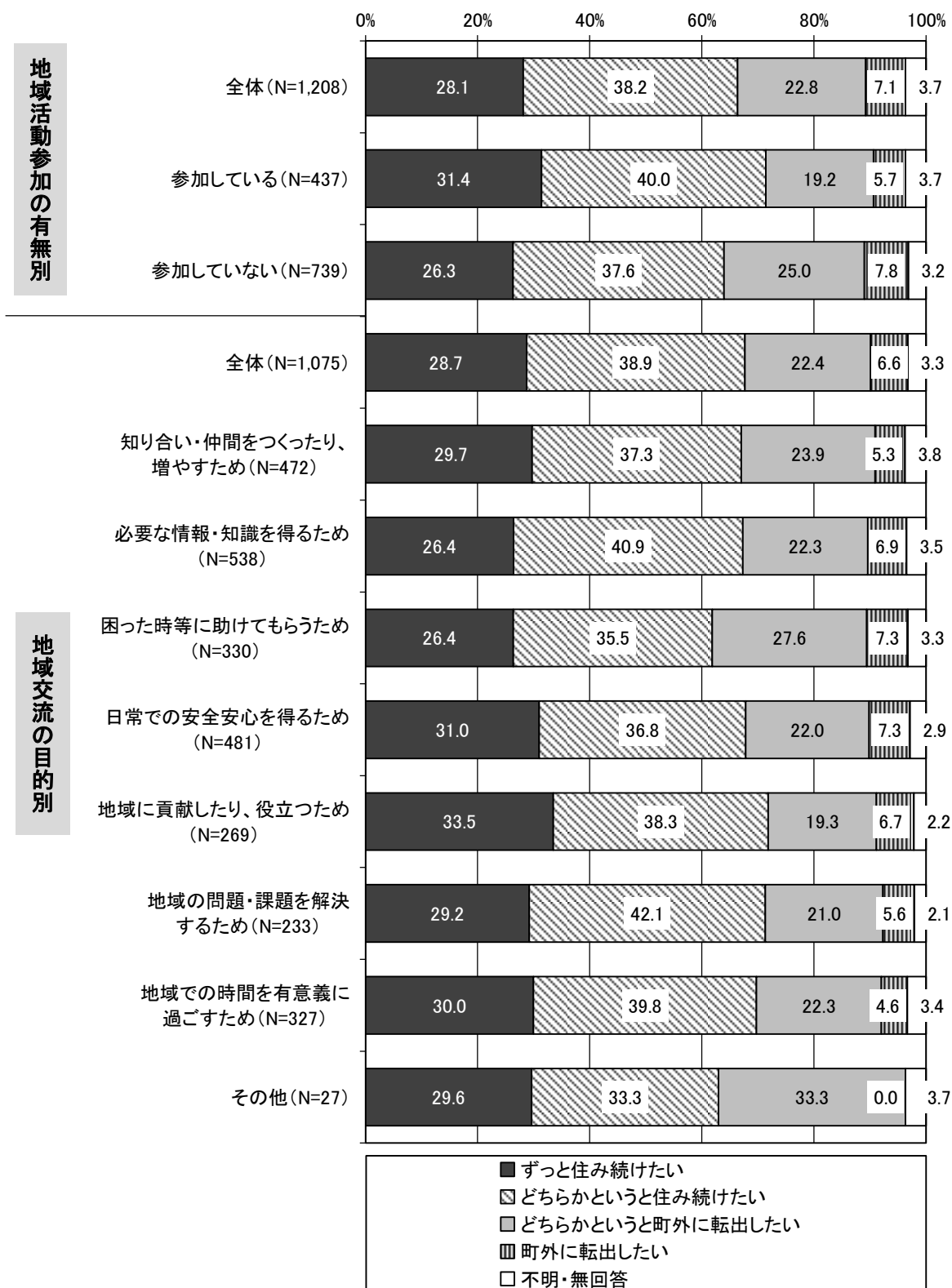
子どもの有無別にみると、「18歳未満の子どもがいる」と回答した人の方が「18歳未満の子どもがいない」と回答した人よりも『住み続けたい』が低くなっています。



■問2-1「定住意向」のクロス集計（地域活動参加の有無別・地域交流の目的別）

地域活動参加の有無別にみると、「参加している」人の方が「参加していない」人よりも『住み続けたい』が高くなっています。

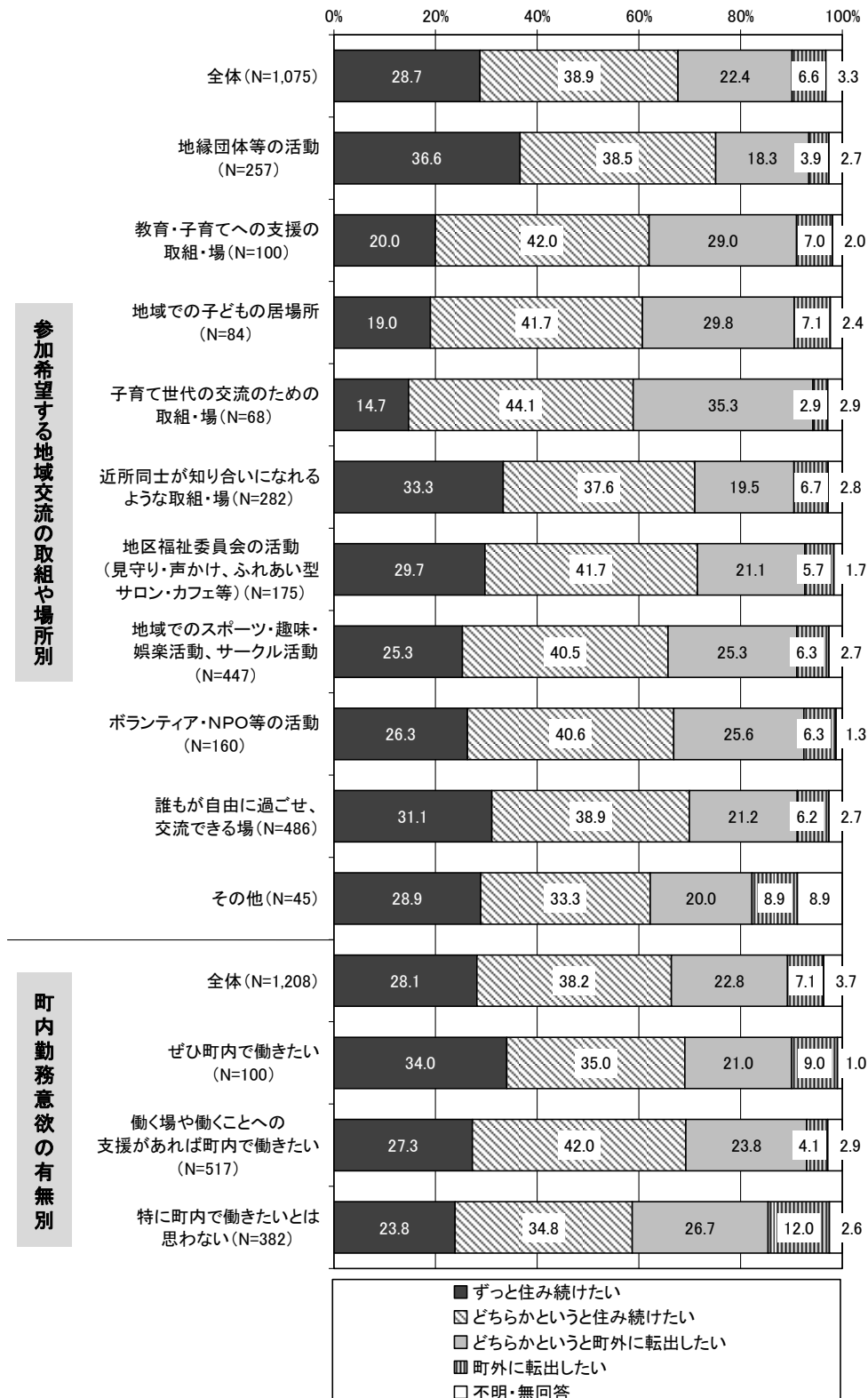
地域交流の目的別にみると、「地域に貢献したり、役立つため」と回答している人が、『住み続けたい』が最も高くなっています。



■問2ー1「定住意向」のクロス集計（参加希望する地域交流の取組や場所別・町内勤務意欲の有無別）

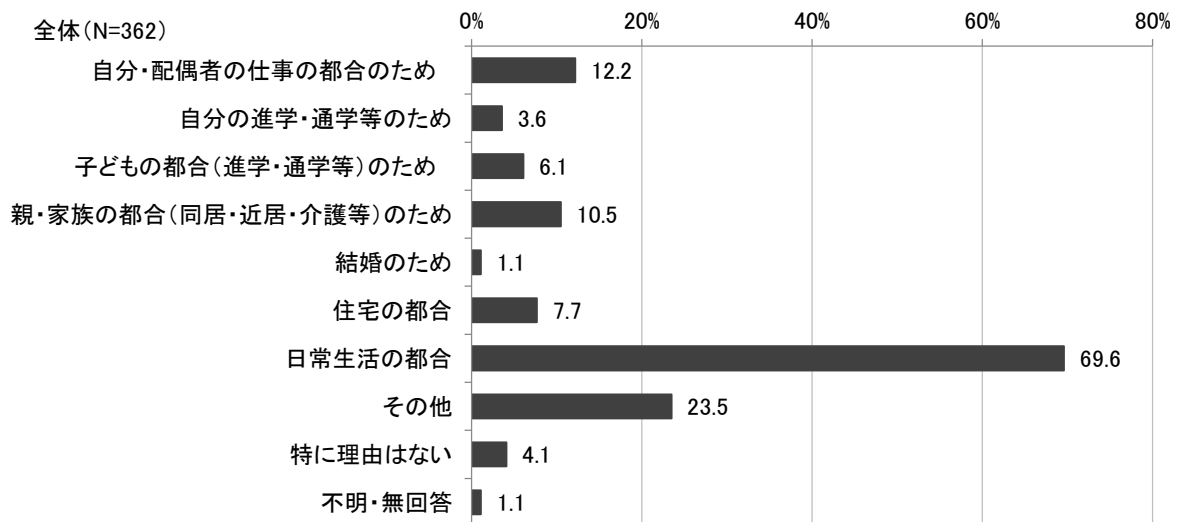
参加希望する地域交流の取組や場所別にみると、「地縁団体の活動」や「地区福祉委員会の活動（見守り・声かけ、ふれあい型サロン・カフェ等）」「近所同士が知り合いになれるような取組・場」「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」と回答している人で『住み続けたい』が7割以上と高くなっています。

町内勤務意欲の有無別にみると、「ぜひ町内で働きたい」「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」と回答している人の方が「特に町内で働きたいとは思わない」と回答している人よりも『住み続けたい』が高くなっています。



問2-1で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方に対する設問
問2-2（1）転出したい理由は何ですか。（複数回答）

転出したい理由については、「日常生活の都合」が69.6%と最も高く、次いで「自分・配偶者の仕事の都合のため」が12.2%、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が10.5%となっています。



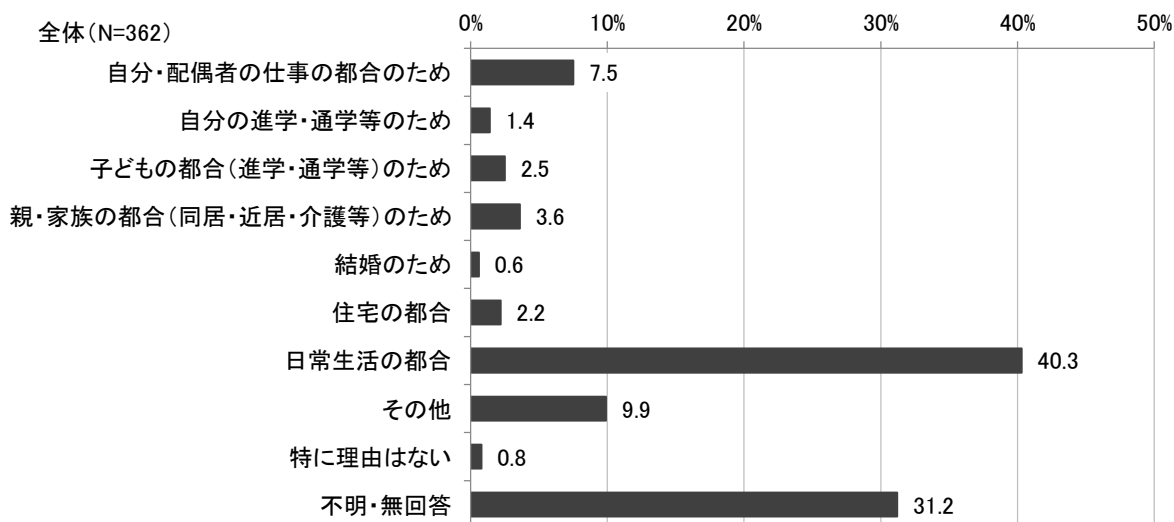
■問2-2（1）「転出希望理由」のクロス集計（年齢別・居住地域別・子どもの有無別）

年齢別、居住地域別、子どもの有無別にみると、いずれも「日常生活の都合」が最も高くなっています。また、18～39歳では「自分・配偶者の仕事の都合のため」、18歳未満の子どもがいる世帯では「子どもの都合（進学・通学等）のため」がともに3割台となっています。

上段:件数 下段:%		調査数	自分・配偶者のための仕事	自己の進学・通学等	子どもの進学・通学等	親・同居・近居・介護等	結婚のため	住宅の都合	日常生活の都合	その他	特に理由はない	不明・無回答
全 体		362 100.0	44 12.2	13 3.6	22 6.1	38 10.5	4 1.1	28 7.7	252 69.6	85 23.5	15 4.1	4 1.1
年 齢 別	18～39歳	60 100.0	22 36.7	6 10.0	5 8.3	2 3.3	3 5.0	3 5.0	34 56.7	7 11.7	5 8.3	0 0.0
	40～64歳	144 100.0	20 13.9	7 4.9	14 9.7	16 11.1	1 0.7	9 6.3	108 75.0	44 30.6	2 1.4	1 0.7
	65～74歳	92 100.0	2 2.2	0 0.0	1 1.1	13 14.1	0 0.0	10 10.9	68 73.9	18 19.6	4 4.3	0 0.0
	75歳以上	62 100.0	0 0.0	0 0.0	2 3.2	7 11.3	0 0.0	6 9.7	40 64.5	14 22.6	4 6.5	3 4.8
居 住 地 域 別	東・南部地域	81 100.0	8 9.9	2 2.5	7 8.6	5 6.2	0 0.0	4 4.9	63 77.8	15 18.5	2 2.5	2 2.5
	西部地域	272 100.0	33 12.1	11 4.0	14 5.1	32 11.8	4 1.5	23 8.5	185 68.0	67 24.6	13 4.8	2 0.7
子 ども の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる	50 100.0	12 24.0	4 8.0	17 34.0	4 8.0	0 0.0	3 6.0	34 68.0	12 24.0	1 2.0	0 0.0
	18歳未満の子どもはいない	286 100.0	31 10.8	9 3.1	5 1.7	31 10.8	4 1.4	25 8.7	205 71.7	65 22.7	11 3.8	3 1.0

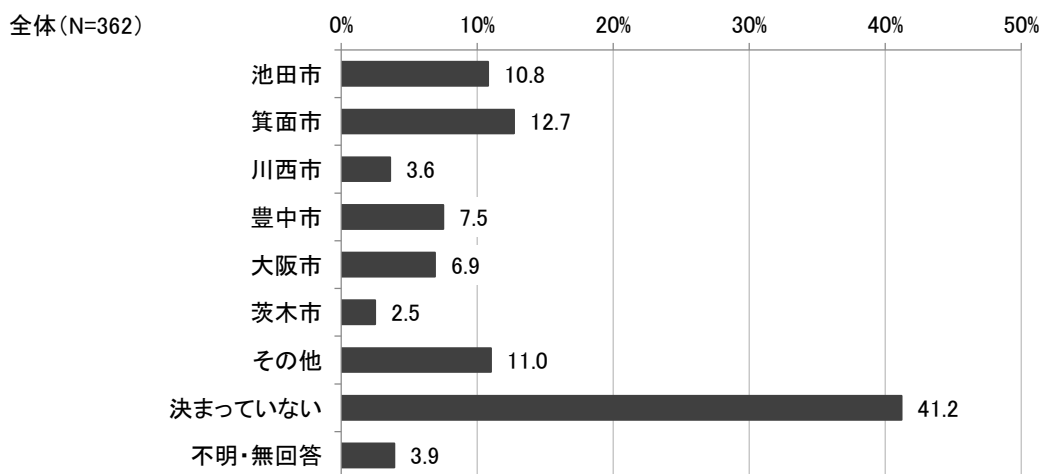
問2-1で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方に対する設問
 問2-2（2）上記（1）で選んだ理由のうち、最も大きな理由はどれですか。
 （単数回答）

転出したい最も大きな理由については、「日常生活の都合」が40.3%と最も高く、次いで「自分・配偶者の仕事の都合のため」が7.5%、「親・家族の都合（同居・近居・介護等）のため」が3.6%となっています。



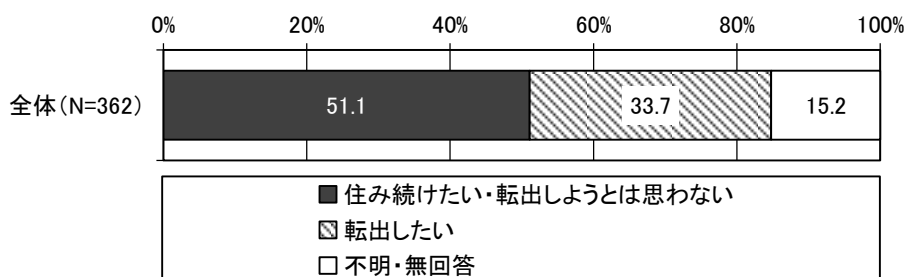
問2-1で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方に対する設問
 問2-2（3）転出をするならば、希望する場所はどちらですか。（単数回答）

転出の希望場所については、「決まっていない」が41.2%と最も高く、次いで「箕面市」が12.7%、「池田市」が10.8%となっています。



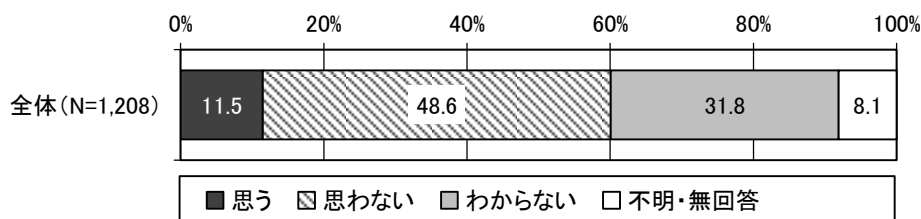
問2-1で「どちらかという町外に転出したい」「町外に転出したい」と答えた方に対する設問
 問2-2(4)上記(1)の理由がなければ、豊能町に住み続けたいと思いますか。
 (単数回答)

豊能町に住み続けたいかについては、「住み続けたい・転出しようとは思わない」が51.1%、「転出したい」が33.7%となっています。



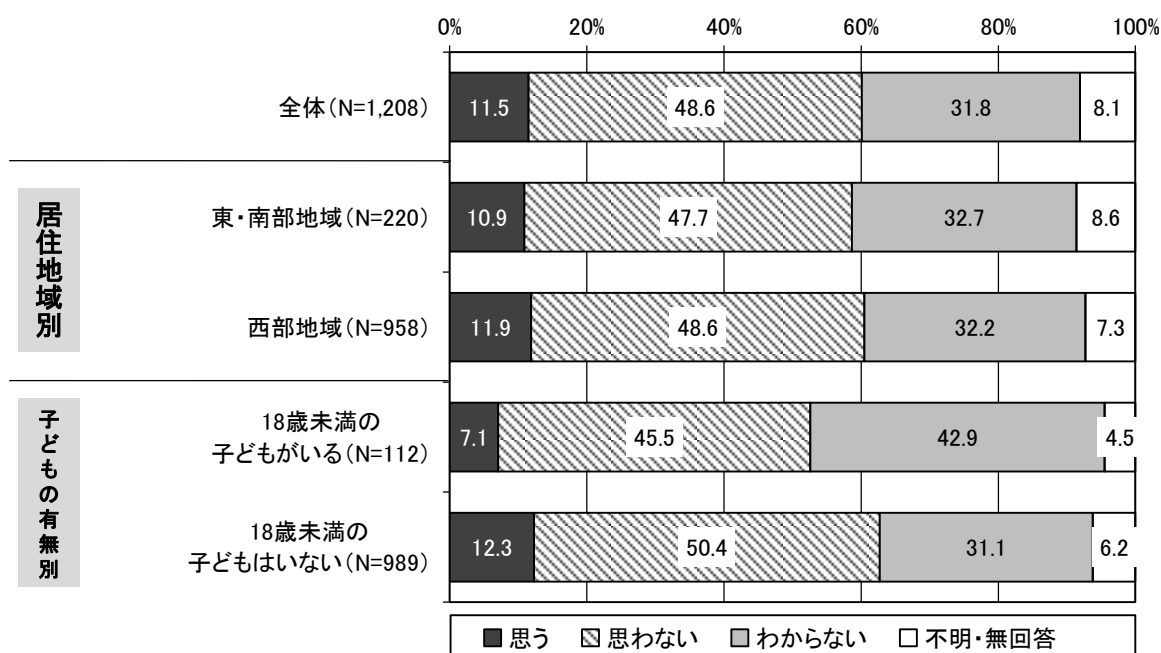
問2-3 あなたの子ども(子どもの世代)は、豊能町に住むと思いますか。(単数回答)

子どもの世代が豊能町に住むかについては、「思わない」が48.6%と最も高く、次いで「わからない」が31.8%、「思う」が11.5%となっています。



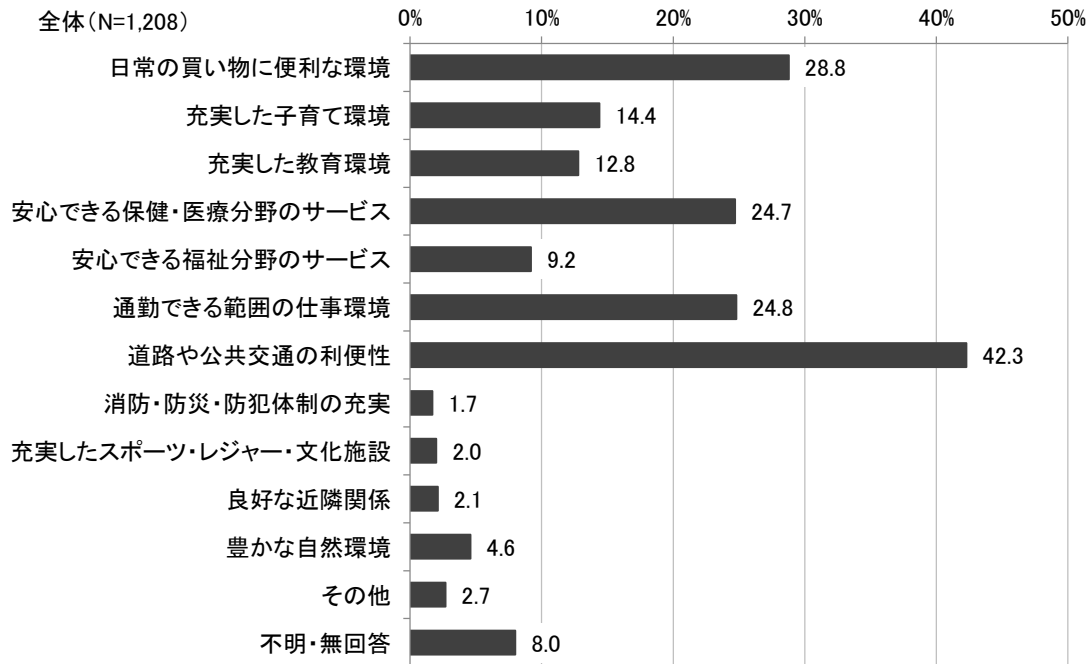
■問2-3「子ども世代の居住意向」のクロス集計(居住地域別・子どもの有無別)

居住地域別、子どもの有無別にみると、いずれも「思わない」が最も高くなっています。



問2-4 あなたの子ども（子どもの世代）が豊能町に住み続けるためには何が必要だと思いますか。（2つまで複数回答）

子どもの世代が豊能町に住み続けるために何が必要かについては、「道路や公共交通の利便性」が42.3%と最も高く、次いで「日常の買い物に便利な環境」が28.8%、「通勤できる範囲の仕事環境」が24.8%となっています。



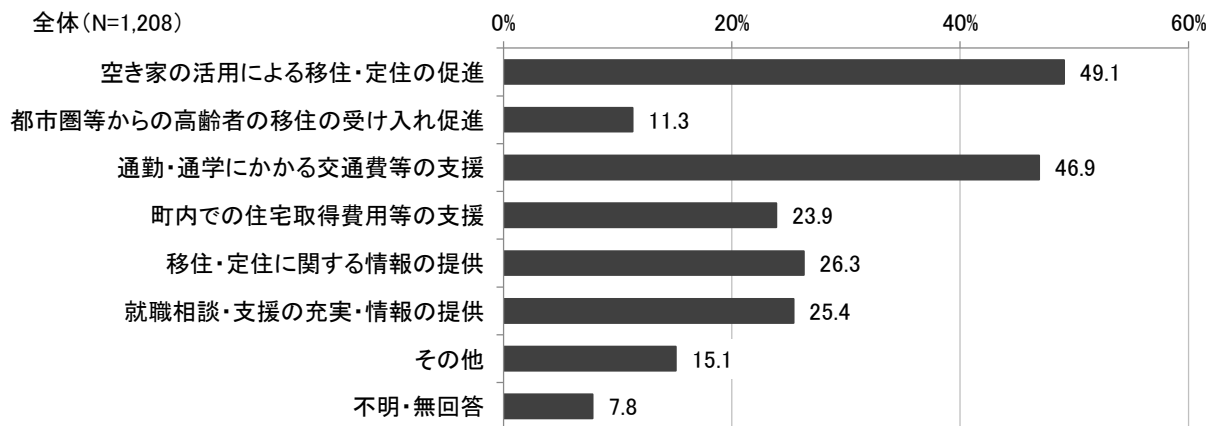
■問2-4「子ども世代の居住継続に必要なこと」のクロス集計（居住地域別・子どもの有無別）

居住地域別、子どもの有無別にみると、いずれも「道路や公共交通の利便性」が最も高くなっています。また、18歳未満の子どもがいる世帯では「充実した子育て環境」が約3割となっています。

上段:件数 下段:%		調査数	日常の買い物に 便利な環境	充実した子育て 環境	充実した教育 環境	安心できる 保健・医療 分野のサービス	安心できる 福祉分野の サービス	通勤できる 範囲の仕事 環境	道路や公共 交通の利便 性	消防・防災・ 防犯体制の 充実	文化・施設 充実したス ポーツ・レ ジャー・文 化施設	良好な近 隣関係	豊かな自然 環境	その他	不明・無 回答
全 体		1,208 100.0	348 28.8	174 14.4	155 12.8	298 24.7	111 9.2	299 24.8	511 42.3	20 1.7	24 2.0	25 2.1	55 4.6	33 2.7	97 8.0
居住 地域 別	東・南部地域	220 100.0	72 32.7	28 12.7	34 15.5	63 28.6	19 8.6	47 21.4	107 48.6	1 0.5	3 1.4	2 0.9	2 0.9	4 1.8	17 7.7
	西部地域	958 100.0	274 28.6	145 15.1	117 12.2	231 24.1	90 9.4	245 25.6	392 40.9	19 2.0	19 2.0	22 2.3	52 5.4	29 3.0	70 7.3
子 ど も の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる	112 100.0	33 29.5	35 31.3	22 19.6	19 17.0	7 6.3	32 28.6	49 43.8	5 4.5	2 1.8	2 1.8	4 3.6	4 3.6	3 2.7
	18歳未満の子どもはいない	989 100.0	284 28.7	133 13.4	121 12.2	251 25.4	97 9.8	250 25.3	425 43.0	14 1.4	17 1.7	20 2.0	47 4.8	29 2.9	70 7.1

問2-5 あなたは、町外からの移住を促進したり、豊能町出身者が町内に戻ってくるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで複数回答）

町外から移住を促進したり、豊能町出身者が町内に戻ってくるためにどのようなことに力を入れるべきかについては、「空き家の活用による移住・定住の促進」が49.1%と最も高く、次いで「通勤・通学にかかる交通費等の支援」が46.9%、「移住・定住に関する情報の提供」が26.3%となっています。



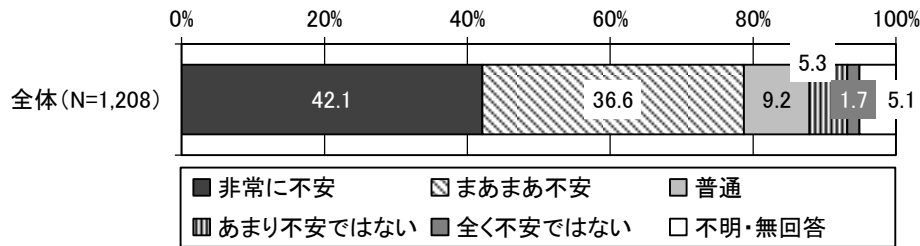
■問2-5「町内への移住促進に必要なこと」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、18～64歳では「通勤・通学にかかる交通費等の支援」、65歳以上では「空き家の活用による移住・定住の促進」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	のよ空 促るき 進移家 住の・活 定用住に	受高都 け齢市 入者圏 れの等 促移か 進住ら のの	支か通 援る勤 交・通 通費学 等にか	得町 費用で 等の住 の住宅 支援取	す移 る住 情・報 定の住 提に供 関	提の就 供充職 実相・談 情・報 支の援	その他	不明・無回答
全 体		1,208	593	136	567	289	318	307	182	94
		100.0	49.1	11.3	46.9	23.9	26.3	25.4	15.1	7.8
年 齢 別	18～39歳	110	51	6	69	33	24	28	14	5
		100.0	46.4	5.5	62.7	30.0	21.8	25.5	12.7	4.5
	40～64歳	372	182	26	194	99	92	101	72	21
		100.0	48.9	7.0	52.2	26.6	24.7	27.2	19.4	5.6
	65～74歳	405	221	52	176	87	123	101	56	22
		100.0	54.6	12.8	43.5	21.5	30.4	24.9	13.8	5.4
	75歳以上	300	132	51	121	67	76	73	38	39
		100.0	44.0	17.0	40.3	22.3	25.3	24.3	12.7	13.0

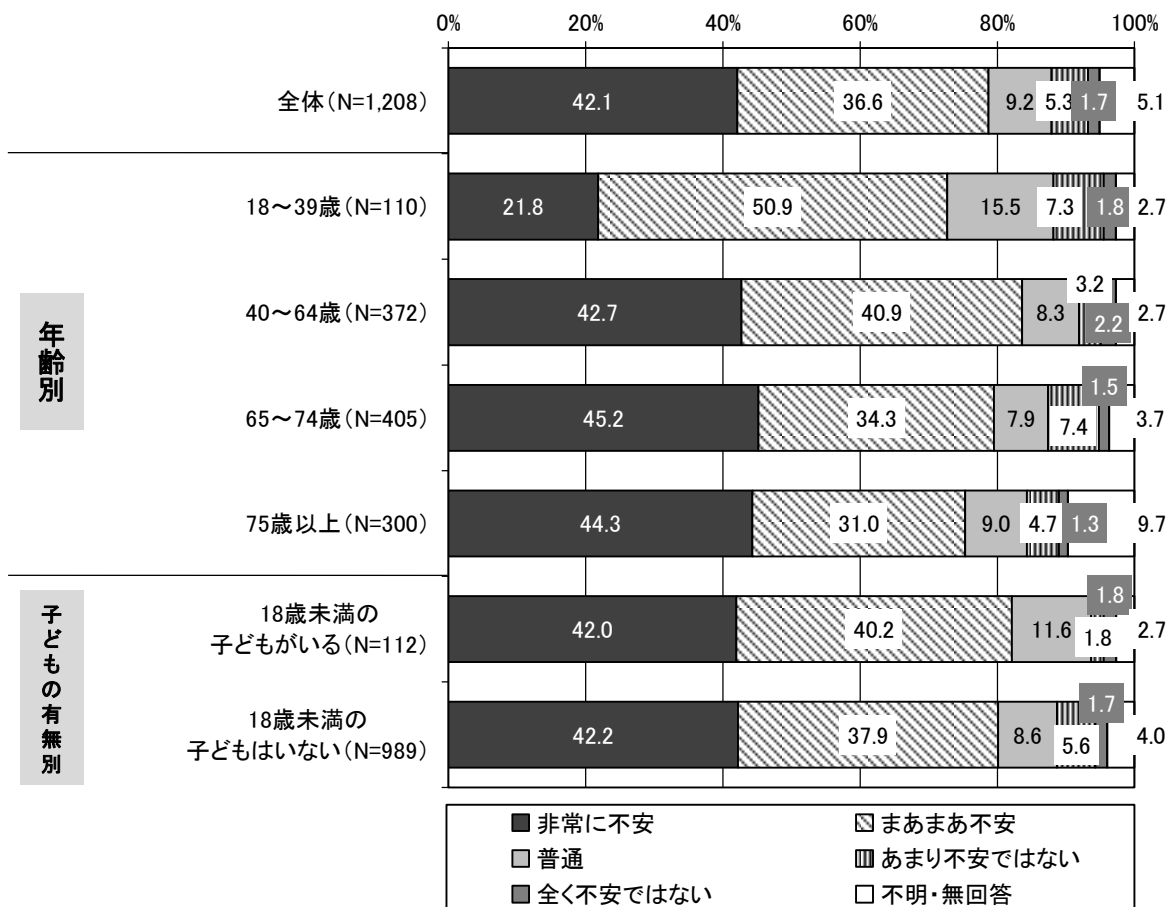
問2-6 あなたは、町の人口減少が進むことに対して、将来への不安はありますか。
(単数回答)

町の人口減少が進むことに対して、不安があるかについては、「非常に不安」が42.1%と最も高く、次いで「まあまあ不安」が36.6%、「普通」が9.2%となっています。



■問2-6「町の人口減少による将来への不安」のクロス集計 (年齢別・子どもの有無別)

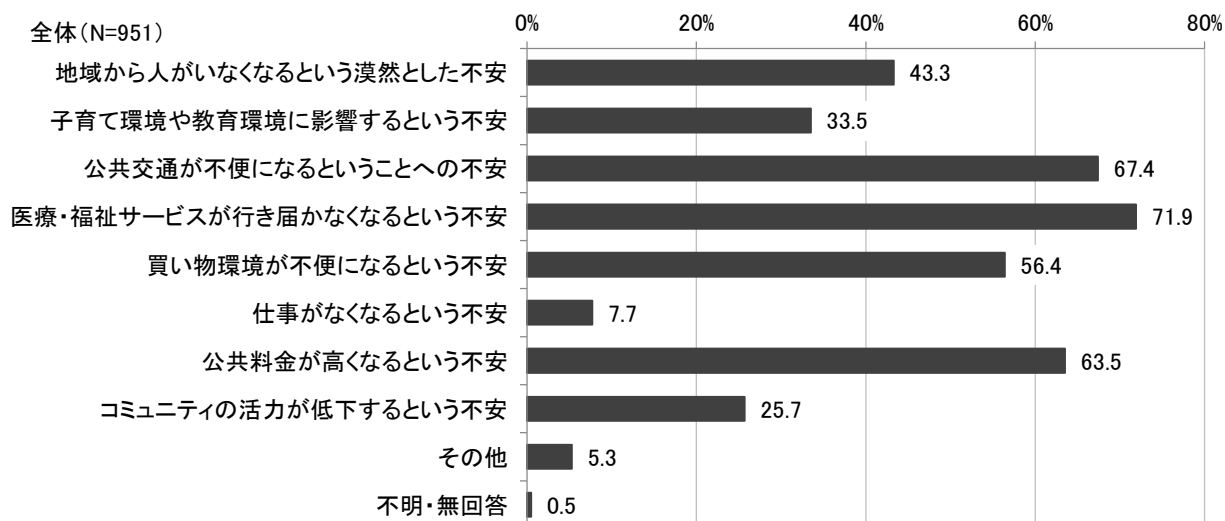
年齢別、子どもの有無別にみると、いずれも『不安』(「非常に不安」「まあまあ不安」の合計割合)が7割を超えています。また、18～39歳では「非常に不安」が約2割となっている一方、40歳以上では4割台となっています。



問2-6で「非常に不安」「まあまあ不安」と答えた方に対する設問

問2-7 どのようなことについて不安に感じますか。(複数回答)

町の人口減少が進むことに対して、どのような不安があるかについては、「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が71.9%と最も高く、次いで「公共交通が不便になるということへの不安」が67.4%、「公共料金が高くなるという不安」が63.5%となっています。



■問2-7「町の人口減少による具体的な不安」のクロス集計 (年齢別・子どもの有無別)

年齢別にみると、18～39歳では「公共交通が不便になるということへの不安」、40歳以上では「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が最も高くなっています。また、18～39歳では「公共料金が高くなるという不安」が5割台前半となっています。

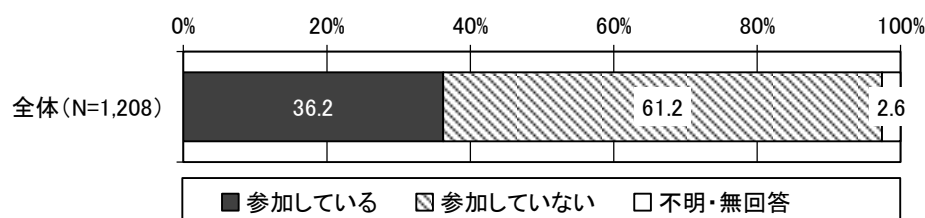
子どもの有無別にみると、18歳未満の子どもがいる世帯では「公共料金が高くなるという不安」、18歳未満の子どもがいない世帯では「医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	地域から人がいなくなるという不安	子育て環境に不安	子育て環境や教	公共交通が不便になるという不安	医療・福祉サービスが行き届かなくなるという不安	買い物環境が不安になるという不安	仕事がないという不安	公共料金が高くなるという不安	コミュニティの活力が低下する不安	その他	不明・無回答
全 体		951 100.0	412 43.3	319 33.5	641 67.4	684 71.9	536 56.4	73 7.7	604 63.5	244 25.7	50 5.3	5 0.5	
年 齢 別	18～39歳	80 100.0	34 42.5	38 47.5	44 55.0	40 50.0	37 46.3	7 8.8	43 53.8	15 18.8	8 10.0	1 1.3	
	40～64歳	311 100.0	130 41.8	106 34.1	213 68.5	222 71.4	167 53.7	28 9.0	209 67.2	85 27.3	15 4.8	2 0.6	
	65～74歳	322 100.0	135 41.9	100 31.1	228 70.8	242 75.2	187 58.1	20 6.2	202 62.7	87 27.0	15 4.7	1 0.3	
	75歳以上	226 100.0	108 47.8	71 31.4	146 64.6	170 75.2	138 61.1	16 7.1	142 62.8	54 23.9	12 5.3	1 0.4	
子 ども の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる	92 100.0	32 34.8	44 47.8	49 53.3	51 55.4	37 40.2	7 7.6	55 59.8	22 23.9	8 8.7	1 1.1	
	18歳未満の子どもはいない	792 100.0	349 44.1	257 32.4	553 69.8	587 74.1	457 57.7	59 7.4	508 64.1	208 26.3	38 4.8	3 0.4	

3 コミュニティとの関わりや意識等について

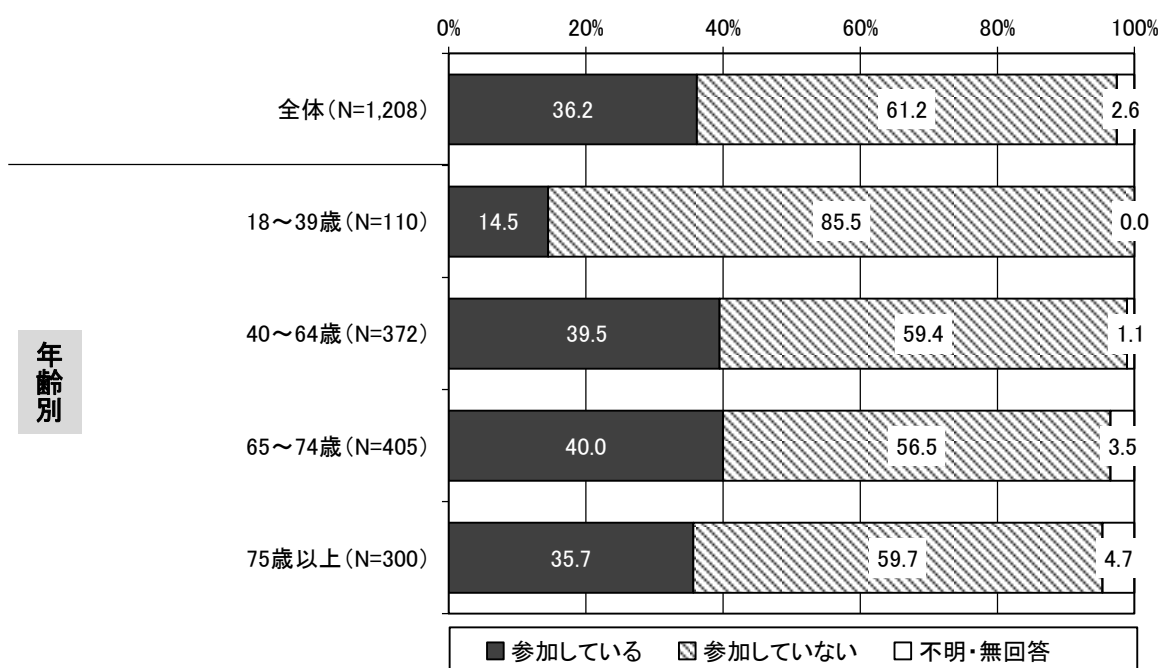
問3-1 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(単数回答)

地域の活動に参加しているかについては、「参加していない」が61.2%、「参加している」が36.2%となっています。



■問3-1「地域活動への参加」のクロス集計(年齢別)

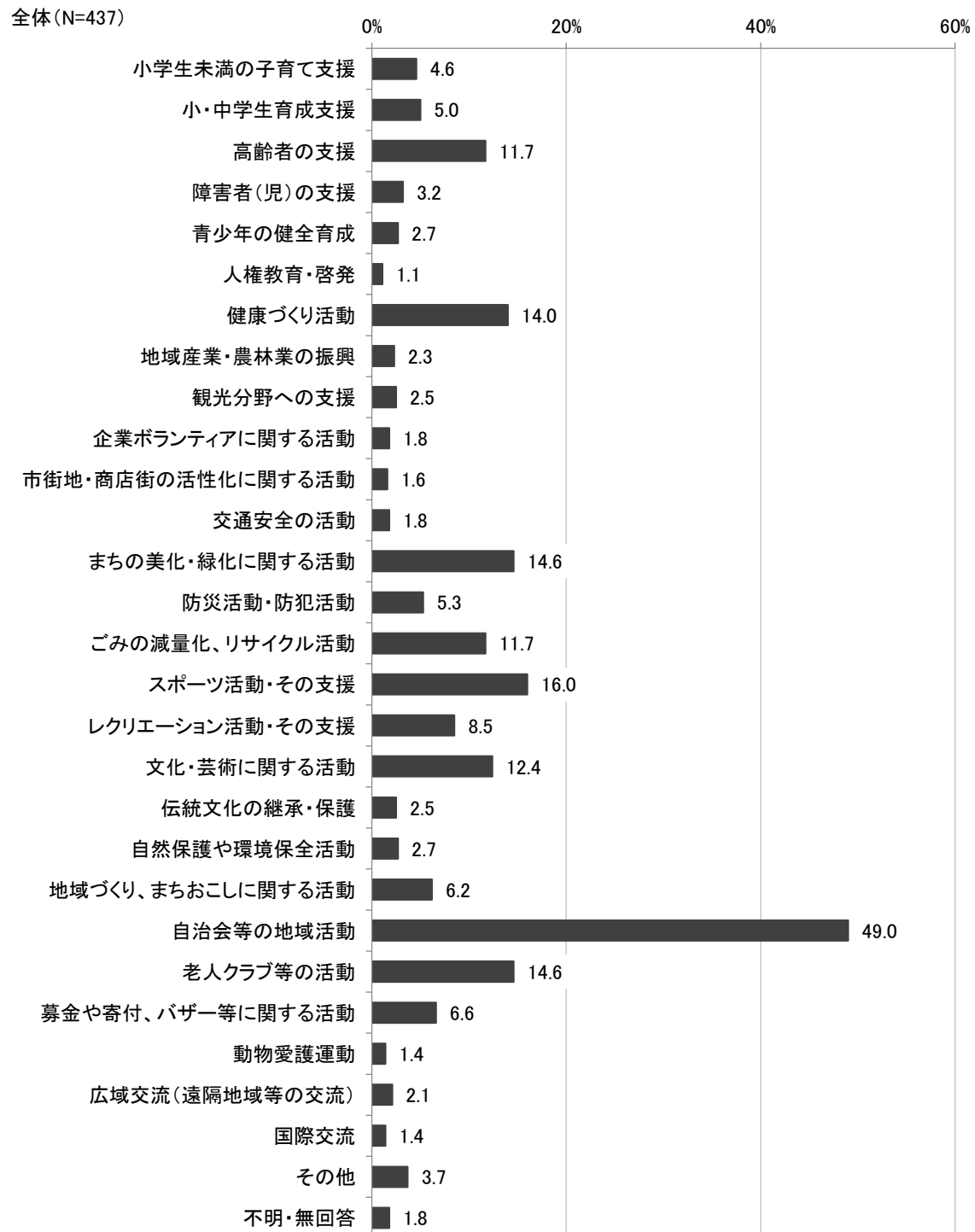
年齢別にみると、いずれも「参加していない」が高くなっています。特に、18～39歳では8割台半ばとなっています。



問3-1で「参加している」と答えた方に対する設問

問3-2 どのような分野の活動に参加していますか。（複数回答）

どのような分野の活動に参加しているのかについては、「自治会等の地域活動」が49.0%と最も高く、次いで「スポーツ活動・その支援」が16.0%、「まちの美化・緑化に関する活動」「老人クラブ等の活動」がともに14.6%となっています。



■問3-2「地域活動参加の内容」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、18～39歳では「小学生未満の子育て支援」「まちの美化・緑化に関する活動」「自治会等の地域活動」、40～74歳では「自治会等の地域活動」、75歳以上では「老人クラブ等の活動」が最も高くなっています。

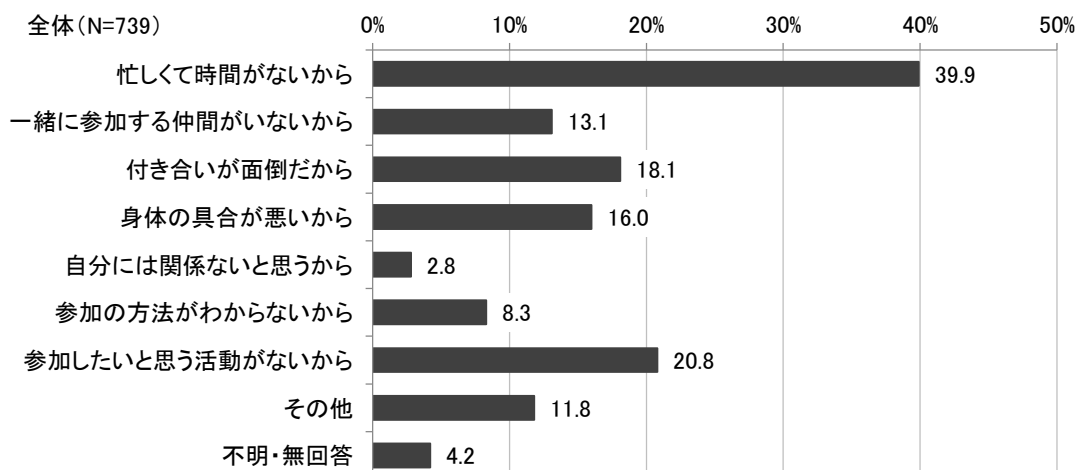
上段:件数 下段:%	調査数	小学生未満の子育て支援	小・中学生育成支援	高齢者の支援	障害者（児）の支援	青少年の健全育成	人権教育・啓発	健康づくり活動	地域産業・農林業の振興	観光分野への支援	企業ボランティアに関する活動	市街地・商店街の活性化に関する活動	交通安全の活動	まちの美化・緑化に関する活動	防災活動・防犯	リサミの減量化、活動
全 体	437 100.0	20 4.6	22 5.0	51 11.7	14 3.2	12 2.7	5 1.1	61 14.0	10 2.3	11 2.5	8 1.8	7 1.6	8 1.8	64 14.6	23 5.3	51 11.7
年 齢 別	18～39歳	16 100.0	4 25.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	2 12.5	2 12.5
	40～64歳	147 100.0	8 5.4	11 7.5	9 6.1	5 3.4	6 4.1	2 1.4	3 2.0	3 2.0	1 0.7	3 2.0	1 0.7	21 14.3	8 5.4	17 11.6
	65～74歳	162 100.0	7 4.3	8 4.9	15 9.3	4 2.5	2 1.2	1 0.6	20 12.3	2 1.2	5 3.1	3 1.9	3 1.9	22 13.6	7 4.3	17 10.5
	75歳以上	107 100.0	1 0.9	2 1.9	25 23.4	5 4.7	3 2.8	1 0.9	32 29.9	5 4.7	2 1.9	4 3.7	0 0.0	3 2.8	15 14.0	13 12.1

上段:件数 下段:%		調査数	そのスポーツ活動・支援	レクリエーション活動・その支援	文化・芸術に関する活動	伝統文化の継承・保護	自然保護や環境保全活動	地域づくり、まちおこしに関する活動	自治会等の地域活動	老人クラブ等の活動	ザ等に関する活動	募金や寄付、バザー等に関する活動	動物愛護運動	広域交流（遠隔）	国際交流	その他	不明・無回答
全 体		437 100.0	70 16.0	37 8.5	54 12.4	11 2.5	12 2.7	27 6.2	214 49.0	64 14.6	29 6.6	6 1.4	9 2.1	6 1.4	16 3.7	8 1.8	
年 齢 別	18～39歳	16 100.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3	2 12.5	4 25.0	0 0.0	1 6.3	0 0.0	1 6.3	1 6.3	1 6.3	0 0.0	
	40～64歳	147 100.0	20 13.6	7 4.8	12 8.2	5 3.4	3 2.0	8 5.4	98 66.7	1 0.7	13 8.8	1 0.7	2 1.4	1 0.7	6 4.1	1 0.7	
	65～74歳	162 100.0	32 19.8	17 10.5	26 16.0	3 1.9	5 3.1	9 5.6	79 48.8	27 16.7	8 4.9	3 1.9	4 2.5	1 0.6	4 2.5	3 1.9	
	75歳以上	107 100.0	14 13.1	12 11.2	13 12.1	3 2.8	3 2.8	7 6.5	31 29.0	35 32.7	7 6.5	2 1.9	2 1.9	3 2.8	5 4.7	4 3.7	

問3-1で「参加していない」と答えた方に対する設問

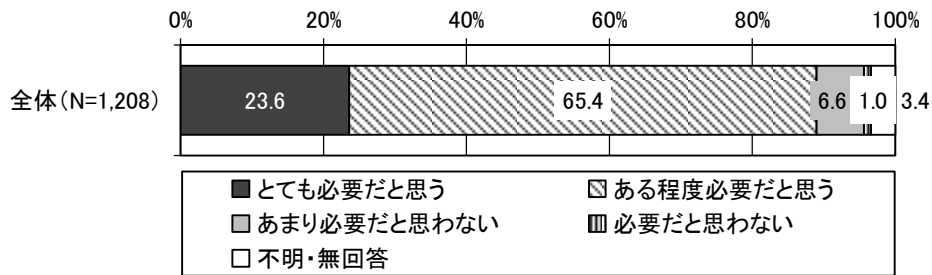
問3-3 参加しない理由は何ですか。（2つまで複数回答）

地域の活動に参加しない理由については、「忙しくて時間がないから」が39.9%と最も高く、次いで「参加したいと思う活動がないから」が20.8%、「付き合いが面倒だから」が18.1%となっています。



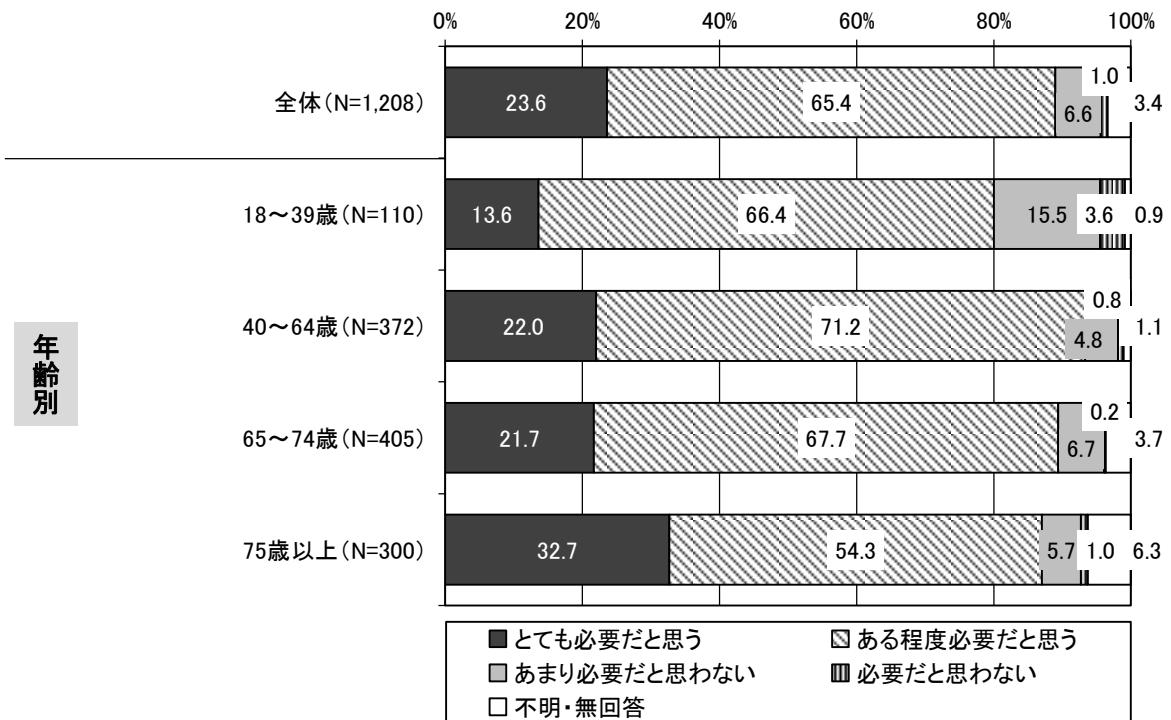
問3-4 地域のつながり・交流についてどうお考えですか。(単数回答)

地域のつながり・交流については、「ある程度必要だと思う」が65.4%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」が23.6%、「あまり必要だと思わない」が6.6%となっています。



■問3-4「地域のつながり・交流への考え」のクロス集計 (年齢別)

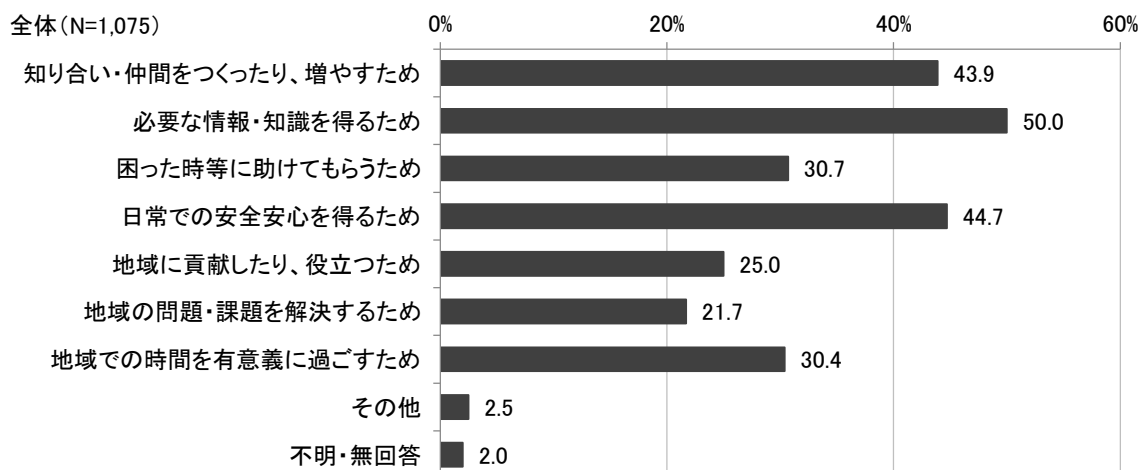
年齢別にみると、いずれも『必要だと思う』(「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」の合計割合)が8割以上と高くなっています。



問3-4で「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた方に対する設問

問3-5（1）あなたが、地域のつながり・交流を持つ、もしくは持ちたい目的は何ですか。
（複数回答）

地域のつながり・交流を持つ、もしくは持ちたい目的については、「必要な情報・知識を得るため」が50.0%と最も高く、次いで「日常での安全安心を得るため」が44.7%、「知り合い・仲間をつくったり、増やすため」が43.9%となっています。



■問3-5（1）「地域のつながり・交流の目的」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、18～39 歳では「日常での安全安心を得るため」、40 歳以上では「必要な情報・知識を得るため」が最も高くなっています。

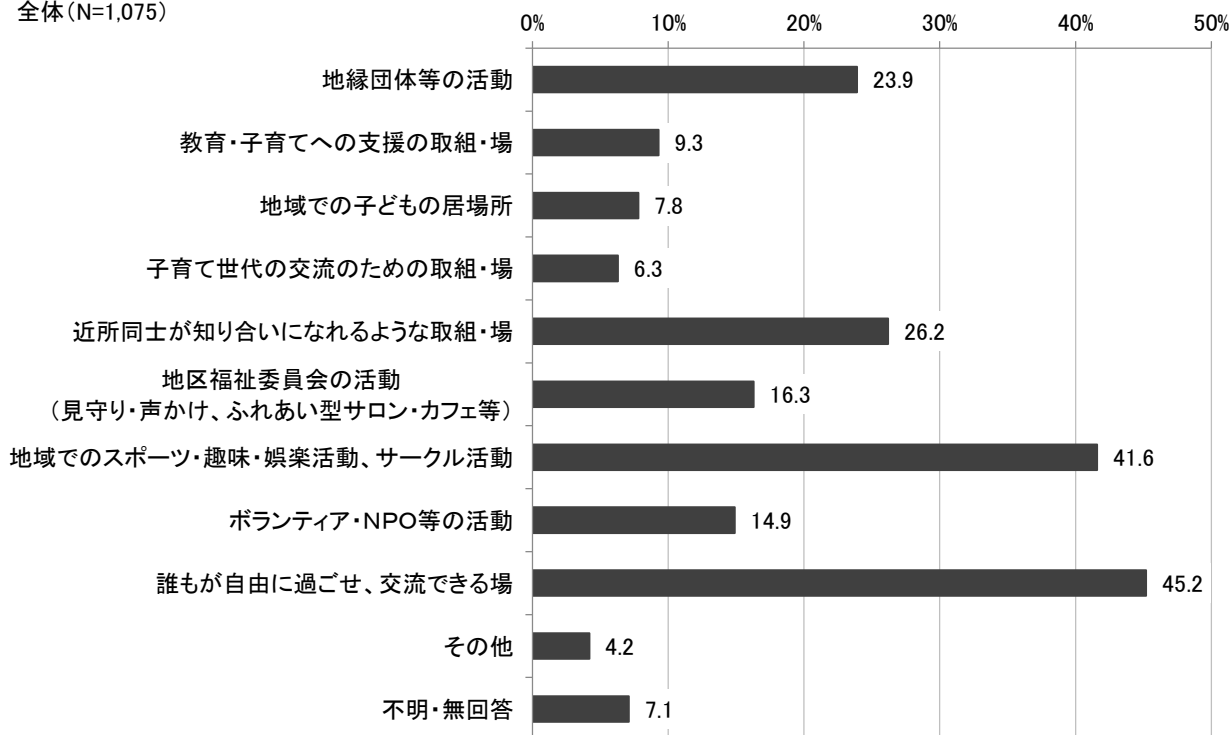
上段:件数 下段:%		調査数	増やつり すく合 たつ め・仲 間	識必 を要 得な る情 報・知	け困 てつ もた ら時 う等 たに め助	心日 を常 得で るの た安 め全 安	り地 、域 に立 貢 つ 献 たし めた	め題 を域 解の 決問 す題 る・ た課	た有 め意 域で にの 過時 ご間 すを	そ の 他	不 明・ 無 回 答
全 体		1,075 100.0	472 43.9	538 50.0	330 30.7	481 44.7	269 25.0	233 21.7	327 30.4	27 2.5	22 2.0
年 齢 別	18～39歳	88 100.0	37 42.0	32 36.4	35 39.8	39 44.3	19 21.6	20 22.7	17 19.3	2 2.3	0 0.0
	40～64歳	347 100.0	142 40.9	171 49.3	115 33.1	156 45.0	96 27.7	78 22.5	90 25.9	8 2.3	2 0.6
	65～74歳	362 100.0	163 45.0	192 53.0	88 24.3	153 42.3	85 23.5	88 24.3	146 40.3	8 2.2	8 2.2
	75歳以上	261 100.0	121 46.4	132 50.6	88 33.7	126 48.3	68 26.1	45 17.2	71 27.2	9 3.4	12 4.6

問3-4で「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」と答えた方に対する設問

問3-5（2）地域のつながり・交流づくりに結びつく「取組」「場」について、あなたが参加・参画・利用したいものはどれですか。（複数回答）

地域のつながり・交流づくりに結びつく「取組」「場」について、参加・参画・利用したいものについては、「誰もが自由に過ごせ、交流できる場」が45.2%と最も高く、次いで「地域でのスポーツ・趣味・娯楽活動、サークル活動」が41.6%、「近所同士が知り合いになれるような取組・場」が26.2%となっています。

全体(N=1,075)

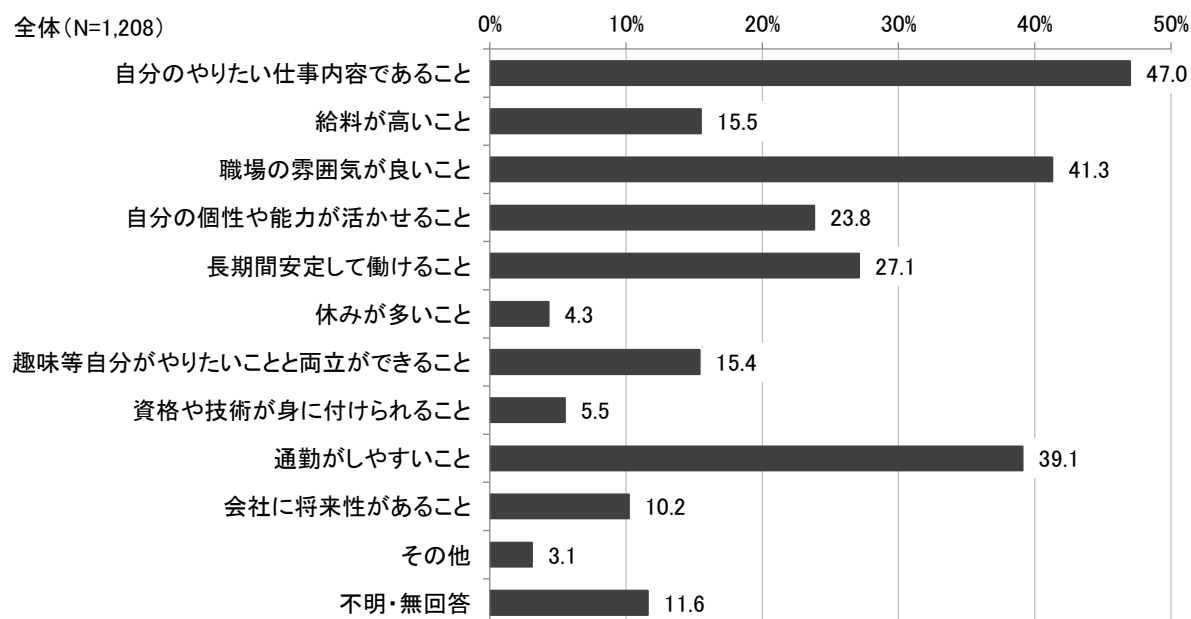


4 地域における「しごと」の創出に関する意識等について

問4-1 あなたが仕事を選ぶ際に重要と思うことはどんなことですか。

(3つまで複数回答)

仕事を選ぶ際に重要と思うことについては、「自分のやりたい仕事内容であること」が47.0%と最も高く、次いで「職場の雰囲気が良いこと」が41.3%、「通勤がしやすいこと」が39.1%となっています。



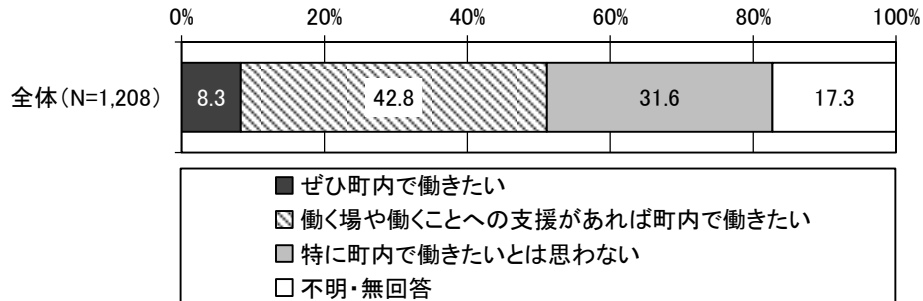
■問4-1 「仕事を選ぶ際に重要と思うこと」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、18～64歳では「職場の雰囲気が良いこと」、65歳以上では「自分のやりたい仕事内容であること」が最も高くなっています。また、65～74歳では「通勤がしやすいこと」が3割台後半となっています。

上段:件数 下段:%		調査数	自分のやりたい仕事内容であること	給料が高いこと	職場の雰囲気が良いこと	自分の個性や能力が活かせること	長期間安定して働けること	休みが多いこと	趣味等自分がやりたいことと両立ができること	資格や技術が身に付けられること	通勤がしやすいこと	会社に将来性があること	その他	不明・無回答
全 体		1,208 100.0	568 47.0	187 15.5	499 41.3	288 23.8	327 27.1	52 4.3	186 15.4	66 5.5	472 39.1	123 10.2	38 3.1	140 11.6
年 齢 別	18～39歳	110 100.0	52 47.3	37 33.6	65 59.1	15 13.6	39 35.5	12 10.9	22 20.0	5 4.5	42 38.2	11 10.0	4 3.6	1 0.9
	40～64歳	372 100.0	192 51.6	79 21.2	198 53.2	78 21.0	125 33.6	26 7.0	55 14.8	18 4.8	191 51.3	37 9.9	4 1.1	7 1.9
	65～74歳	405 100.0	191 47.2	50 12.3	143 35.3	129 31.9	105 25.9	9 2.2	66 16.3	20 4.9	153 37.8	37 9.1	11 2.7	50 12.3
	75歳以上	300 100.0	125 41.7	19 6.3	87 29.0	63 21.0	51 17.0	3 1.0	38 12.7	23 7.7	80 26.7	36 12.0	19 6.3	77 25.7

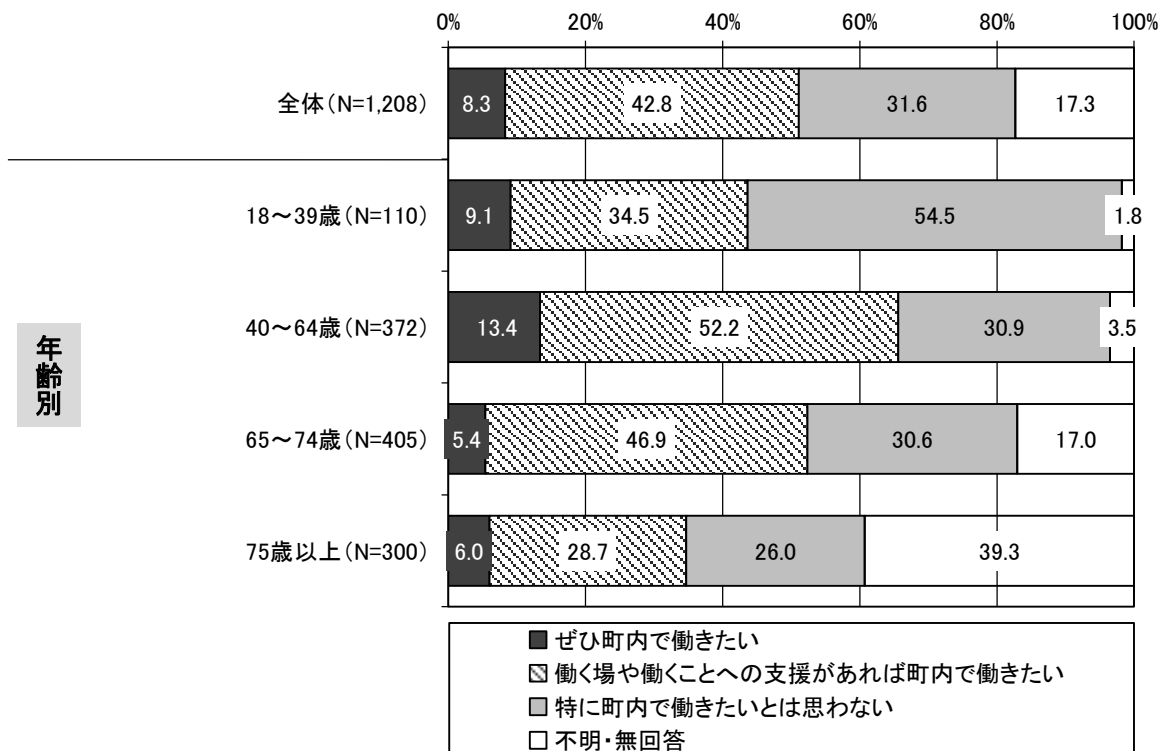
問4－2 豊能町内で働くことについてどうお考えですか。（単数回答）

豊能町内で働くことについては、「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」が42.8%と最も高く、次いで「特に町内で働きたいとは思わない」が31.6%、「ぜひ町内で働きたい」が8.3%となっています。



■問4－2「豊能町内で働くことについて」のクロス集計（年齢別）

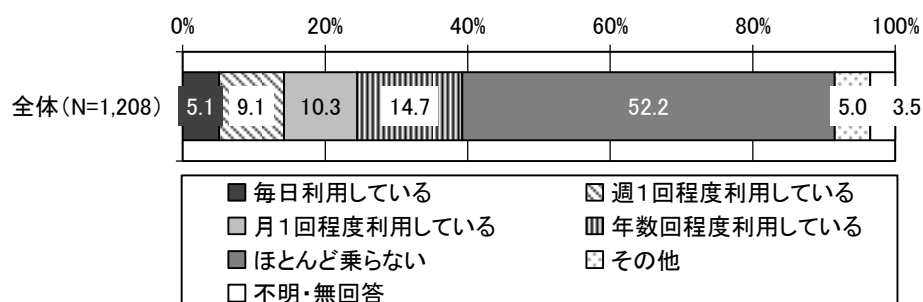
年齢別にみると、18～39歳では「特に町内で働きたいとは思わない」、40歳以上では「働く場や働くことへの支援があれば町内で働きたい」が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれて「特に町内で働きたいとは思わない」の割合は減少する傾向にあります。



5 地域生活について

問5－1 町内の路線バスをどの程度利用していますか。(単数回答)

町内の路線バスの利用については、「ほとんど乗らない」が52.2%と最も高く、次いで「年数回程度利用している」が14.7%、「月1回程度利用している」が10.3%となっています。



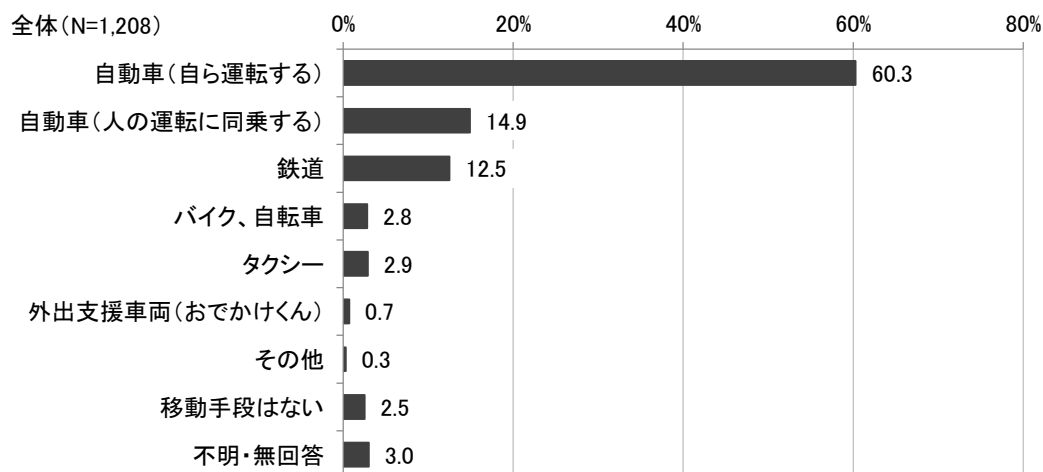
■問5－1「町内の路線バスの利用頻度」のクロス集計 (年齢別・居住地域別)

年齢別、居住地域別にみると、いずれも「ほとんど乗らない」が最も高くなっています。また、75歳以上では「週1回程度利用している」が1割台半ばとなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	毎日利用している	週1回程度利用している	月1回程度利用している	年数回程度利用している	ほとんど乗らない	その他	不明・無回答
全 体		1,208 100.0	62 5.1	110 9.1	125 10.3	178 14.7	630 52.2	61 5.0	42 3.5
年 齢 別	18～39歳	110 100.0	13 11.8	2 1.8	10 9.1	18 16.4	61 55.5	5 4.5	1 0.9
	40～64歳	372 100.0	27 7.3	27 7.3	31 8.3	68 18.3	194 52.2	18 4.8	7 1.9
	65～74歳	405 100.0	7 1.7	35 8.6	41 10.1	55 13.6	230 56.8	24 5.9	13 3.2
	75歳以上	300 100.0	14 4.7	44 14.7	40 13.3	32 10.7	137 45.7	14 4.7	19 6.3
居 住 地 域 別	東・南部地域	220 100.0	17 7.7	12 5.5	25 11.4	37 16.8	112 50.9	10 4.5	7 3.2
	西部地域	958 100.0	44 4.6	97 10.1	96 10.0	135 14.1	505 52.7	50 5.2	31 3.2

問5ー2 町内の路線バス以外にどのような移動手段を利用していますか。（単数回答）

町内の路線バス以外の移動手段の利用については、「自動車（自ら運転する）」が60.3%と最も高く、次いで「自動車（人の運転に同乗する）」が14.9%、「鉄道」が12.5%となっています。



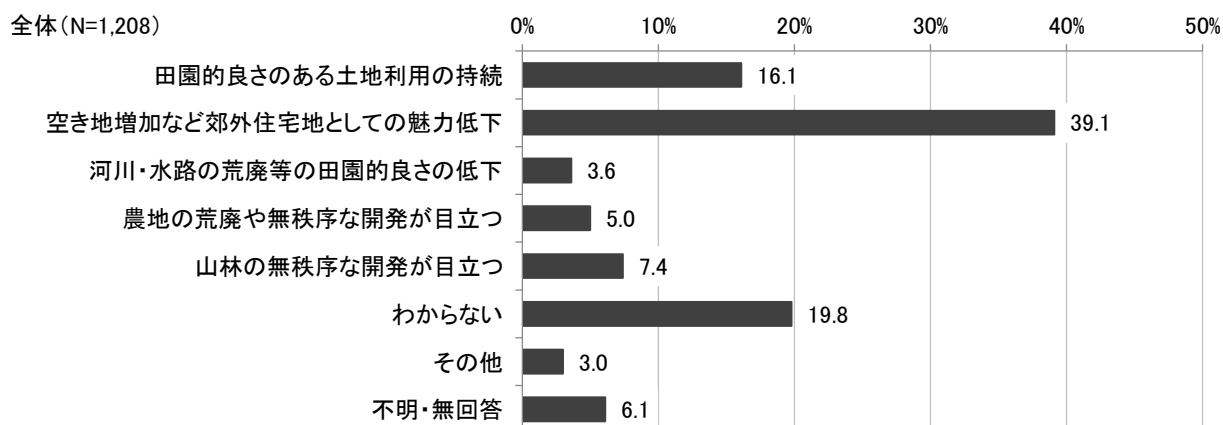
■問5ー2「町内の路線バス以外の移動手段」のクロス集計（年齢別・居住地域別）

年齢別、居住地域別にみると、いずれも「自動車（自ら運転する）」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	自動車 (自ら運 転する)	自動車 (人の運 転に同乗 する)	鉄道	バイク、 自転車	タクシ ー	外出支 援車両 (おでか けくん)	その他	移動 手段は ない	不明・ 無回 答
全 体		1,208 100.0	729 60.3	180 14.9	151 12.5	34 2.8	35 2.9	9 0.7	4 0.3	30 2.5	36 3.0
年 齢 別	18～39歳	110 100.0	43 39.1	27 24.5	28 25.5	5 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 4.5	2 1.8
	40～64歳	372 100.0	272 73.1	31 8.3	42 11.3	10 2.7	7 1.9	0 0.0	0 0.0	4 1.1	6 1.6
	65～74歳	405 100.0	272 67.2	60 14.8	37 9.1	14 3.5	4 1.0	0 0.0	1 0.2	5 1.2	12 3.0
	75歳以上	300 100.0	134 44.7	59 19.7	40 13.3	4 1.3	24 8.0	7 2.3	3 1.0	15 5.0	14 4.7
居 住 地 域 別	東・南部地域	220 100.0	154 70.0	44 20.0	3 1.4	2 0.9	2 0.9	1 0.5	2 0.9	4 1.8	8 3.6
	西部地域	958 100.0	561 58.6	134 14.0	141 14.7	31 3.2	33 3.4	6 0.6	2 0.2	24 2.5	26 2.7

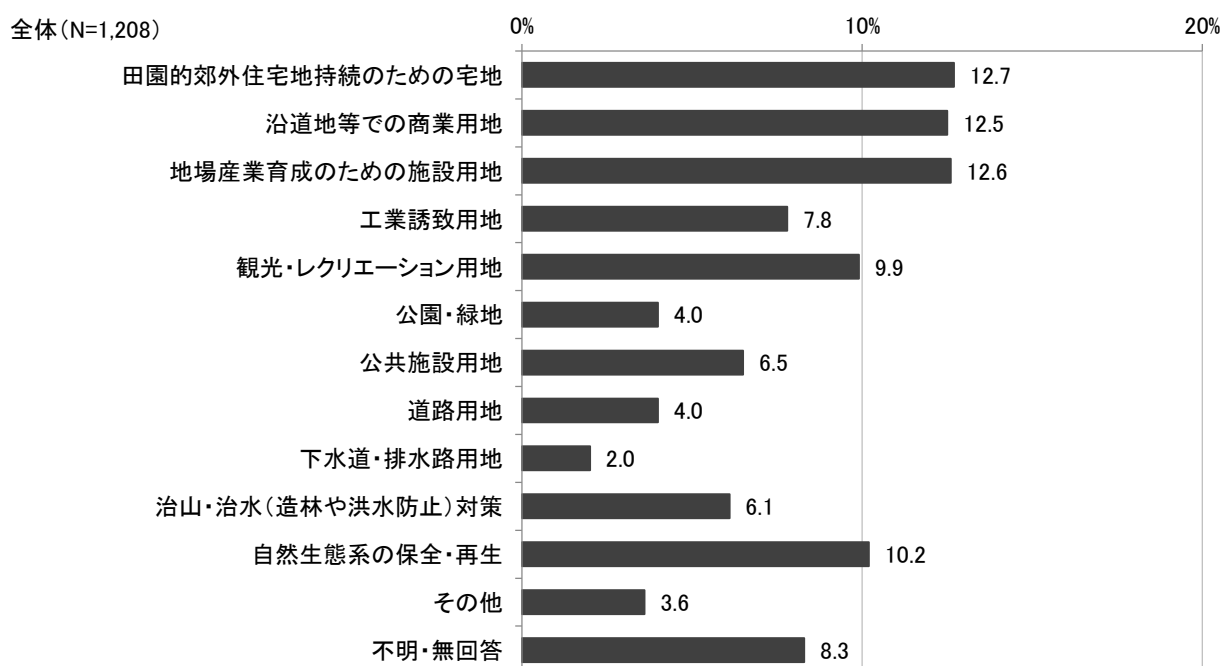
問5－3 町内の土地利用について、あなたが現状で思うことは次のうちどれですか。
(単数回答)

町内の土地利用で思うことについては、「空き地増加など郊外住宅地としての魅力低下」が39.1%と最も高く、次いで「わからない」が19.8%、「田園的良さのある土地利用の持続」が16.1%となっています。



問5－4 優先的に整備していくべき用地として、あなたが最も必要と思うものは次のうちどれですか。(単数回答)

優先的に整備していくべき用地で最も必要と思うものについては、「田園的郊外住宅地持続のための宅地」が12.7%と最も高く、次いで「地場産業育成のための施設用地」が12.6%、「沿道地等での商業用地」が12.5%となっています。



■問5－4「優先的に整備していくべき用地として、最も必要と思うもの」のクロス集計

(年齢別・居住地域別)

年齢別、居住地域別にみると、75歳以上と西部地域では「田園的郊外住宅地持続のための宅地」が最も高くなっており、40～64歳と東・南部地域では「沿道地等での商業用地」が最も高くなっています。また、「地場産業育成のための施設用地」は65～74歳で最も高く、他の年代や西部地域においても比較的高い傾向にあります。18～39歳は「観光・レクリエーション用地」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	宅地田園的郊外住宅地持続のための宅地	業沿用地等での商業用地	ため場の産業施設用地の育成地	工業誘致用地	エ観光・レクリエーション用地	公園・緑地
全 体		1,208 100.0	154 12.7	151 12.5	152 12.6	94 7.8	119 9.9	48 4.0
年 齢 別	18～39歳	110 100.0	9 8.2	5 4.5	10 9.1	8 7.3	18 16.4	8 7.3
	40～64歳	372 100.0	38 10.2	71 19.1	43 11.6	27 7.3	35 9.4	18 4.8
	65～74歳	405 100.0	48 11.9	52 12.8	61 15.1	39 9.6	40 9.9	15 3.7
	75歳以上	300 100.0	56 18.7	21 7.0	36 12.0	19 6.3	26 8.7	6 2.0
居 住 地 域 別	東・南部地域	220 100.0	17 7.7	37 16.8	32 14.5	20 9.1	34 15.5	5 2.3
	西部地域	958 100.0	134 14.0	112 11.7	116 12.1	73 7.6	82 8.6	42 4.4

上段:件数 下段:%		公共施設用地	道路用地	用地水道・排水路	対林治山洪水・治水（造策や洪水・治水（造）	全自然再生生態系の保	その他	不明・無回答
全 体		78 6.5	48 4.0	24 2.0	74 6.1	123 10.2	43 3.6	100 8.3
年 齢 別	18～39歳	13 11.8	3 2.7	0 0.0	10 9.1	16 14.5	5 4.5	5 4.5
	40～64歳	16 4.3	17 4.6	10 2.7	25 6.7	36 9.7	16 4.3	20 5.4
	65～74歳	19 4.7	15 3.7	6 1.5	24 5.9	40 9.9	12 3.0	34 8.4
	75歳以上	30 10.0	12 4.0	7 2.3	14 4.7	30 10.0	9 3.0	34 11.3
居 住 地 域 別	東・南部地域	14 6.4	9 4.1	2 0.9	12 5.5	16 7.3	5 2.3	17 7.7
	西部地域	63 6.6	37 3.9	21 2.2	61 6.4	105 11.0	37 3.9	75 7.8

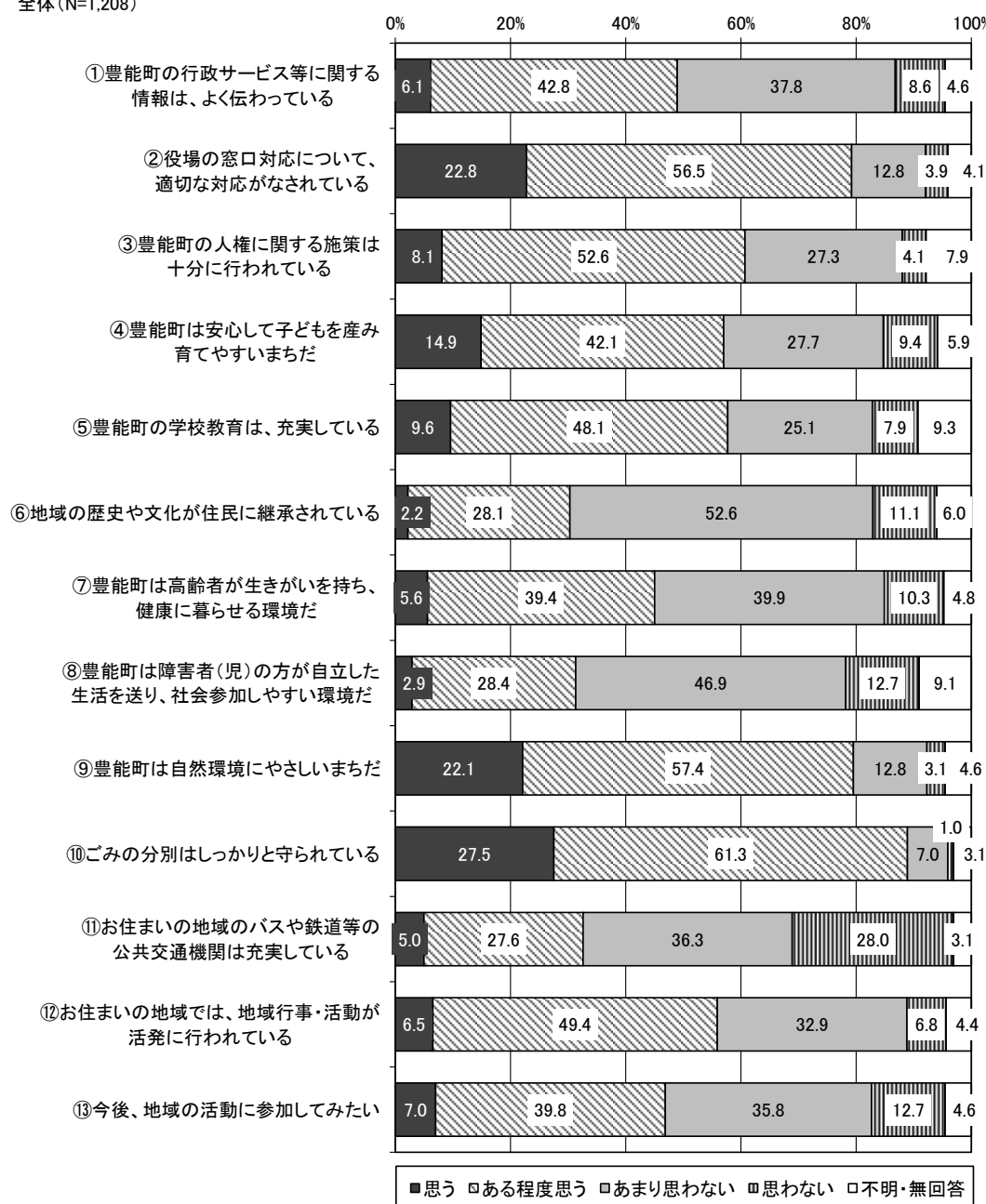
6 豊能町の取組について

問6-1 豊能町の現状についてのあなたの考えをお答えください。(単数回答)

豊能町の現状について、「思う」「ある程度思う」の合計割合では、「ごみの分別はしっかりと守られている」が88.8%と最も高く、次いで「豊能町は自然環境にやさしいまちだ」が79.5%、「役場の窓口対応について、適切な対応がなされている」が79.3%となっています。

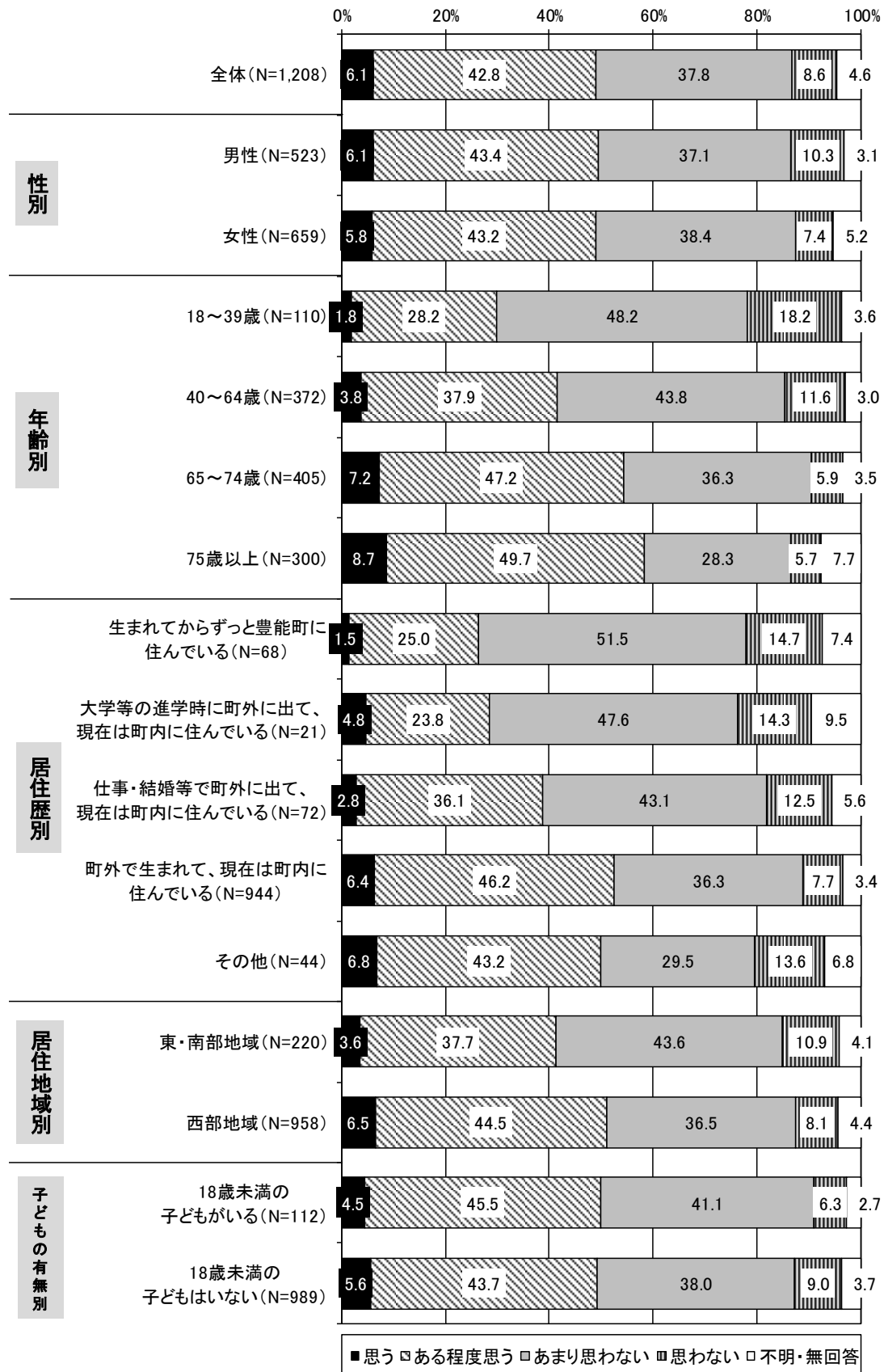
一方、「あまり思わない」「思わない」の合計割合では、「お住まいの地域のバスや鉄道等の公共交通機関は充実している」が64.3%と最も高く、次いで「地域の歴史や文化が住民に継承されている」が63.7%、「豊能町は障害者（児）の方が自立した生活を送り、社会参加しやすい環境だ」が59.6%となっています。

全体 (N=1,208)



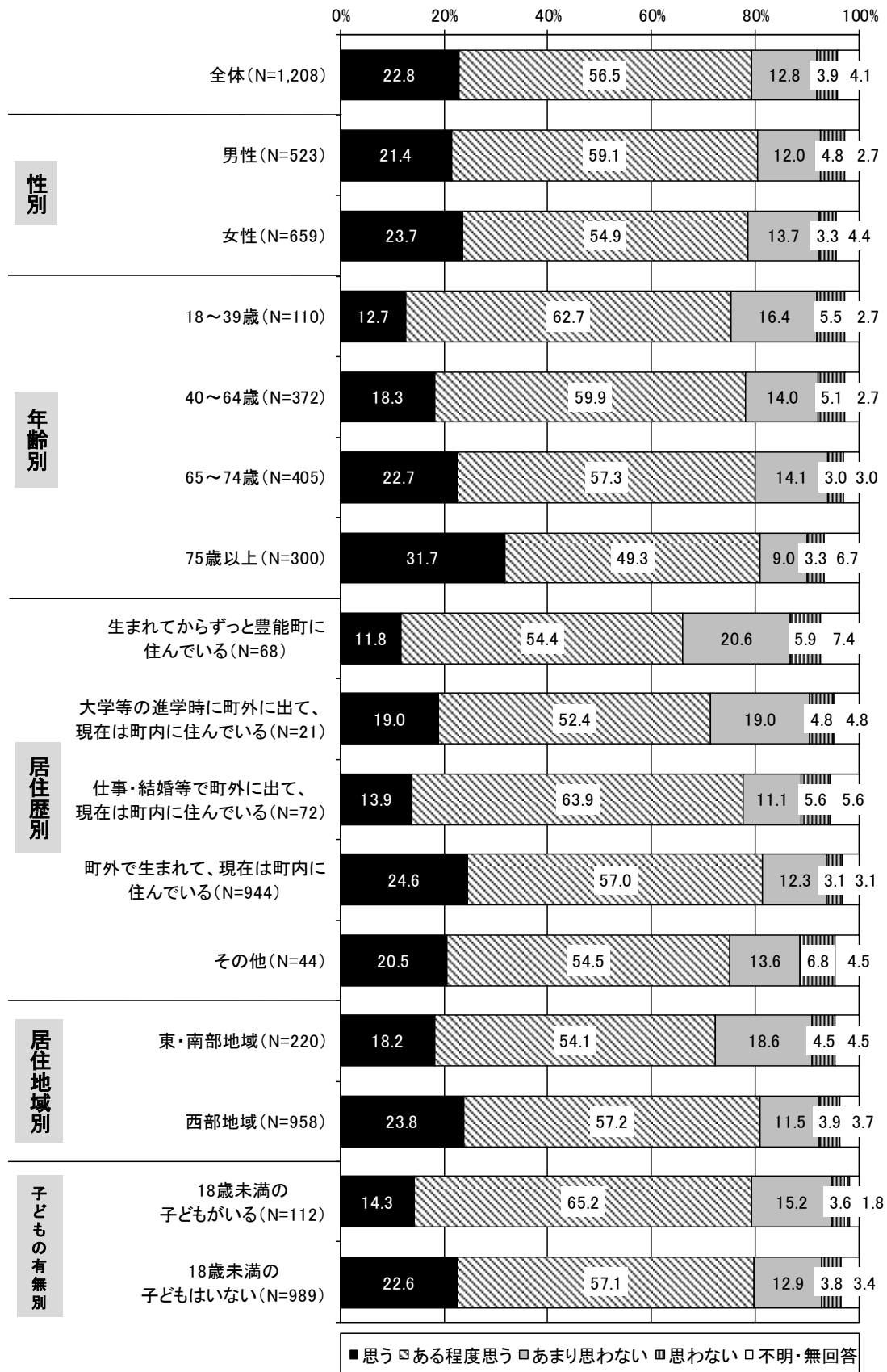
■問6ー1①「豊能町の行政サービス等に関する情報は、よく伝わっている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



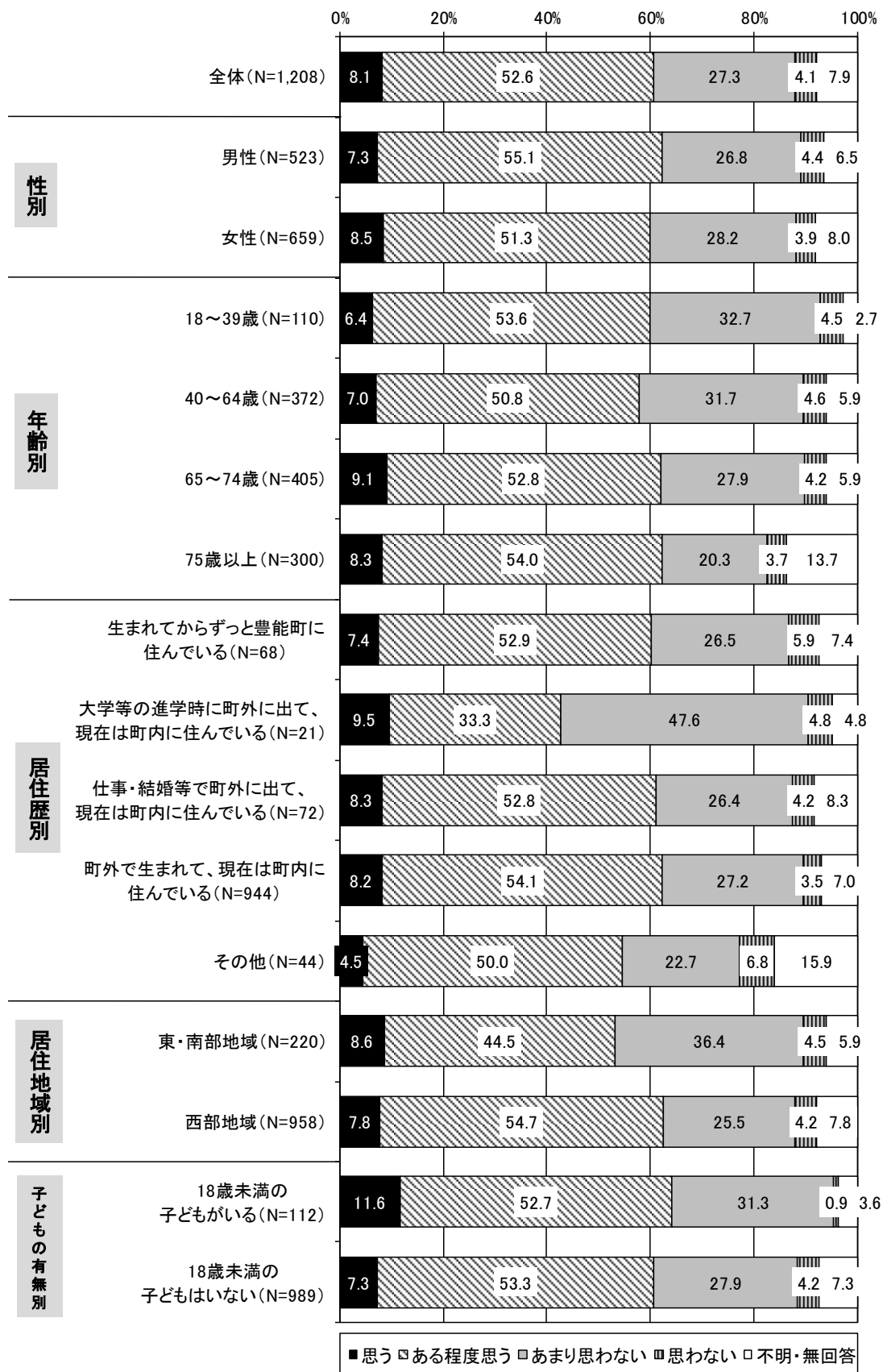
■問6-1②「役場の窓口対応について、適切な対応がなされている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



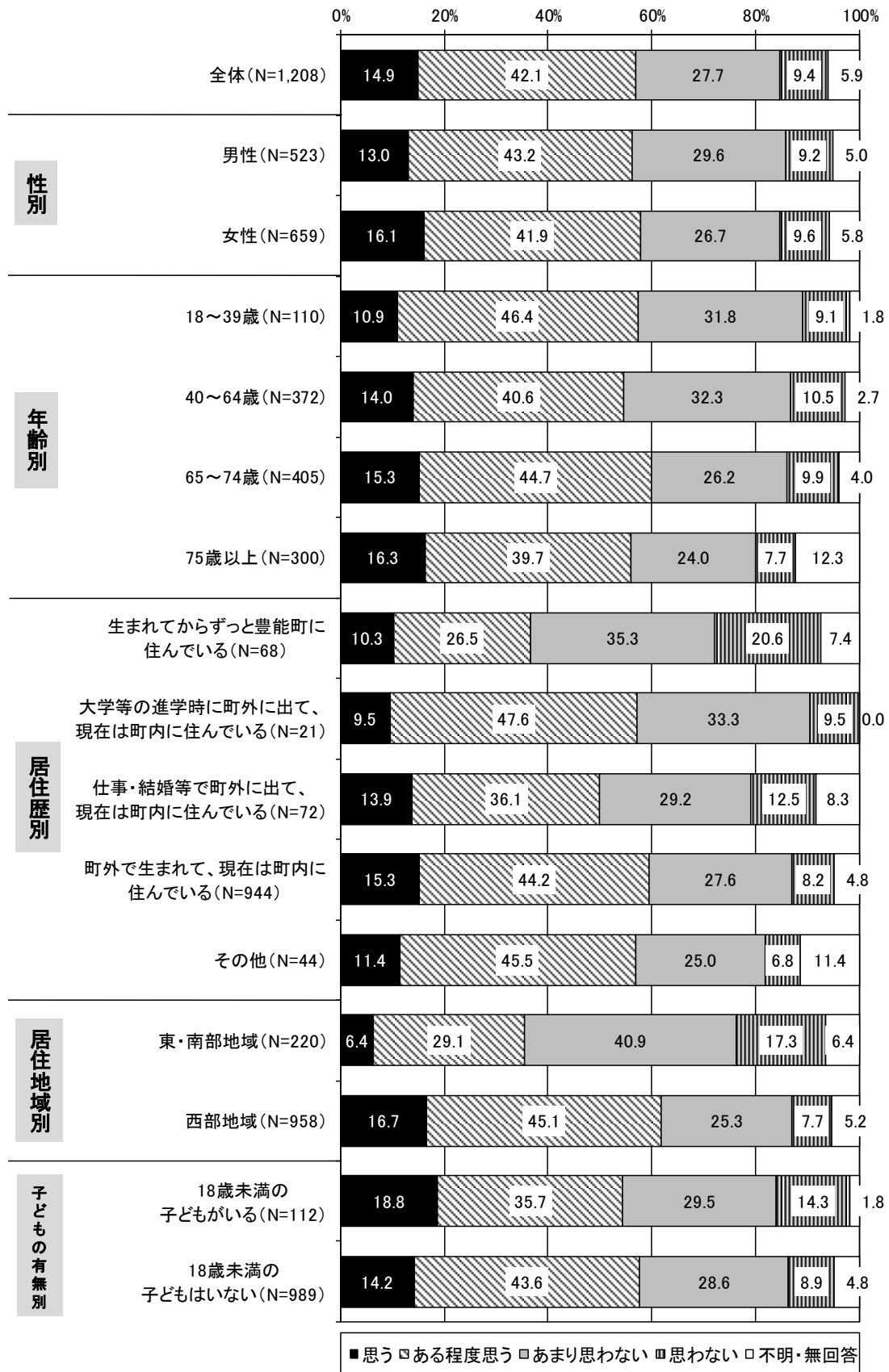
■問6ー1③「豊能町の人権に関する施策は十分に行われている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



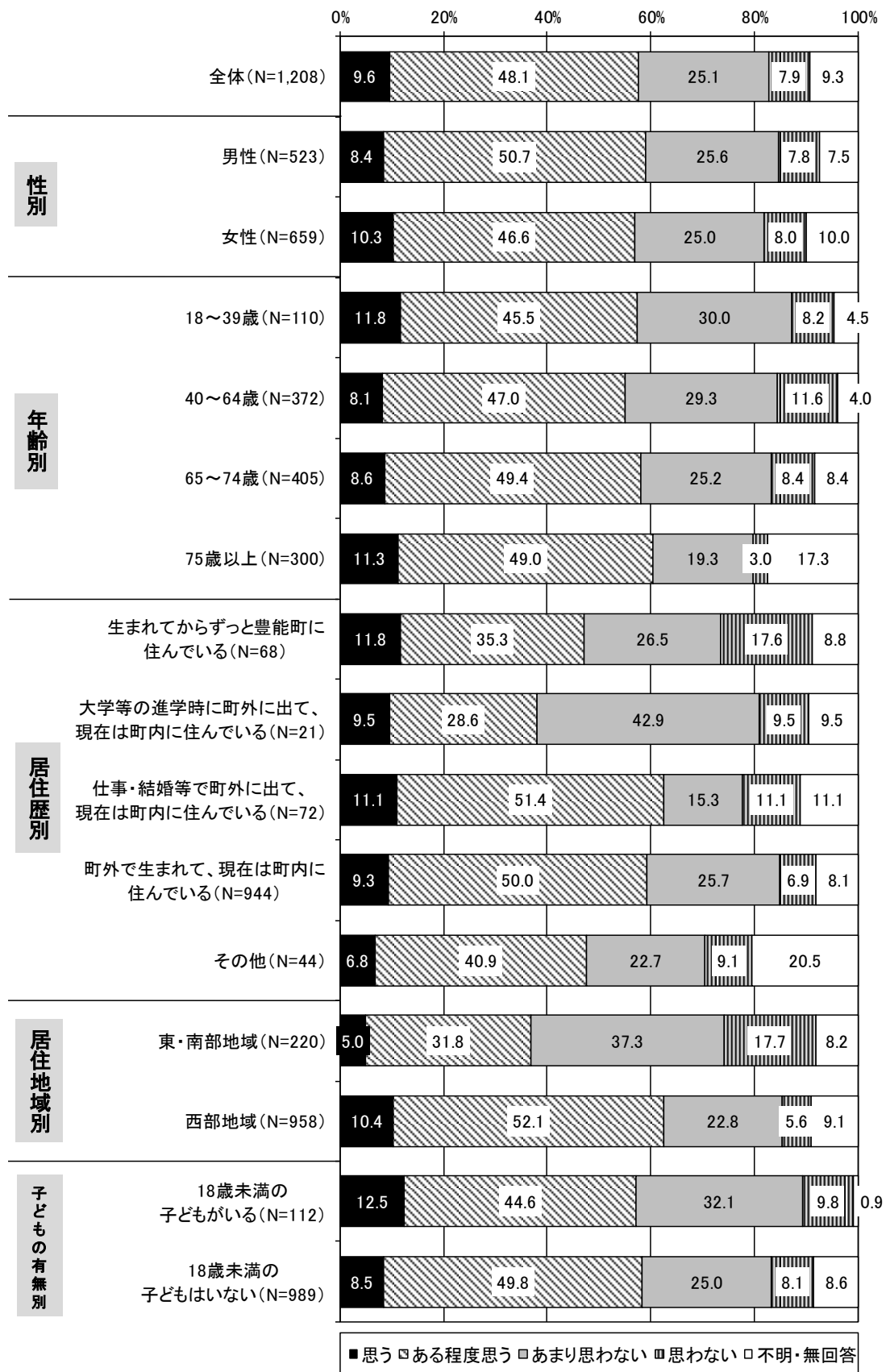
■問6ー1④「豊能町は安心して子どもを産み育てやすいまちだ」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



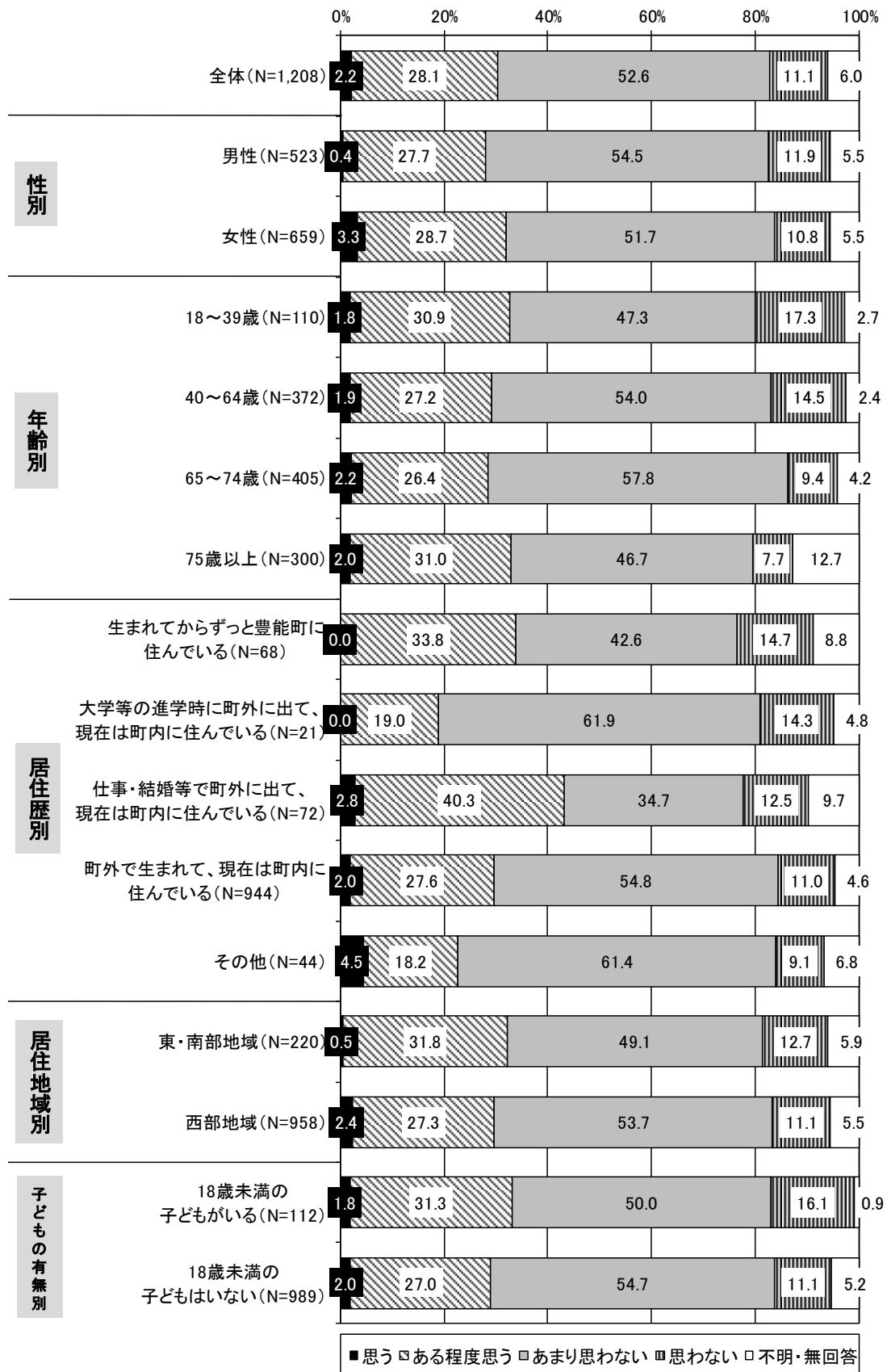
■問6-1⑤「豊能町の学校教育は、充実している」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



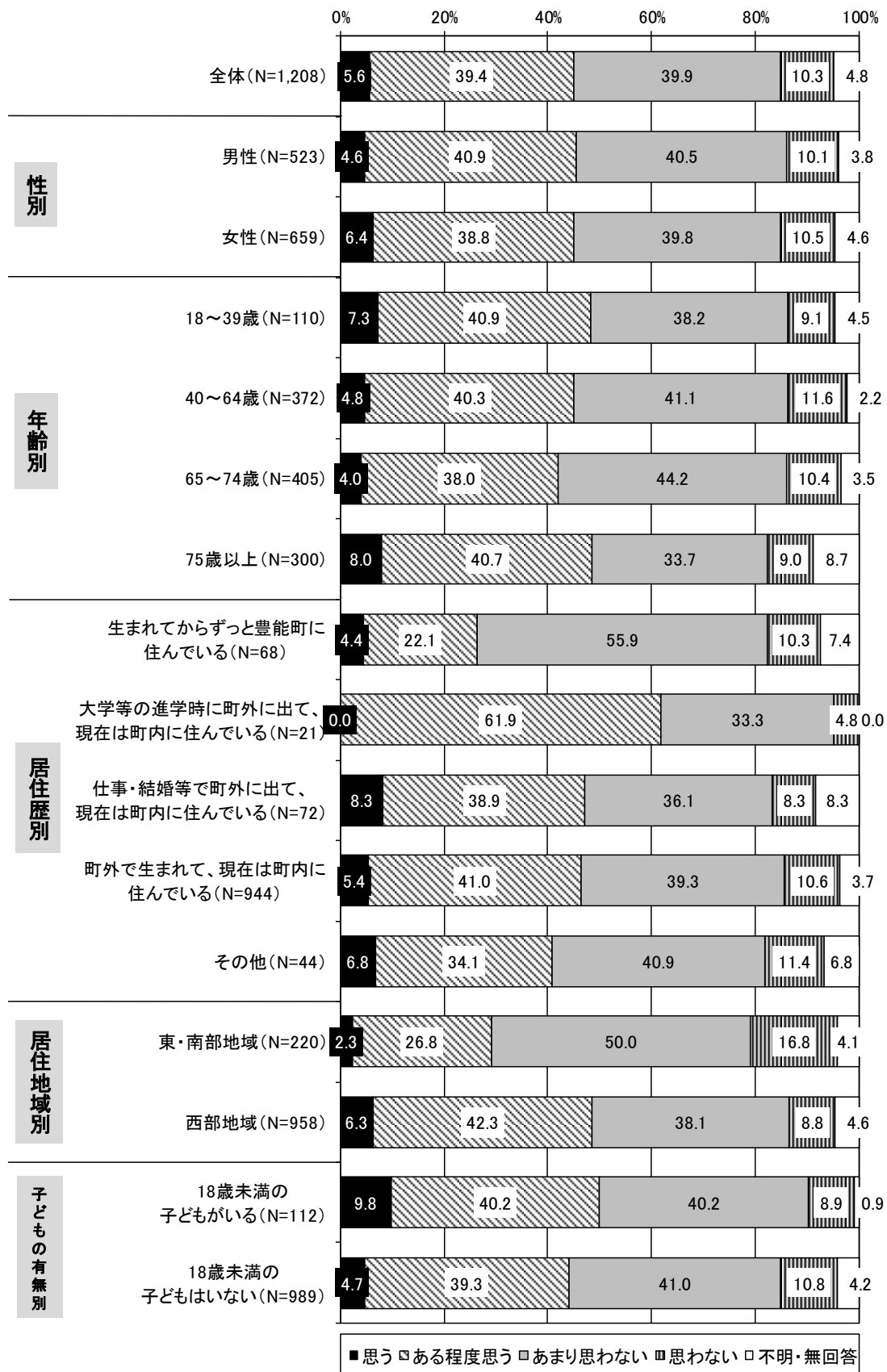
■問6-1 ⑥「地域の歴史や文化が住民に継承されている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)

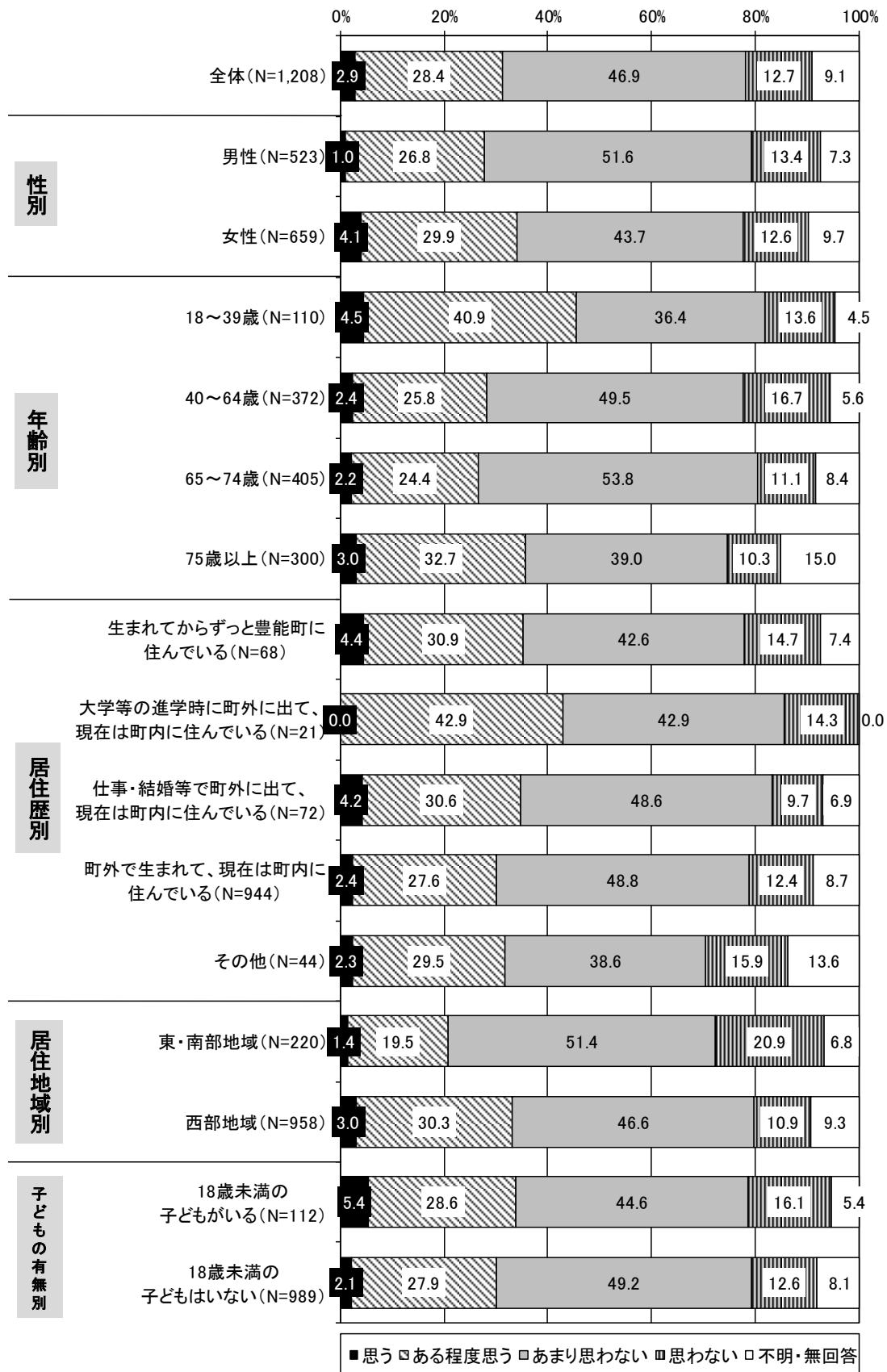


■問6-1⑦「豊能町は高齢者が生きがいを持ち、健康に暮らせる環境だ」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)

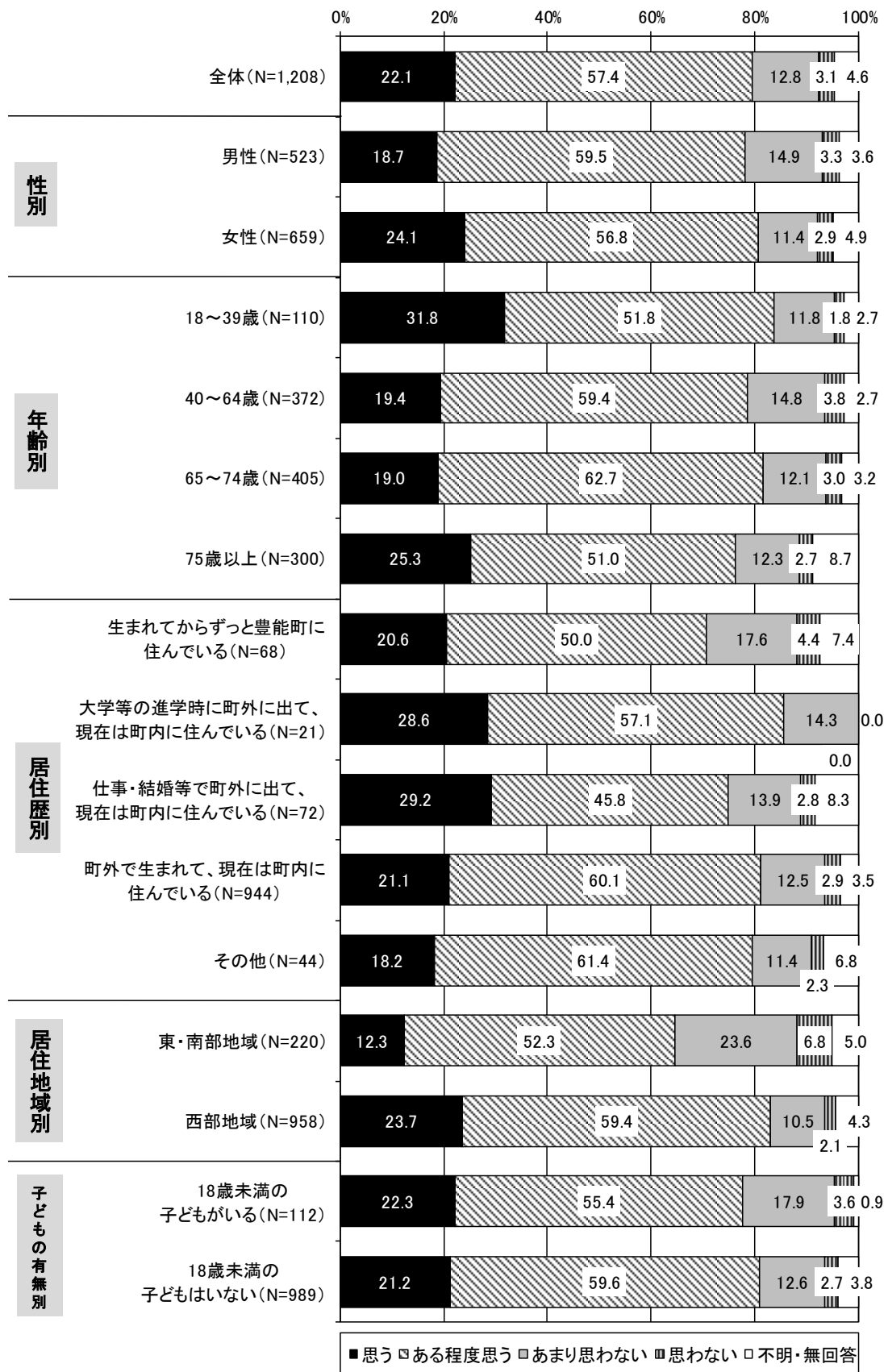


■問6-1 ⑧「豊能町は障害者（児）の方が自立した生活を送り、社会参加しやすい環境だ」の
クロス集計（性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別）



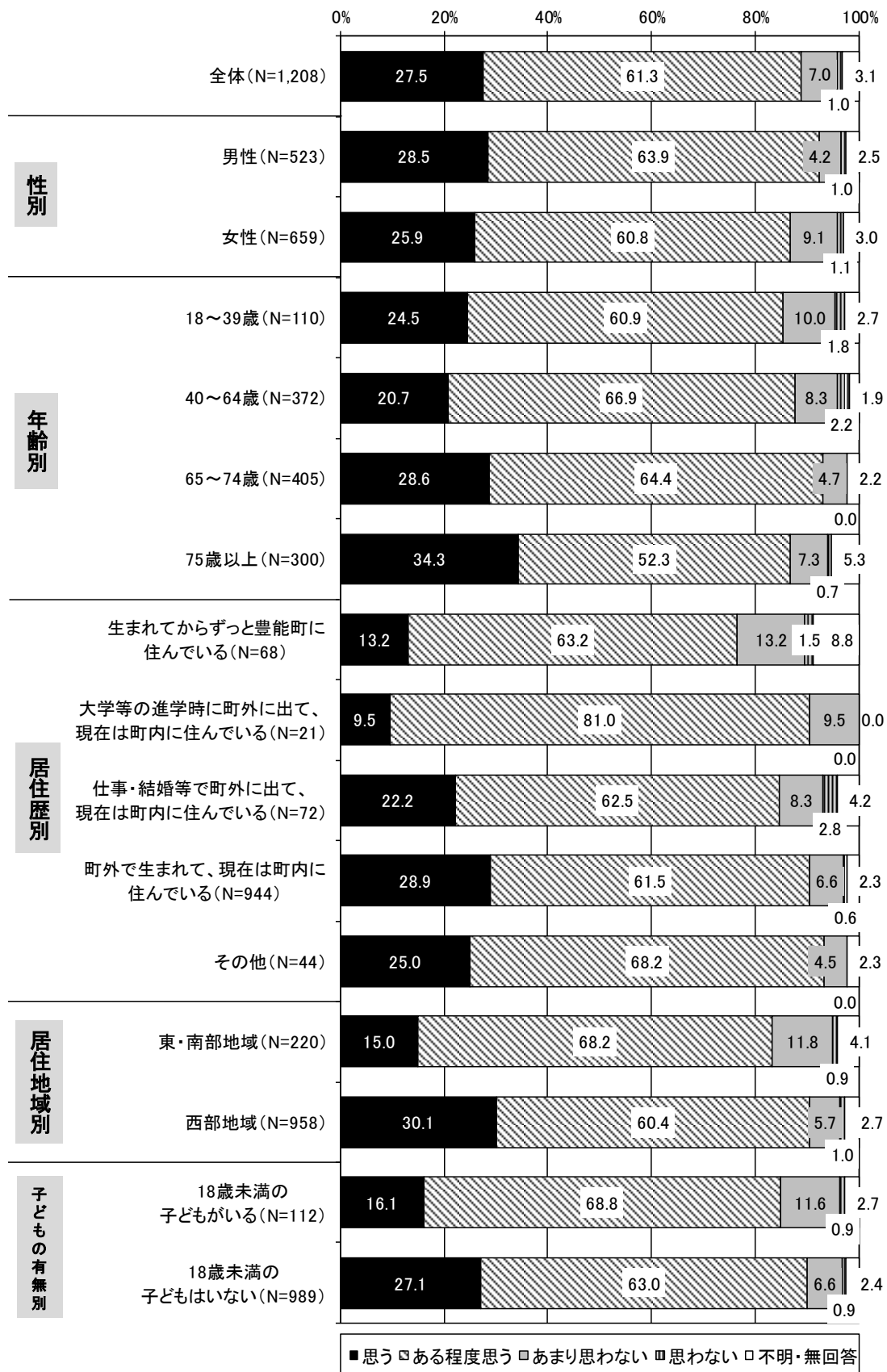
■問6-1 ⑨「豊能町は自然環境にやさしいまちだ」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



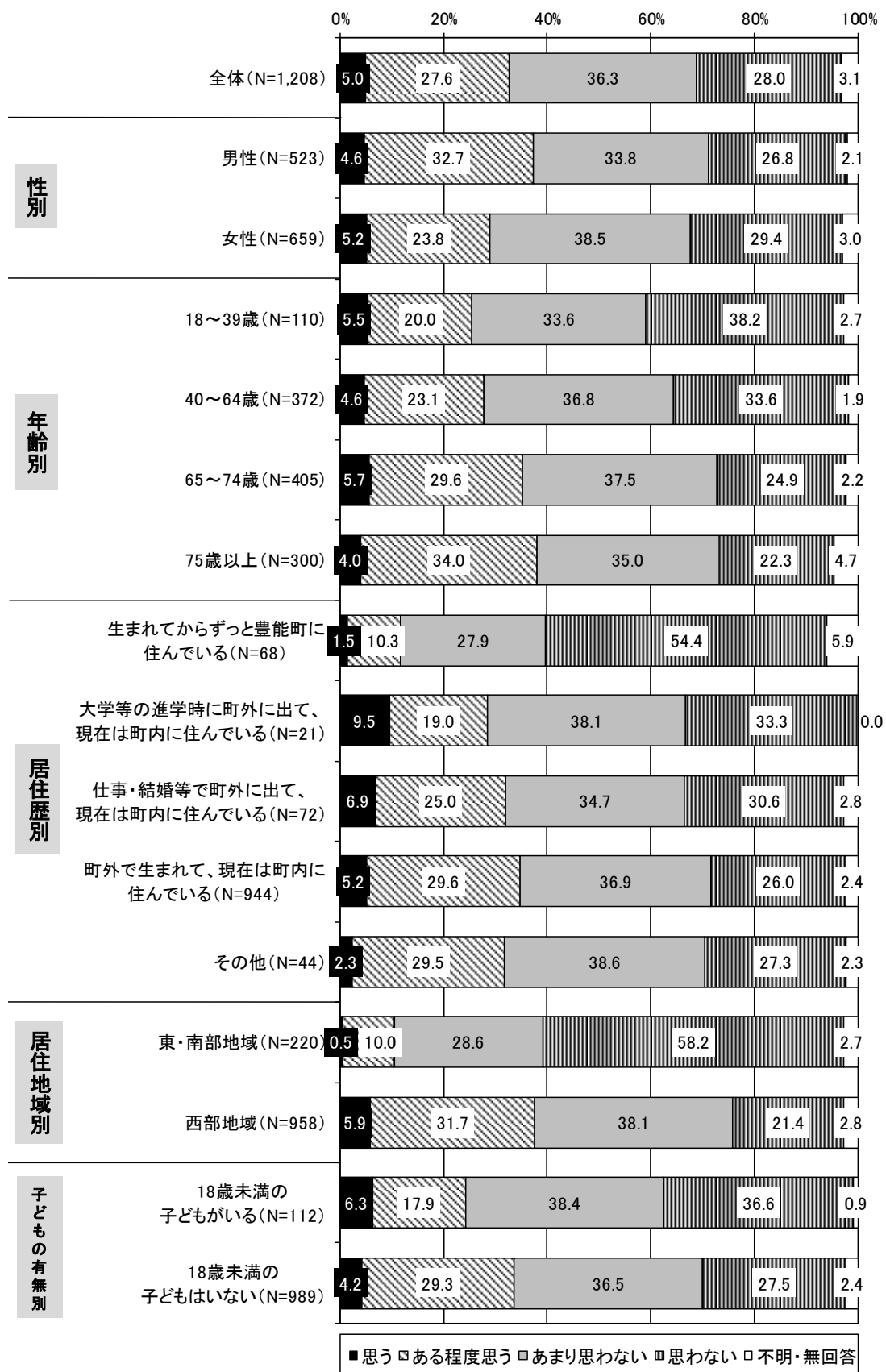
■問6-1⑩「ごみの分別はしっかりと守られている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



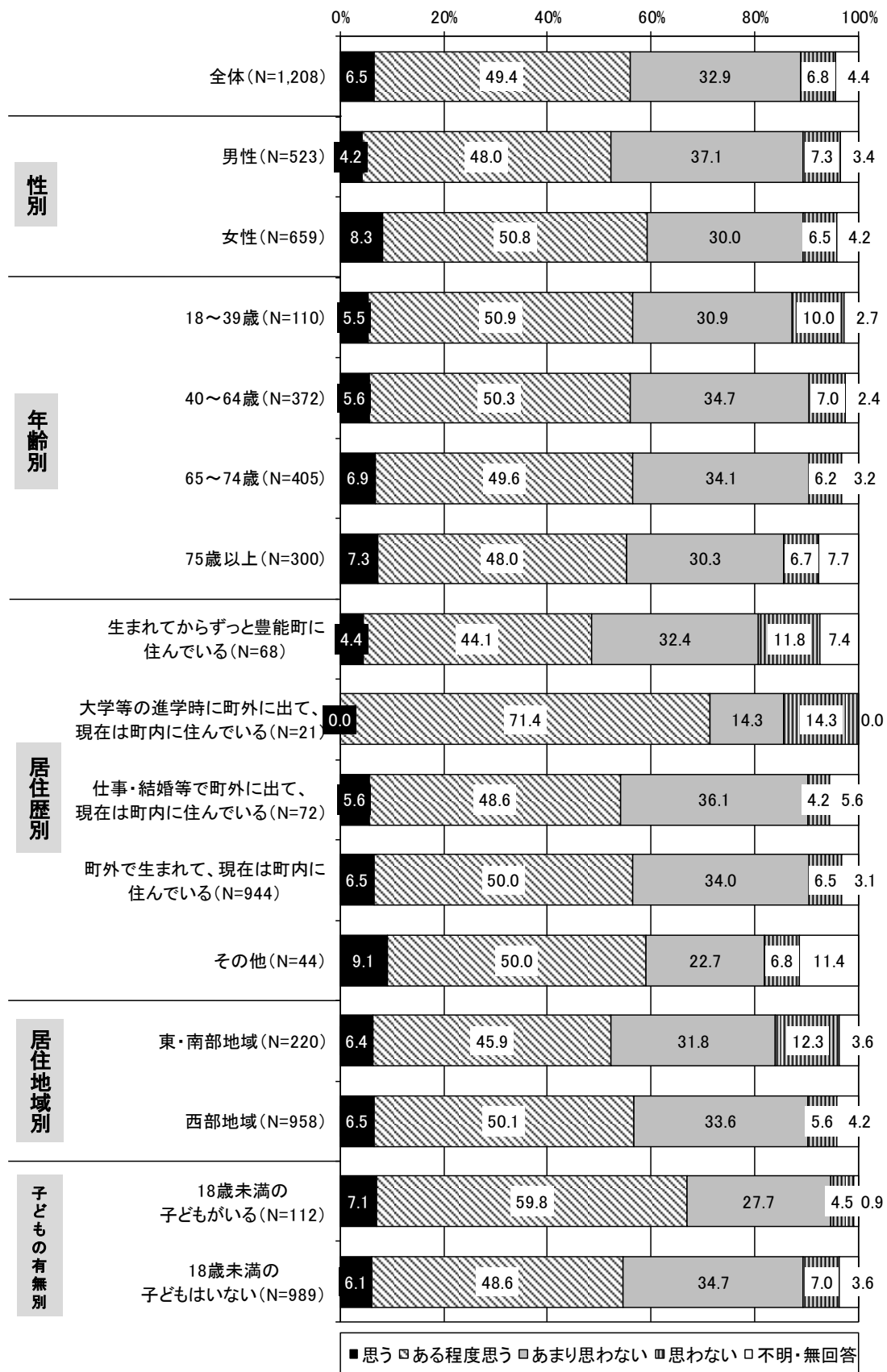
■問6-1 ⑪「お住まいの地域の実バスや鉄道等の公共交通機関は充実している」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



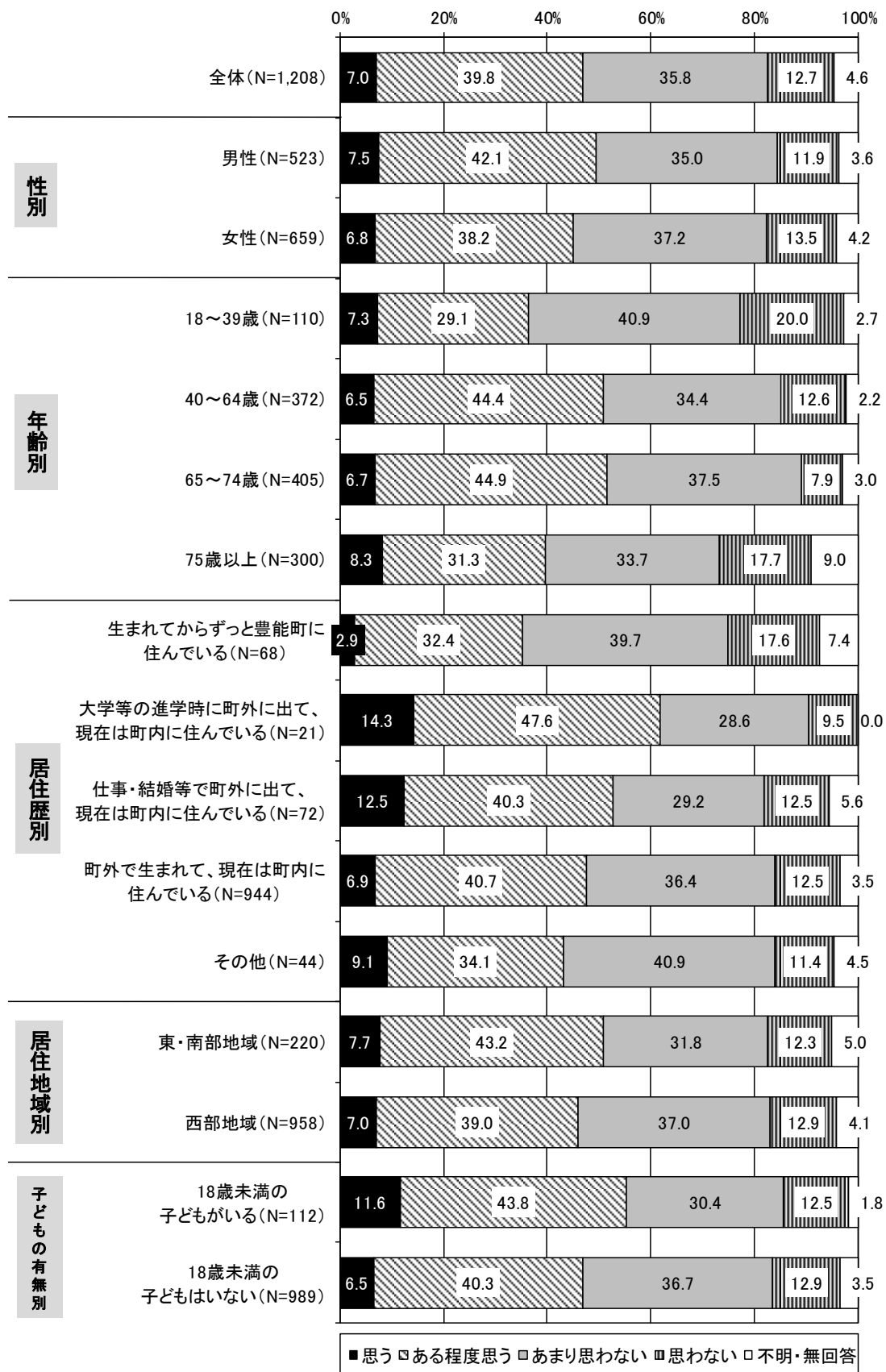
■問6-1 ⑫「お住まいの地域では、地域行事・活動が活発に行われている」のクロス集計

(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



■問6-1 ⑬「今後、地域の活動に参加してみたい」のクロス集計

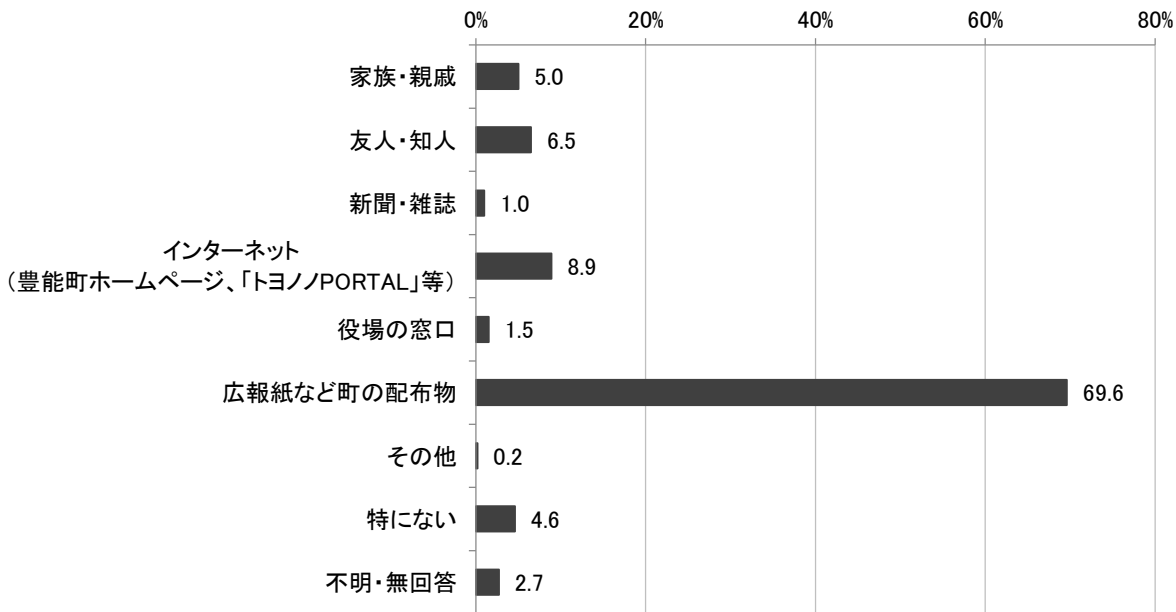
(性別・年齢別・居住歴別・居住地域別・子どもの有無別)



問6-2 豊能町の行政サービス等に関する情報を主にどこから入手していますか。
(単数回答)

豊能町の行政サービス等に関する情報の入手については、「広報紙など町の配布物」が69.6%と最も高く、次いで「インターネット（豊能町ホームページ、「トヨノノ PORTAL」等）」が8.9%、「友人・知人」が6.5%となっています。

全体 (N=1,208)



■問6-2「豊能町の行政サービス等に関する情報の主な入手先」のクロス集計（年齢別）

年齢別にみると、いずれも「広報紙など町の配布物」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		調査数	家族・親戚	友人・知人	新聞・雑誌	インターネット	役場の窓口	配広 布報 紙紙 など 町の	その他	特にない	不明・無回答
全 体		1,208 100.0	60 5.0	78 6.5	12 1.0	108 8.9	18 1.5	841 69.6	3 0.2	55 4.6	33 2.7
年 齢 別	18～39歳	110 100.0	32 29.1	9 8.2	1 0.9	12 10.9	1 0.9	38 34.5	0 0.0	14 12.7	3 2.7
	40～64歳	372 100.0	15 4.0	16 4.3	2 0.5	54 14.5	3 0.8	252 67.7	2 0.5	21 5.6	7 1.9
	65～74歳	405 100.0	4 1.0	29 7.2	5 1.2	30 7.4	4 1.0	315 77.8	0 0.0	8 2.0	10 2.5
	75歳以上	300 100.0	9 3.0	23 7.7	4 1.3	9 3.0	9 3.0	223 74.3	1 0.3	12 4.0	10 3.3

問6ー3 あなたは、毎日の生活の中で、以下のまちづくりの取組にどの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。ご自身の生活と関連が少ない項目についても、ご家族や地域の状況を踏まえてできるだけお答えください。（単数回答）

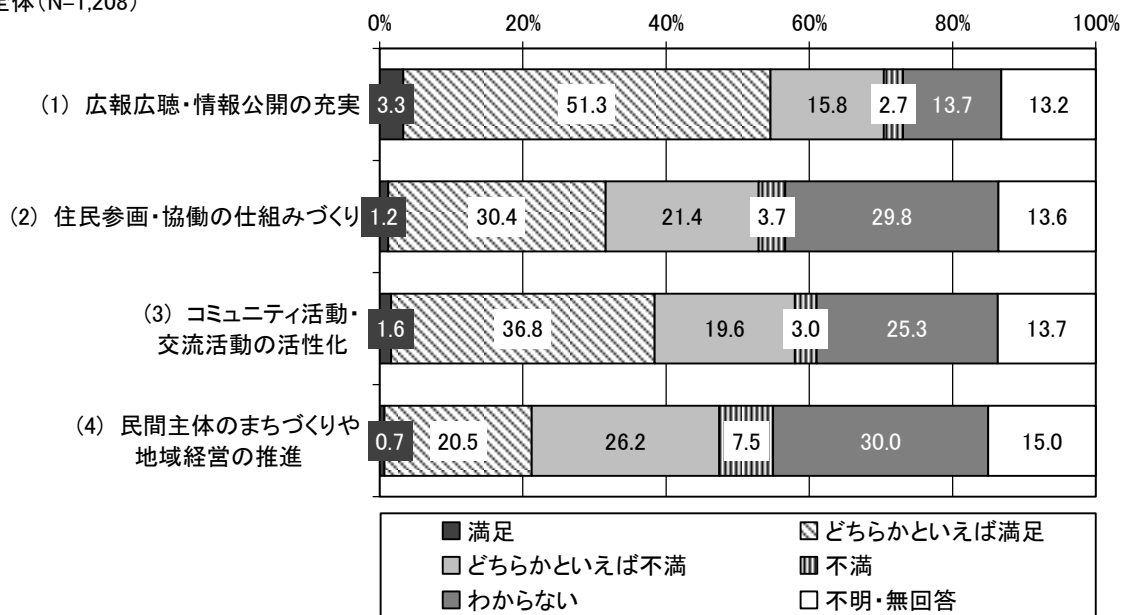
【現在の取組への満足度】

●まちづくりへ参画できる仕組み

まちづくりへ参画できる仕組みの満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「広報広聴・情報公開の充実」が54.6%と最も高く、次いで「コミュニティ活動・交流活動の活性化」が38.4%、「住民参画・協働の仕組みづくり」が31.6%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「民間主体のまちづくりや地域経営の推進」が33.7%と最も高く、次いで「住民参画・協働の仕組みづくり」が25.1%、「コミュニティ活動・交流活動の活性化」が22.6%となっています。

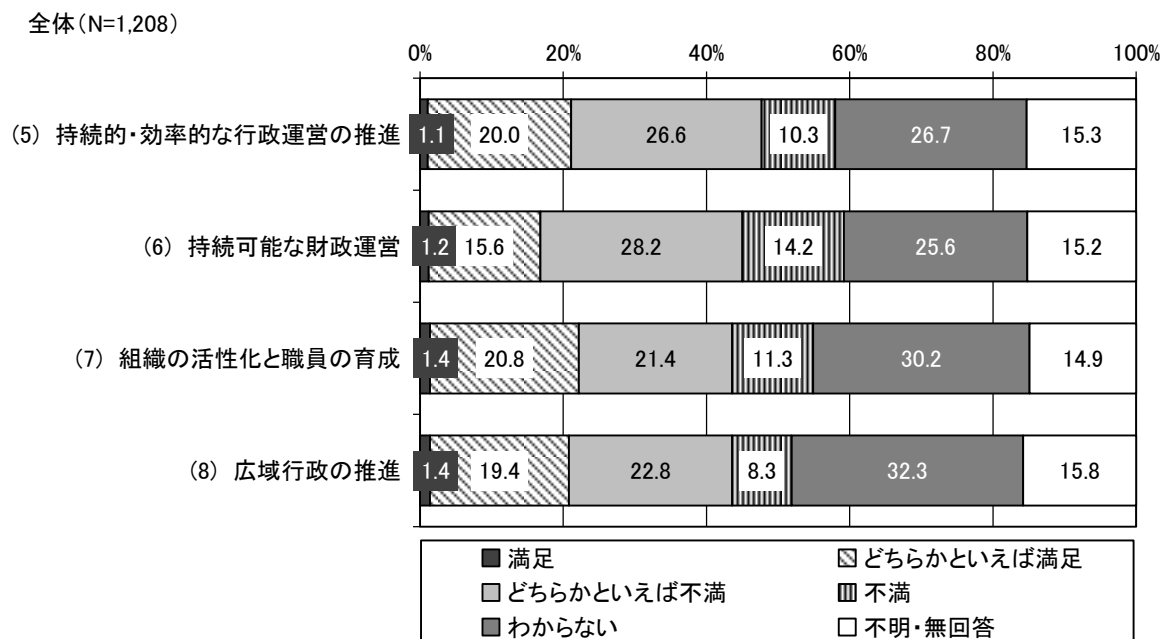
全体(N=1,208)



●安定的な行財政運営の推進

安定的な行財政運営の推進の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「組織の活性化と職員の育成」が22.2%と最も高く、次いで「持続的・効率的な行政運営の推進」が21.1%、「広域行政の推進」が20.8%となっています。

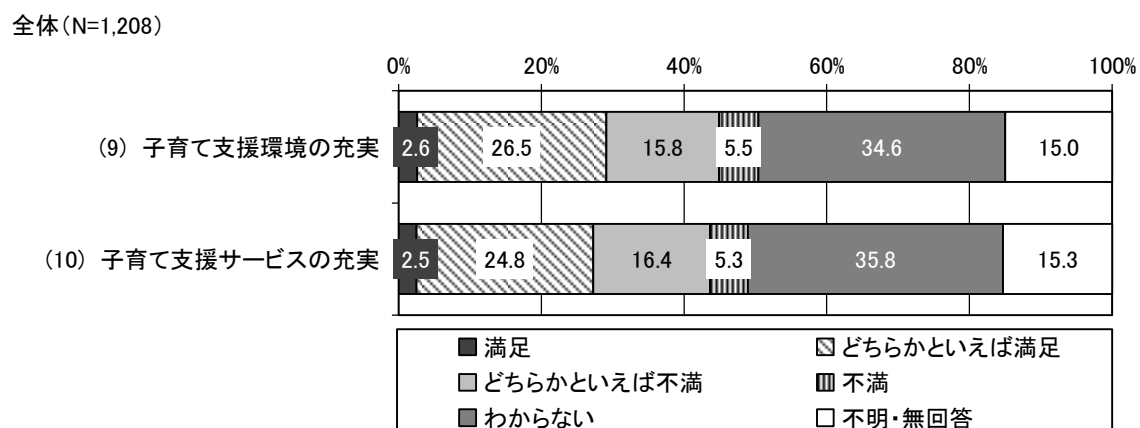
一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「持続可能な財政運営」が42.4%と最も高く、次いで「持続的・効率的な行政運営の推進」が36.9%、「組織の活性化と職員の育成」が32.7%となっています。



●安心して働ける子育て支援

安心して働ける子育て支援の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「子育て支援環境の充実」が29.1%、「子育て支援サービスの充実」が27.3%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「子育て支援サービスの充実」が21.7%、「子育て支援環境の充実」が21.3%となっています。

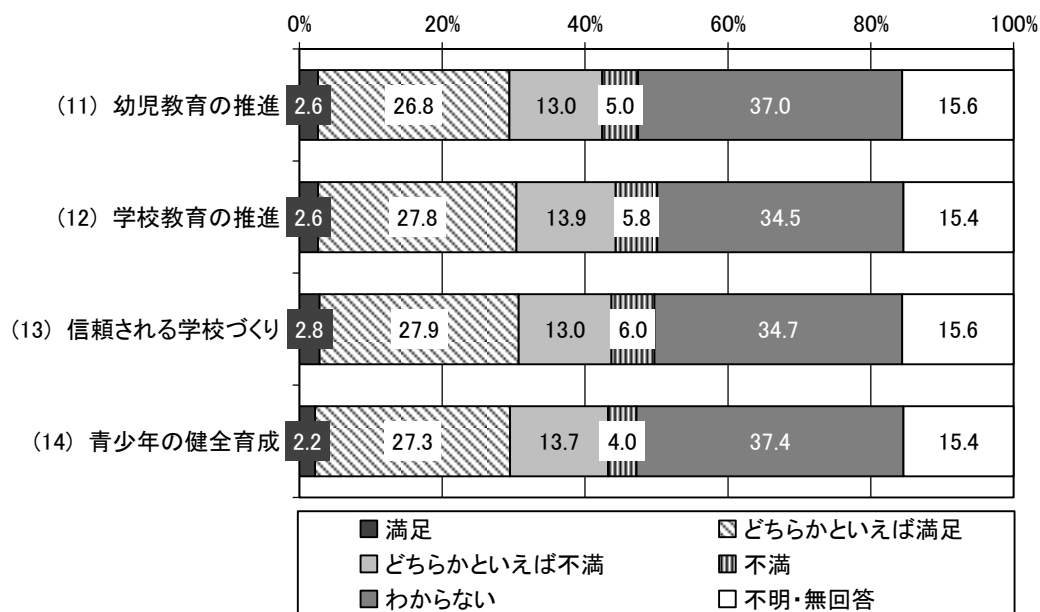


●子どもの確かな力を育む教育

子どもの確かな力を育む教育の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「信頼される学校づくり」が30.7%と最も高く、次いで「学校教育の推進」が30.4%、「青少年の健全育成」が29.5%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「学校教育の推進」が19.7%と最も高く、次いで「信頼される学校づくり」が19.0%、「幼児教育の推進」が18.0%となっています。

全体(N=1,208)

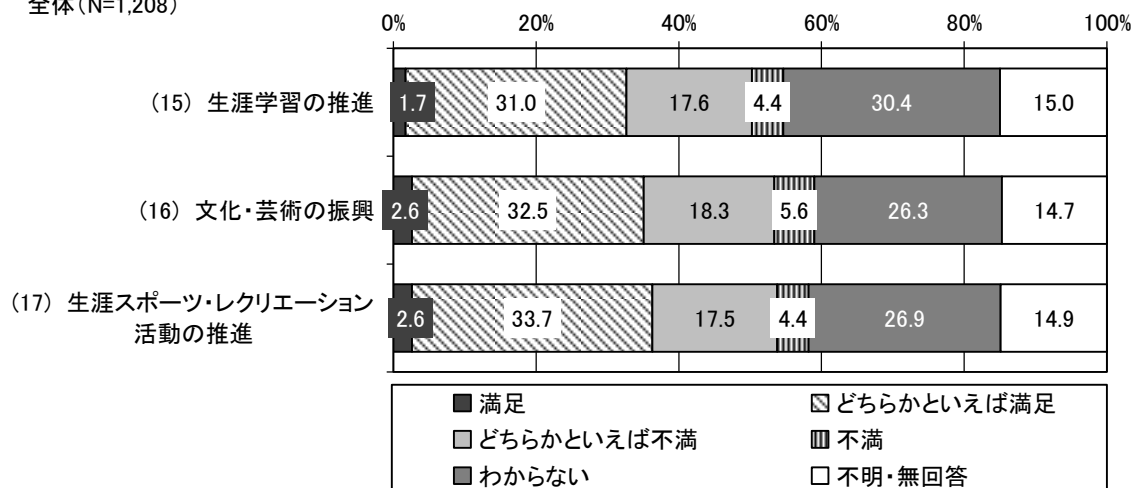


●地域で学ぶ生涯学習環境

地域で学ぶ生涯学習環境の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」が36.3%と最も高く、次いで「文化・芸術の振興」が35.1%、「生涯学習の推進」が32.7%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「文化・芸術の振興」が23.9%と最も高く、次いで「生涯学習の推進」が22.0%、「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」が21.9%となっています。

全体(N=1,208)

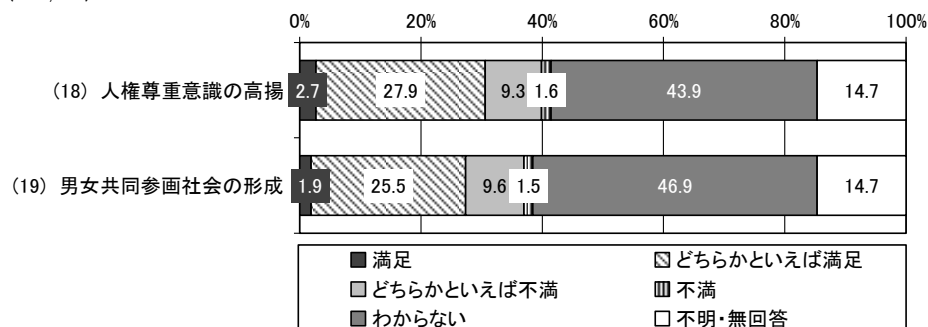


●人権尊重のまちづくりの推進

人権尊重のまちづくりの推進の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「人権尊重意識の高揚」が30.6%、「男女共同参画社会の形成」が27.4%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「男女共同参画社会の形成」が11.1%、「人権尊重意識の高揚」が10.9%となっています。

全体(N=1,208)

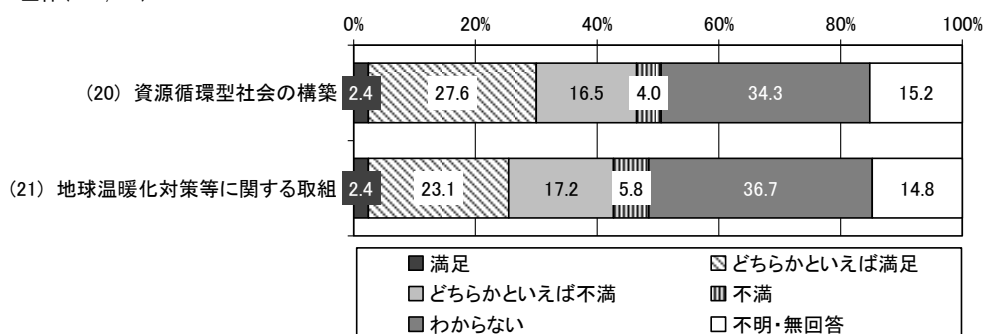


●豊かな環境の保全

豊かな環境の保全の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「資源循環型社会の構築」が30.0%、「地球温暖化対策等に関する取組」が25.5%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「地球温暖化対策等に関する取組」が23.0%、「資源循環型社会の構築」が20.5%となっています。

全体(N=1,208)

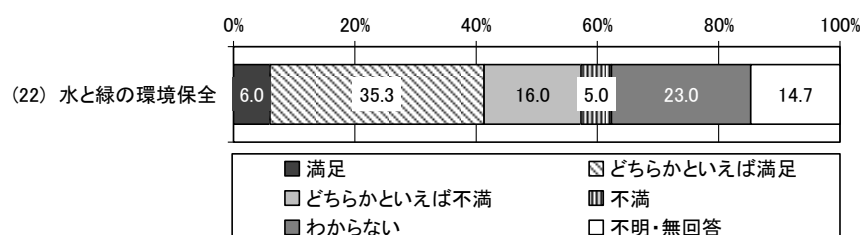


●良好な景観の保全

良好な景観の保全の満足度について、「水と緑の環境保全」では、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合が41.3%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合が21.0%となっています。

全体(N=1,208)

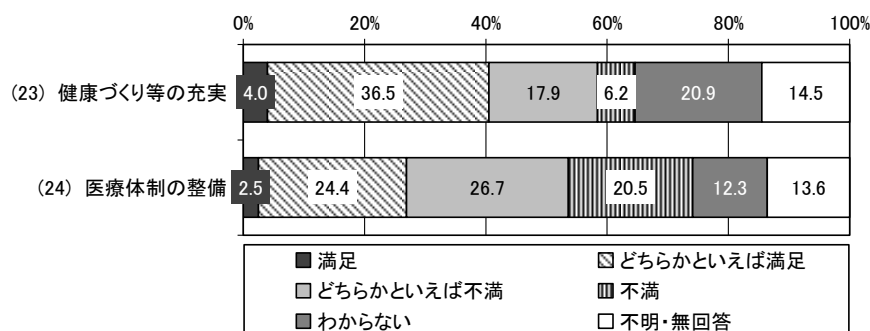


●生涯健康づくりの推進

生涯健康づくりの推進の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「健康づくり等の充実」が40.5%、「医療体制の整備」が26.9%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「医療体制の整備」が47.2%、「健康づくり等の充実」が24.1%となっています。

全体(N=1,208)

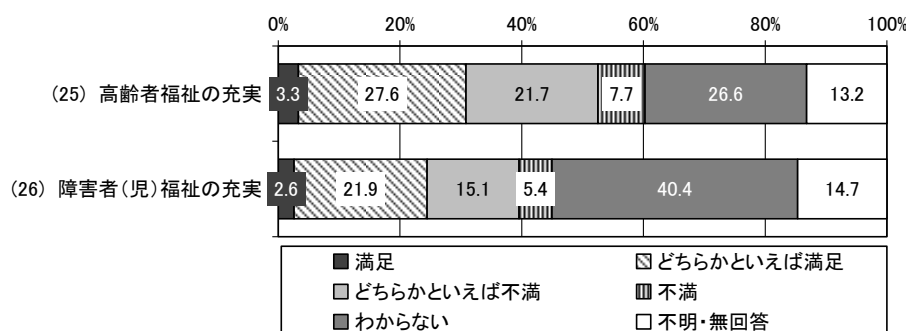


●安心できる福祉

安心できる福祉の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「高齢者福祉の充実」が30.9%、「障害者（児）福祉の充実」が24.5%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「高齢者福祉の充実」が29.4%、「障害者（児）福祉の充実」が20.5%となっています。

全体(N=1,208)

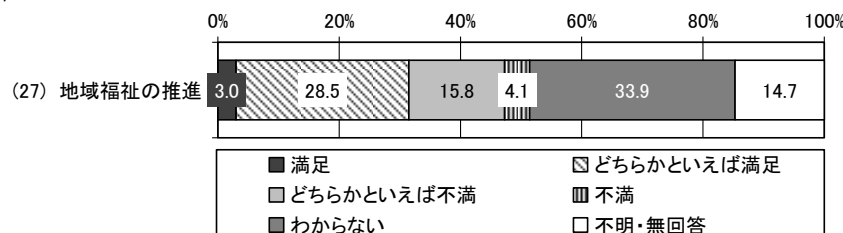


●地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり

地域で支え合う温もりのある福祉社会づくりの満足度について、「地域福祉の推進」では、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合が31.5%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合が19.9%となっています。

全体(N=1,208)

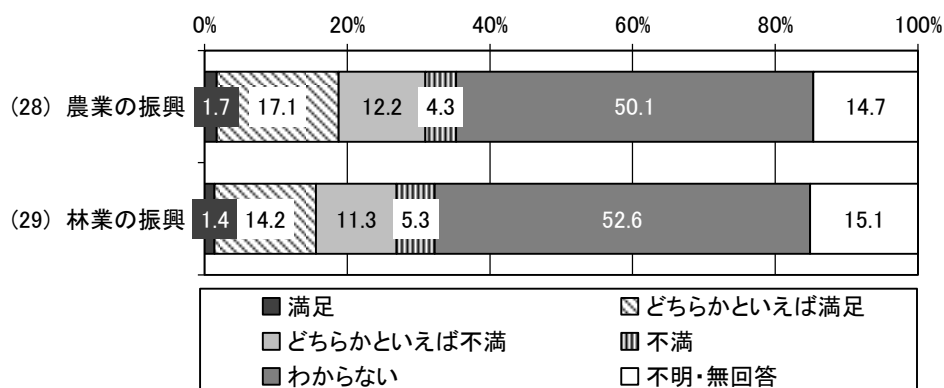


●環境を活かした農林業の振興

環境を活かした農林業の振興の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「農業の振興」が18.8%、「林業の振興」が15.6%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「林業の振興」が16.6%、「農業の振興」が16.5%となっています。

全体(N=1,208)

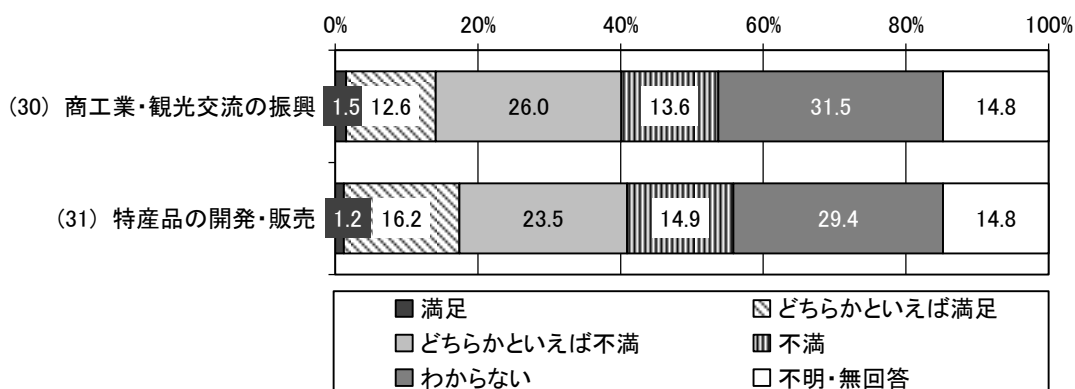


●にぎわいを呼ぶ産業の振興

にぎわいを呼ぶ産業の振興の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「特産品の開発・販売」が17.4%、「商工業・観光交流の振興」が14.1%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「商工業・観光交流の振興」が39.6%、「特産品の開発・販売」が38.4%となっています。

全体(N=1,208)

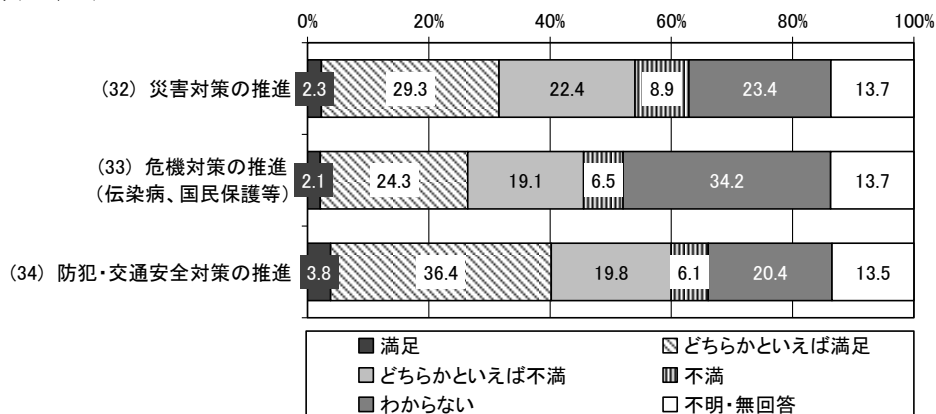


●安全安心な暮らしの確保

安全安心な暮らしの確保の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「防犯・交通安全対策の推進」が40.2%と最も高く、次いで「災害対策の推進」が31.6%、「危機対策の推進（伝染病、国民保護等）」が26.4%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「災害対策の推進」が31.3%と最も高く、次いで「防犯・交通安全対策の推進」が25.9%、「危機対策の推進（伝染病、国民保護等）」が25.6%となっています。

全体(N=1,208)

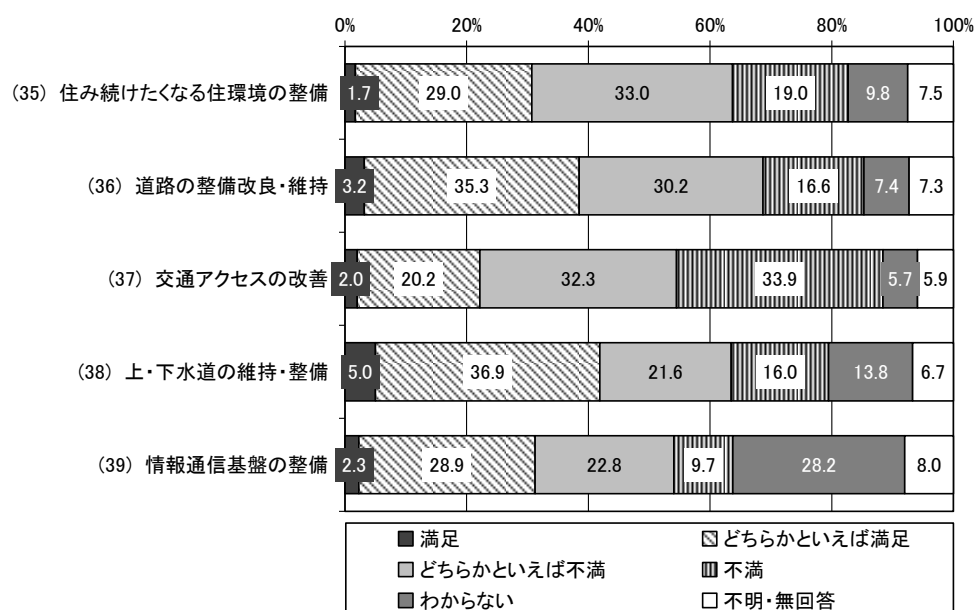


●暮らしを支える都市基盤の維持・整備

暮らしを支える都市基盤の維持・整備の満足度について、「満足」「どちらかといえば満足」の合計割合では、「上・下水道の維持・整備」が41.9%と最も高く、次いで「道路の整備改良・維持」が38.5%、「情報通信基盤の整備」が31.2%となっています。

一方、「どちらかといえば不満」「不満」の合計割合では、「交通アクセスの改善」が66.2%と最も高く、次いで「住み続けたいくなる住環境の整備」が52.0%、「道路の整備改良・維持」が46.8%となっています。

全体(N=1,208)

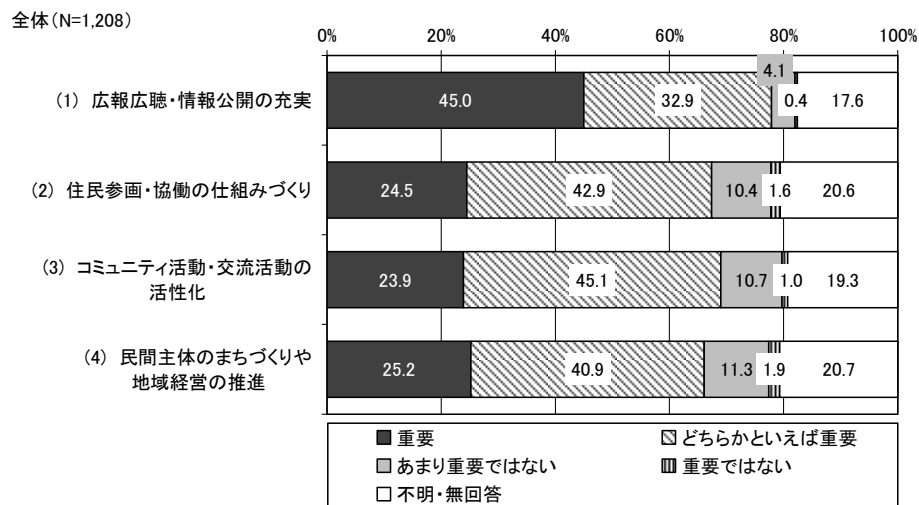


【今後の取組としての重要度】

●まちづくりへ参画できる仕組み

まちづくりへ参画できる仕組みの重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「広報広聴・情報公開の充実」が77.9%と最も高く、次いで「コミュニティ活動・交流活動の活性化」が69.0%、「住民参画・協働の仕組みづくり」が67.4%となっています。

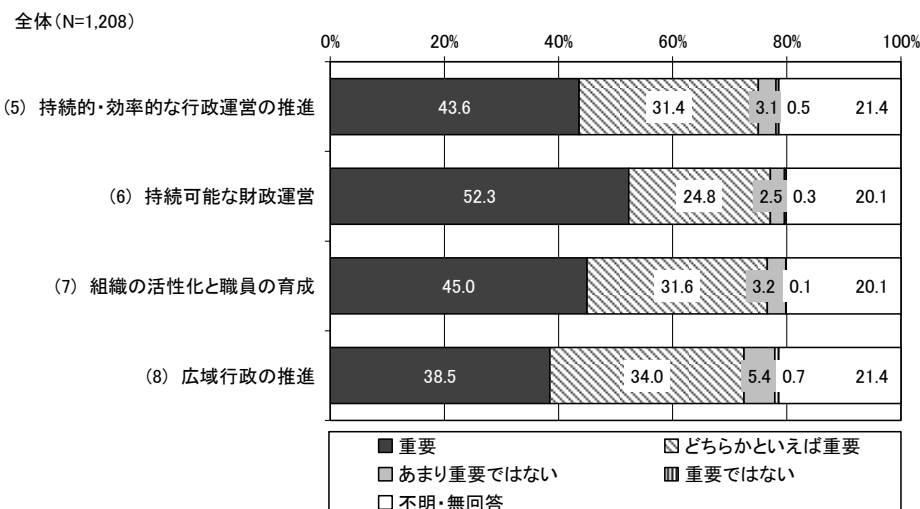
一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「民間主体のまちづくりや地域経営の推進」が13.2%と最も高く、次いで「住民参画・協働の仕組みづくり」が12.0%、「コミュニティ活動・交流活動の活性化」が11.7%となっています。



●安定的な行財政運営の推進

安定的な行財政運営の推進の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「持続可能な財政運営」が77.1%と最も高く、次いで「組織の活性化と職員の育成」が76.6%、「持続的・効率的な行政運営の推進」が75.0%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「広域行政の推進」が6.1%と最も高く、次いで「持続的・効率的な行政運営の推進」が3.6%、「組織の活性化と職員の育成」が3.3%となっています。

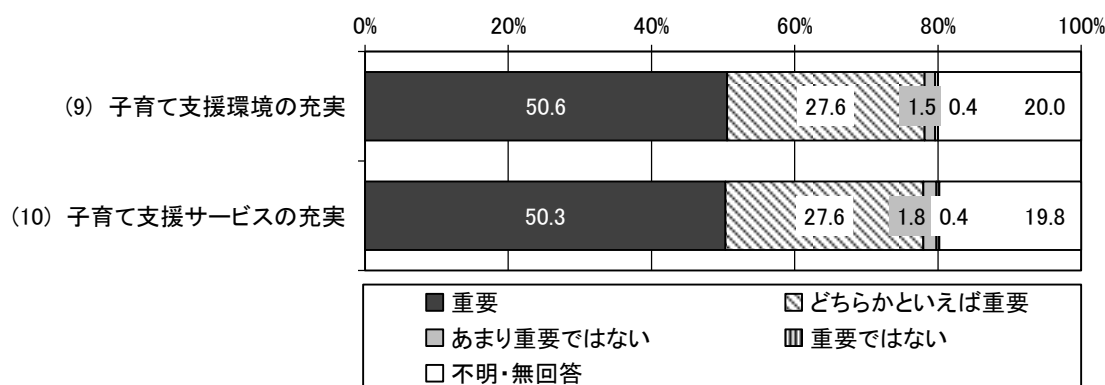


●安心して働ける子育て支援

安心して働ける子育て支援の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「子育て支援環境の充実」が 78.2%、「子育て支援サービスの充実」が 77.9%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「子育て支援サービスの充実」が 2.2%、「子育て支援環境の充実」が 1.9%となっています。

全体 (N=1,208)

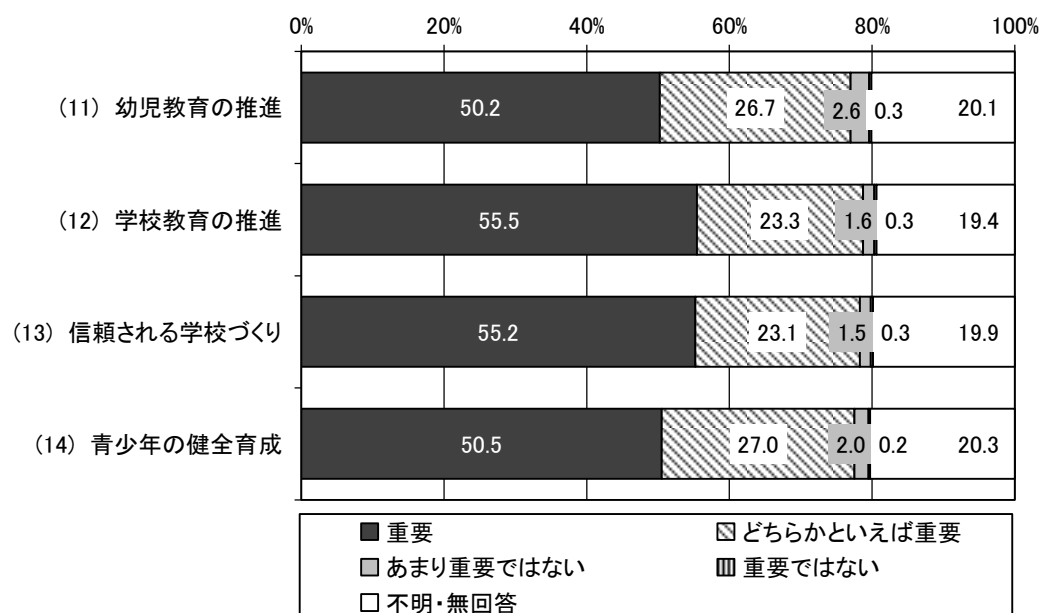


●子どもの確かな力を育む教育

子どもの確かな力を育む教育の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「学校教育の推進」が 78.8%と最も高く、次いで「信頼される学校づくり」が 78.3%、「青少年の健全育成」が 77.5%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「幼児教育の推進」が 2.9%と最も高く、次いで「青少年の健全育成」が 2.2%、「学校教育の推進」が 1.9%となっています。

全体 (N=1,208)

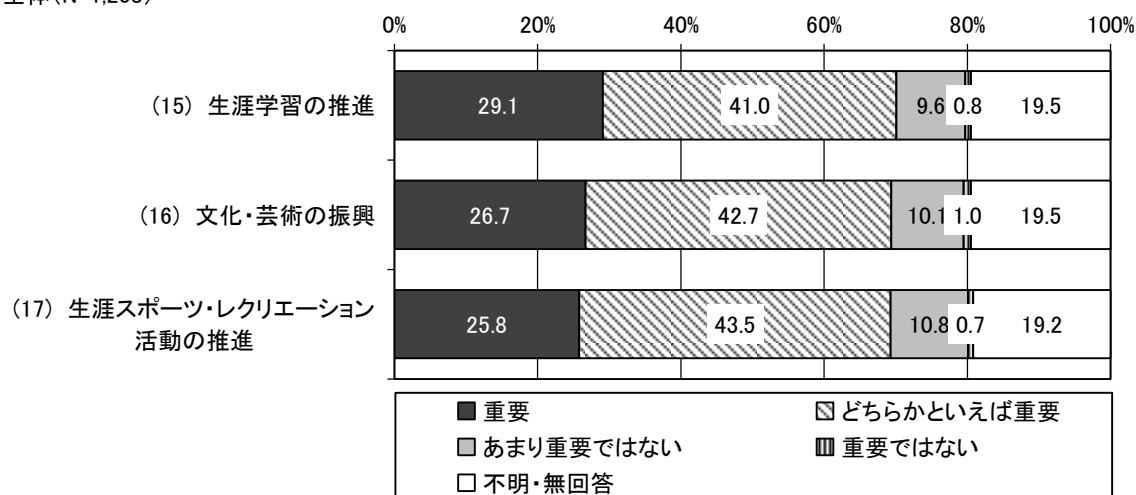


●地域で学ぶ生涯学習環境

地域で学ぶ生涯学習環境の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「生涯学習の推進」が70.1%と最も高く、次いで「文化・芸術の振興」が69.4%、「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」が69.3%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」が11.5%と最も高く、次いで「文化・芸術の振興」が11.1%、「生涯学習の推進」が10.4%となっています。

全体(N=1,208)

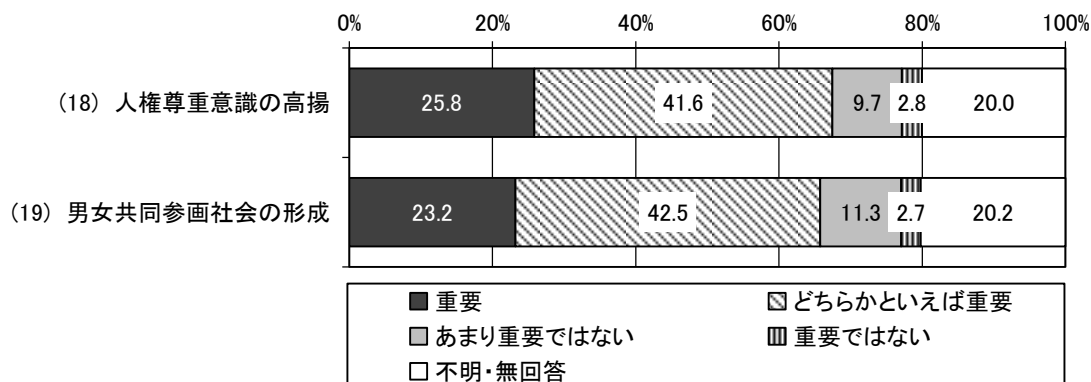


●人権尊重のまちづくりの推進

人権尊重のまちづくりの推進の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「人権尊重意識の高揚」が67.4%、「男女共同参画社会の形成」が65.7%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「男女共同参画社会の形成」が14.0%、「人権尊重意識の高揚」が12.5%となっています。

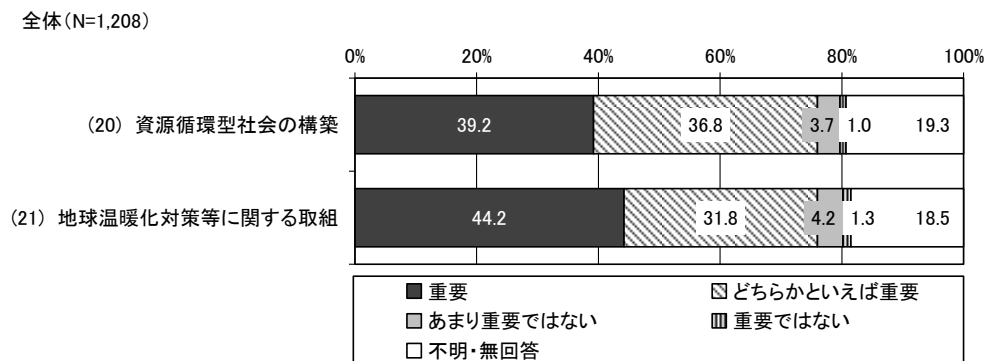
全体(N=1,208)



●豊かな環境の保全

豊かな環境の保全の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「資源循環型社会の構築」「地球温暖化対策等に関する取組」がともに76.0%となっています。

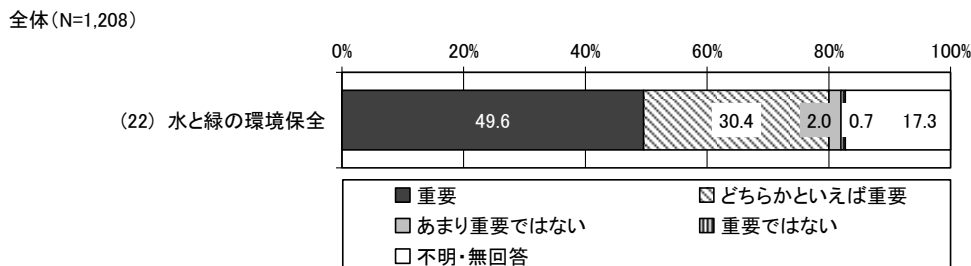
一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「地球温暖化対策等に関する取組」が5.5%、「資源循環型社会の構築」が4.7%となっています。



●良好な景観の保全

良好な景観の保全の重要度について、「水と緑の環境保全」では、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合が80.0%となっています。

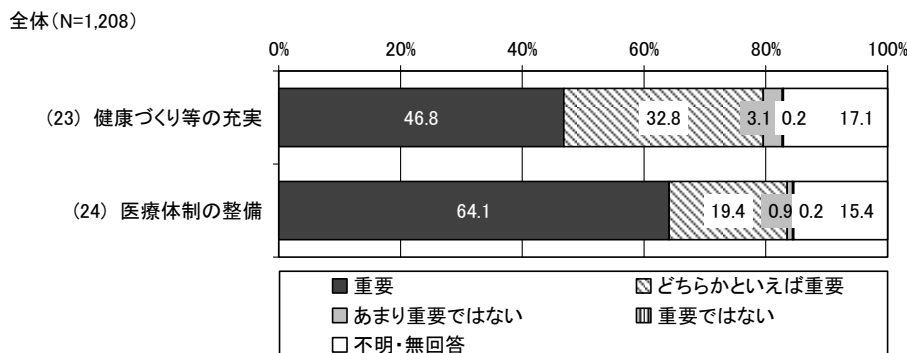
一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合が2.7%となっています。



●生涯健康づくりの推進

生涯健康づくりの推進の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「医療体制の整備」が83.5%、「健康づくり等の充実」が79.6%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「健康づくり等の充実」が3.3%、「医療体制の整備」が1.1%となっています。

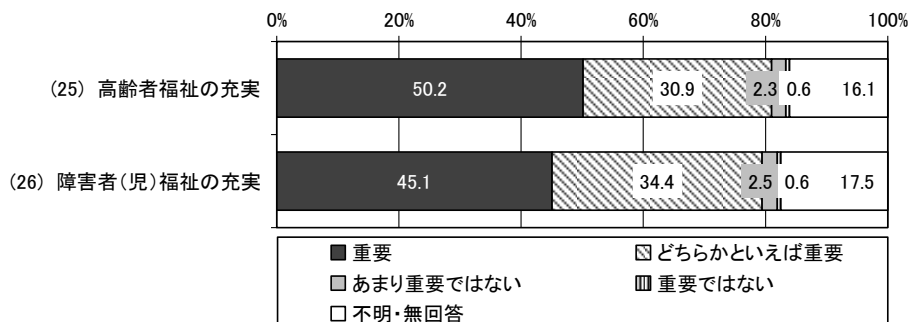


●安心できる福祉

安心できる福祉の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「高齢者福祉の充実」が81.1%、「障害者（児）福祉の充実」が79.5%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「障害者（児）福祉の充実」が3.1%、「高齢者福祉の充実」が2.9%となっています。

全体(N=1,208)

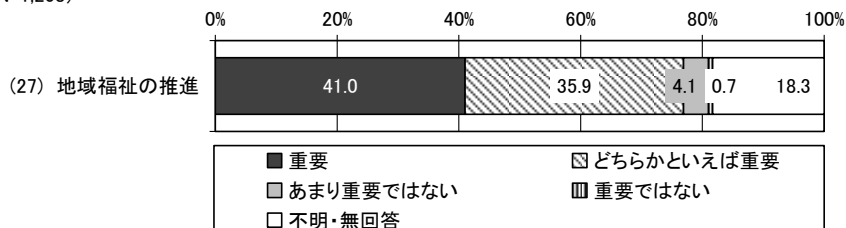


●地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり

地域で支え合う温もりのある福祉社会づくりの重要度について、「地域福祉の推進」では、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合が76.9%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合が4.8%となっています。

全体(N=1,208)

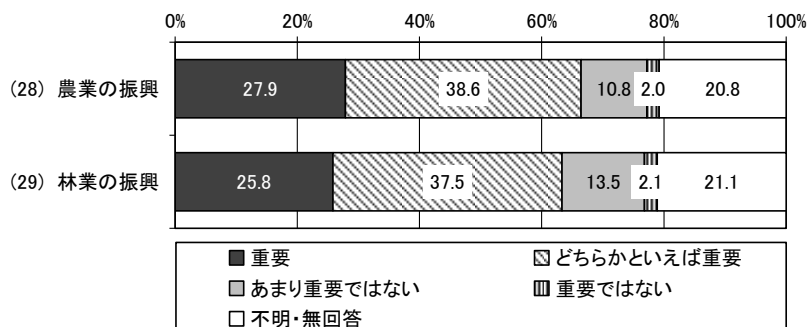


●環境を活かした農林業の振興

環境を活かした農林業の振興の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「農業の振興」が66.5%、「林業の振興」が63.3%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「林業の振興」が15.6%、「農業の振興」が12.8%となっています。

全体(N=1,208)

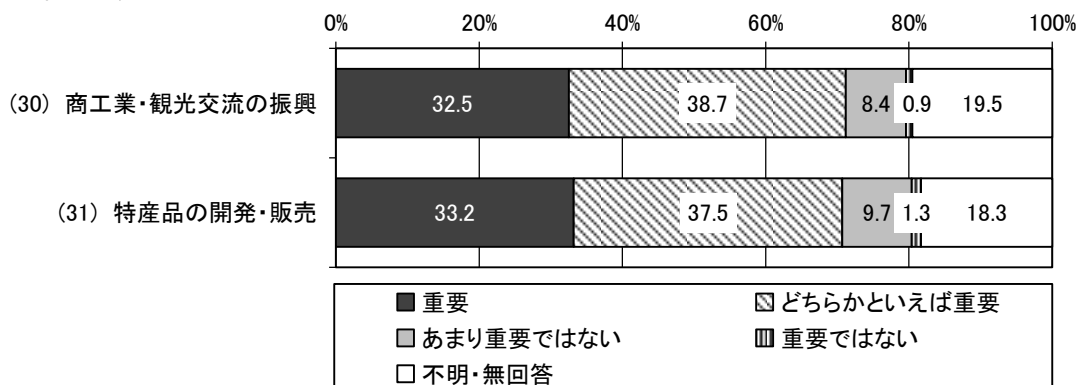


●にぎわいを呼ぶ産業の振興

にぎわいを呼ぶ産業の振興の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「商工業・観光交流の振興」が71.2%、「特産品の開発・販売」が70.7%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「特産品の開発・販売」が11.0%、「商工業・観光交流の振興」が9.3%となっています。

全体(N=1,208)

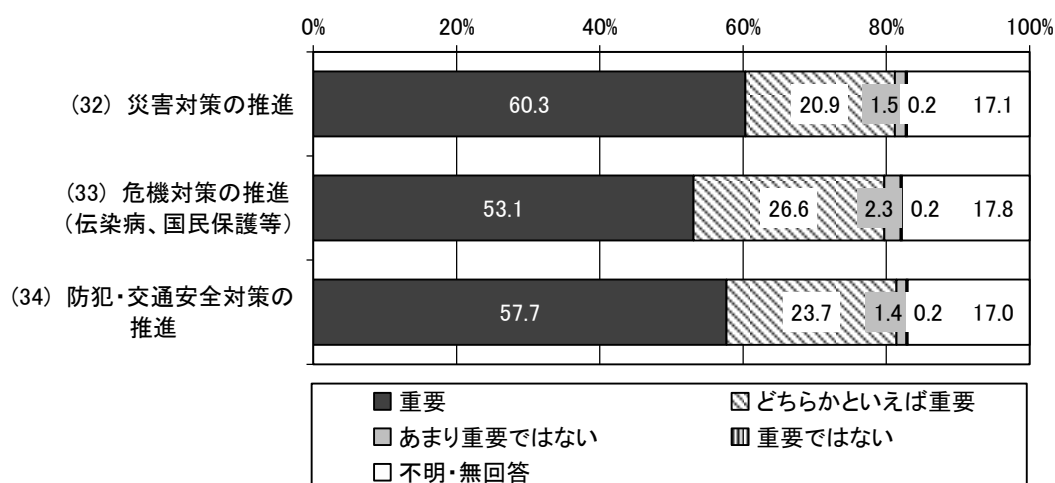


●安全安心な暮らしの確保

安全安心な暮らしの確保の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「防犯・交通安全対策の推進」が81.4%と最も高く、次いで「災害対策の推進」が81.2%、「危機対策の推進（伝染病、国民保護等）」が79.7%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「危機対策の推進（伝染病、国民保護等）」が2.5%と最も高く、次いで「災害対策の推進」が1.7%、「防犯・交通安全対策の推進」が1.6%となっています。

全体(N=1,208)

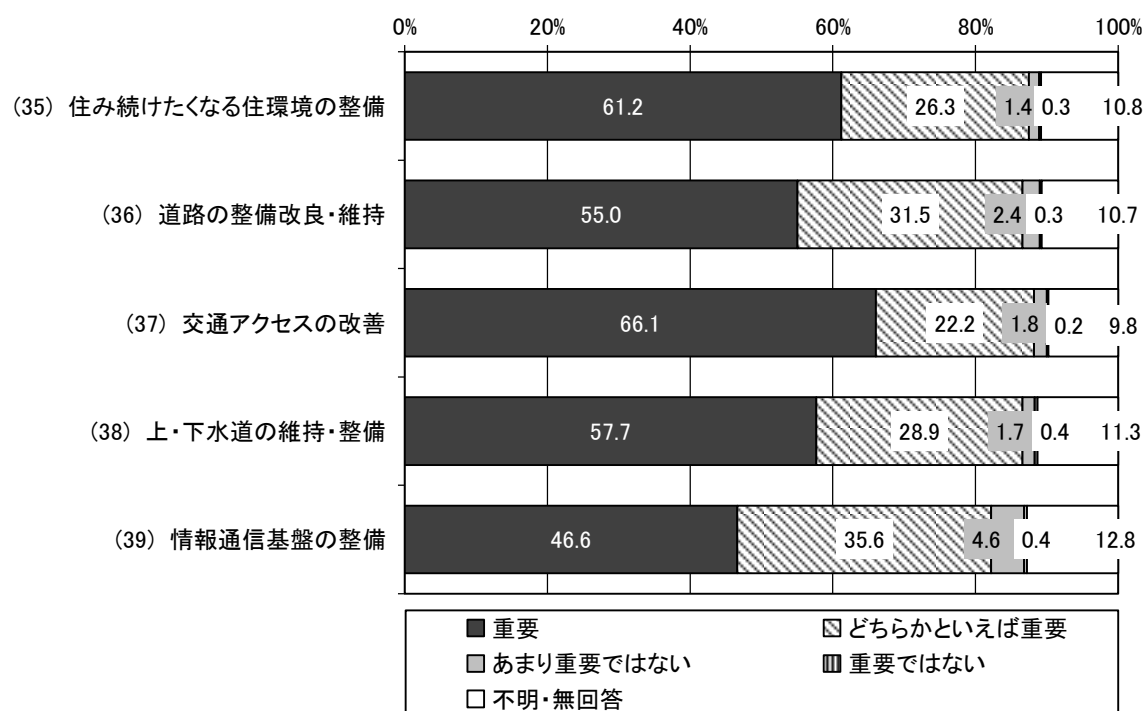


●暮らしを支える都市基盤の維持・整備

暮らしを支える都市基盤の維持・整備の重要度について、「重要」「どちらかといえば重要」の合計割合では、「交通アクセスの改善」が88.3%と最も高く、次いで「住み続けたいくなる住環境の整備」が87.5%、「上・下水道の維持・整備」が86.6%となっています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計割合では、「情報通信基盤の整備」が5.0%と最も高く、次いで「道路の整備改良・維持」が2.7%、「上・下水道の維持・整備」が2.1%となっています。

全体 (N=1,208)



豊能町総合まちづくり計画 住民意識調査結果報告書

令和2年3月

発行：大阪府豊能町

〒563-0292 大阪府豊能郡豊能町余野 414-1

TEL：072-739-3413

FAX：072-739-1980